

# 山辺町公共施設等総合管理計画 個別施設計画

令和3年3月  
山辺町

## 目 次

第 1 章 個別施設計画策定について .....	3
1. 計画の背景と目的 .....	3
2. 計画の位置づけ .....	4
3. 計画期間 .....	5
4. 対象施設 .....	5
第 2 章 対策の優先順位の考え方 .....	9
1. 優先順位の考え方の概要 .....	9
2. 基本方針・対策手法 .....	11
第 3 章 個別施設の状況および今後の対策 .....	13
1. 各施設 総括表 .....	14
2. 各施設 個別計画 .....	19
第 4 章 公共施設マネジメントに向けた取り組み .....	167
1. 財政側面からのマネジメント .....	167
2. 取り組み・実施体制 .....	168

## 第1章 個別施設計画策定について

### 1. 計画の背景と目的

本町は、「みんながつながる 協働のまち やまのべ」を基本理念に、「1.子育てと元気のまち」「2.こだわりの『ものづくり』のまち」「3.協働と安全安心のまち」を、大切にしていきたい3つのこととして、平成29(2017)年12月に策定した「第5次山辺町総合計画」の実現を目指した施策を展開しています。

また、令和2(2020)年3月に策定した「やまのべ人口ビジョン・第2期やまのべ総合戦略」により、①子どもと育つ町、②高品質で町づくり、の2つの大方針のもと、「雇用」「ひとの流れ」「結婚出産子育て」「連携・安全安心他」の4つの分野において基本目標と基本的方向を掲げて取り組んでおります。

近年、全国的に少子高齢化及び人口減少が進行し、人口構造の変化に伴って公共施設等に対する住民のニーズが変化してきている一方で、公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっています。

国においては、「経済財政運営と改革の基本方針～脱デフレ・経済再生～」(平成25年6月14日閣議決定)において、「インフラの老朽化が急速に進展する中、『新しく造ること』から『賢く使うこと』への重点化が課題である」とされ、「日本再興戦略-JAPAN is BACK-」(平成25年6月14日閣議決定)においても、「国、自治体レベルの全分野にわたるインフラ長寿命化計画(行動計画)を策定する」とされました。平成25(2013)年11月には、この「日本再興戦略-JAPAN is BACK-」に基づき、「インフラ長寿命化基本計画」が策定され、地方公共団体においてもインフラ長寿命化計画(行動計画)・個別施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)を策定すること及びこれらの計画に基づき点検等を実施した上で適切な措置を講じることが期待されています。

本町においては、高度経済成長期以降、その時々々の社会ニーズに対応するため公共施設等の整備を着実に進めてまいりましたが、今後、公共施設等が更新時期を迎えることに伴い、老朽化した施設の建て替えや大規模修繕のための財源確保が必要となります。行政運営において、住民の生活基盤である公共施設等の維持管理はその中枢に位置するものですが、今後、厳しい財政状況が続く中で、人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことも予想されます。他方、人口減少に伴う財源不足が予測される中において、行政運営の採算性や効率性が重要視されると同時に、課題解決への積極的な取り組みによって新たな価値を生み出し、将来にわたって持続可能な姿を目指すことが期待されています。

将来のまちづくりを進めるにあたって、公共施設等の状況を把握し、長期的

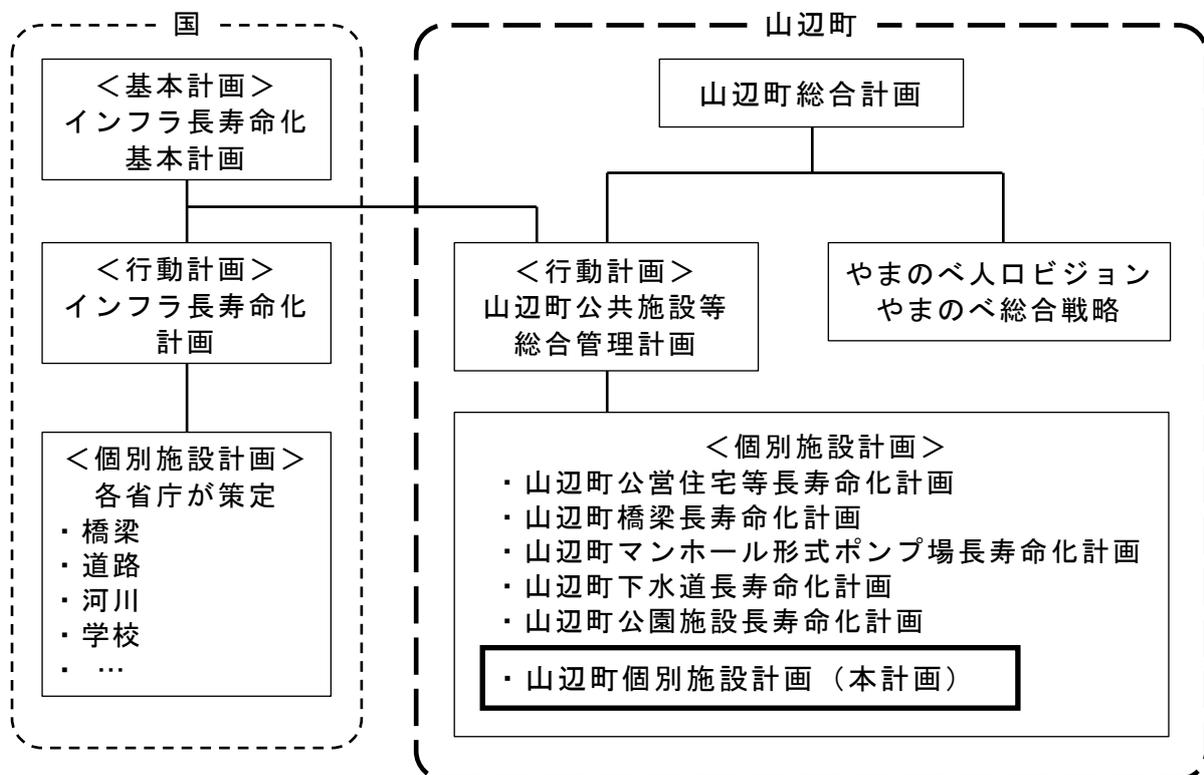
な視点をもって更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化すると共に公共施設等の最適な配置を実現することが不可欠です。

上記のような背景を踏まえ、町が所有・管理するあらゆる公共施設等の維持管理・更新等を着実に推進するための中長期的な取り組みの方向性を明らかにするため、平成 29（2017）年 3 月に「山辺町公共施設等総合管理計画」を策定しました。

本計画は、「山辺町公共施設等総合管理計画」に基づき、建築物系施設における個別施設について現状と課題を分析し、存続、縮減、統廃合、廃止など施設配置の最適化に関する検討を行い、具体的な管理方針や実施計画を定めるものとして策定するものです。

## 2. 計画の位置づけ

本計画は、国のインフラ老朽化対策である「インフラ長寿命化基本計画」の行動計画として作成した「山辺町公共施設等総合管理計画（平成 29 年 3 月）」の下位計画であり、町の全ての計画の基本となる「第 5 次山辺町総合計画」および「やまのべ人口ビジョン・第 2 期やまのべ総合戦略」との整合性・関連性に留意しながら、公共施設等の総合的な管理に関する基本方針を実現するため、各施設の今後の方針を定めるものです。



### 3. 計画期間

令和3(2021)年度から令和12(2030)年度までの10年間を計画期間とし、今後の取組み状況の進捗や社会情勢の変化などに応じ適宜見直しを行います。

### 4. 対象施設

本計画では、町が所有する公共施設等のうち「山辺町公共施設等総合管理計画」の対象施設である以下の「建築物系施設」(75施設)を対象施設として取り扱い、今後の管理について検討し、基本方針を定めるものとします。

	施設名	施設類型
1	山辺中央公民館	コミュニティ施設
2	大寺公民館	コミュニティ施設
3	相模公民館	コミュニティ施設
4	近江公民館	コミュニティ施設
5	山辺北部公民館	コミュニティ施設
6	山辺東部公民館	コミュニティ施設
7	山辺南部公民館	コミュニティ施設
8	緑ヶ丘コミュニティセンター	コミュニティ施設
9	保健福祉センター	保健福祉施設
10	旧作谷沢支所(母子健康センター) / 倉庫	行政施設
11	安達峰一郎記念保育所	保健福祉施設
12	山辺町学校給食センター	学校施設
13	山辺町ふるさと交流センター	生涯学習施設
14	ふるさと資料館	生涯学習施設
15	繊維産業歴史資料館	生涯学習施設
16	安達峰一郎生家	生涯学習施設
17	やまのべいきいき館	行政施設
18	旧山野辺陣屋玄関	生涯学習施設
19	町民総合体育館	スポーツ施設
20	町民野球場	スポーツ施設
21	町武道館	スポーツ施設
22	屋内ゲートボール場	スポーツ施設
23	町民プール	スポーツ施設
24	町民テニスコート	スポーツ施設

	施設名	施設類型
25	リサイクルステーション	スポーツ施設
26	山辺町消防団本部 車庫	防災施設
27	山辺町消防団 水防倉庫	防災施設
28	山辺町消防団 荒谷倉庫	防災施設
29	山辺町消防団第1分団第1部／消防ポンプ庫	防災施設
30	山辺町消防団第1分団第2部／消防ポンプ庫	防災施設
31	山辺町消防団第1分団第3部／消防ポンプ庫	防災施設
32	山辺町消防団第1分団第4部／消防ポンプ庫	防災施設
33	山辺町消防団第2分団第1部／消防ポンプ庫	防災施設
34	山辺町消防団第2分団第2部／消防ポンプ庫	防災施設
35	山辺町消防団第2分団第3部／ドクターヘリ支援車両車庫	防災施設
36	山辺町消防団第2分団第3部／消防ポンプ庫	防災施設
37	山辺町消防団第4分団第1部／ドクターヘリ支援車両車庫	防災施設
38	山辺町消防団第4分団第1部／消防ポンプ庫	防災施設
39	山辺町消防団第4分団第2部／消防ポンプ庫	防災施設
40	山辺町消防団第4分団第2部2班／摂待消防ポンプ庫	防災施設
41	山辺町消防団第5分団第1部／消防ポンプ庫	防災施設
42	山辺町消防団第5分団第2部／消防ポンプ庫	防災施設
43	山辺町消防団第5分団第3部／消防ポンプ庫	防災施設
44	山辺町消防団第5分団第4部／消防ポンプ庫	防災施設
45	山辺町消防団第6分団第1部／消防ポンプ庫	防災施設
46	山辺町消防団第6分団第2部／消防ポンプ庫	防災施設
47	山辺町消防団第6分団第3部／消防ポンプ庫	防災施設
48	山辺町消防団第6分団第4部／消防ポンプ庫	防災施設
49	大蔵除雪車格納庫	公営住宅等
50	道路美化資材倉庫	公営住宅等
51	山辺温泉保養センター	産業施設
52	源長寺沼ふれあい農園／トイレ	産業施設
53	山辺駅前駐輪場	産業施設
54	大蔵地区公衆トイレ	産業施設
55	畑谷地区公衆トイレ	産業施設
56	旧畑谷ファミリーランド	行政施設

	施設名	施設類型
57	野営場林間休養施設／トイレ	産業施設
58	旧庁舎／車庫等	行政施設
59	山辺町役場庁舎	行政施設
60	中支所 中地区農村集落共同利用施設	行政施設
61	作谷沢支所 作谷沢活性化施設	行政施設
62	行政資料・文化財保管庫	行政施設
63	旧大寺小学校	行政施設
64	作谷沢小中学校	学校施設
65	防災放送システム	防災施設
66	愛宕山森林公園／展望台	公園
67	玉虫森林公園／四阿	公園
68	緑ヶ丘農村公園／便所等	公園
69	玉虫沼農村公園／管理棟等	公園
70	玉虫沼湖畔公園／トイレ等	公園
71	大塚天神古墳公園／便所等	公園
72	小鳥海農村公園／展望台	公園
73	大寺ふれあい公園／トイレ等	公園
74	源長寺沼ふれあい公園／あずまや	公園
75	はったらモア広場／東屋	公園

なお、「57 野営場林間休養施設／トイレ」「65 防災放送システム」については、各施設の現状を把握した上で、次の通り取り扱います。

「57 野営場林間休養施設／トイレ」

平成 30（2018）年度に閉鎖していることから、後述する施設の評価・取組み手法の検討・具体的な管理方針等の策定は行わないこととした。

「65 防災放送システム」

従来より、継続運用を前提として外部専門業者による定期的な点検・診断などにより状況把握を行いながら既に予防保全的な管理を行っていることから、費用対効果および施設性能の観点による施設の評価は行わないこととした。

また、行政財産としての用途が見込めず、普通財産として管理している以下の施設については、「山辺町公共施設等総合管理計画」及び本計画の対象外としています。

- ① 旧山辺中学校
- ② 旧鳥海小・中中学校
- ③ 大寺西部集会所
- ④ 東公民館
- ⑤ 相ノ沢公民館（元相ノ沢冬季分校）
- ⑥ 中丸公民館集会所（元大蕨教員住宅）
- ⑦ 前方公民館（元中村役場）

## 第2章 対策の優先順位の考え方

### 1. 優先順位の考え方の概要

#### 基本情報の把握

- ・当町が保有する公共施設等の状況を整理し、平成30(2018)年度末(平成31年3月31日)時点の「公共施設等別状況調査シート」を作成。
- ・各施設の人件費、維持管理費(水道光熱費や点検維持清掃等の費用など)、減価償却費を含めたフルコストを算出。



#### 施設の一次評価

##### <費用対効果の評価>

- ・「公共施設等別状況調査シート」の結果をもとに、「利用者一人あたり費用」および「床面積あたり費用」から各施設の利用の程度等を含めた費用対効果を算定。

##### <施設性能の評価>

- ・全ての施設の現地調査を専門の第三者機関や有資格者に外部委託する場合には多額のコストと時間を要するため、町独自の「施設安全性、機能性、環境面評価シート」を作成し、各施設の所管課(担当者)が現地調査を実施。
- ・「施設安全性、機能性、環境面評価シート」の結果をもとに、「安全性」「機能性」「環境面」から各施設の施設性能を算定。

##### <4つの取組方針に分類>

- ・各施設を以下4つの取組方針に分類。

##### A.継続運用

- ・「費用対効果」「施設性能」共に高い施設は、継続運用を優先的に検討し、原則として「予防保全的管理」に取組む。

##### B.長寿命化

- ・「費用対効果」が高いが「施設性能」が低い施設は、施設性能を高めるため長寿命化を優先的に検討し、原則として「建替(更新)・大規模修繕」に取組む。

##### C.用途変更・統合・複合化

- ・「費用対効果」が低い「施設性能」が高い施設は、施設の性能を活かすため用途変更・他施設との統合・複合化を優先的に検討し、「施設総量適正化」に取組む。

##### D.廃止

- ・「費用対効果」「施設性能」共に低い施設は、廃止を優先的に検討し、「施設総量適正化」に取組む。



## 施設の 二次評価

- ・一次評価で分類された取組方針を優先的に検討しつつ、例えば次の事項を考慮し、各施設の政策優先度の「高」「低」を判定。
  - ・施設利用者が多い。
  - ・利用料等の収入がある。
  - ・施設運営方法や施設機能の向上により利用状況が改善される見込みがある。
  - ・町内に類似施設がなく、希少性が高い。
  - ・整備目的が明確で、目的に合致した利用が継続的に行われている。
  - ・地域防災において、災害拠点や避難施設として指定されており、代替できる施設がない。



## 対策手法 の検討

- ・一次評価で分類された4つの取組方針「A.継続運用」「B.長寿命化」「C.用途変更・統合・複合化」「D.廃止」を原則としつつ、二次評価での政策優先度を考慮し、最終的に以下3つの基本方針を決定。なお、一次評価で分類された取組方針を二次評価によって変更する場合は、その理由等を明確にする。
- ・決定した基本方針に基づいて、施設の種類や用途に応じた以下の対策手法を検討する。

### 基本方針1「予防保全的管理」

- 対策手法：
- ・耐震改修
  - ・維持管理の効率化
  - ・財源の確保

### 基本方針2「建替（更新）・大規模修繕」

- 対策手法：
- ・耐震改修
  - ・長寿命化
  - ・改築
  - ・一部改築

### 基本方針3「施設総量適正化」

- 対策手法：
- ・集約化
  - ・複合化
  - ・用途転用
  - ・除却

- ・基本方針が「予防保全的管理」「建替（更新）・大規模修繕」となった施設で耐震性に問題がある場合は「耐震改修」を実施することを原則とする。ただし、耐震性がなくとも安全性を確保できている、あるいは施設の利用状況等に鑑みて安全性を確保することが必ずしも重要ではないと判断された場合には、他の対策を検討する。
- ・基本方針が「施設総量適正化」となった施設については、当該施設の所管課、財政担当課及び総合計画担当課での調整を図った上で具体的な対策手法を検討する。

## 2. 基本方針・対策手法

### 基本方針1 「予防保全的管理」の対策手法

耐震改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の耐震基準に対する耐震性能を満たしていない施設について、耐震改修を行う。</li> </ul>
維持管理の効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設、設備、構造物等の機能の維持のために必要となる点検・調査、補修などを行う。</li> <li>・ 指定管理者や包括管理委託等の民間ノウハウによる効率的な管理運営、予約システムや窓口業務、施設管理のIT化により、光熱水費等の削減を図る。</li> </ul>
財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民間のノウハウが最大限発揮されるような自由度の高い指定管理制度・コンセッションを導入し、施設の収益性を高め、その収益を投資して施設の維持管理や機能更新を図る。</li> <li>・ 施設の利用料金の見直しや、施設の維持管理に充当する寄附や基金の設置等を行う。</li> </ul>

### 基本方針2 「建替（更新）・大規模修繕」の対策手法

耐震改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の耐震基準に対する耐震性能を満たしていない施設について、耐震改修を行う。</li> </ul>
長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長寿命化工事を実施し、構造体の劣化進行を遅らせる。</li> <li>・ 施設の状況を早期、かつ的確に把握する</li> <li>・ 建築、電気、機械設備といった部位別に適切な対応を行っていく。</li> <li>・ 保全計画の策定等により保全に関する業務の効率化を図る。</li> <li>・ 事故等の施設に起因するリスクを回避する（予防保全）。</li> <li>・ 施設の構造体、仕上げ、設備等の経年劣化に対応した改修を行う。</li> <li>・ 設備システムや附帯設備（トイレ、シャワー、更衣室等）等の陳腐化、利用者ニーズの変化への対応等、社会的劣化へ対応するための改修を行う。</li> <li>・ 改修に当たっては施設運営者のニーズを十分に把握し、利用者数や利用料金等による収入の増加を想定した適切な投資を行う。</li> <li>・ 保全コストの平準化により、計画的・効率的な保全を実現し、ライフサイクルコスト（LCC）の削減を図る。</li> </ul>
改築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従前の施設の全てを取り壊し、これと規模や構造、階数、用途などが著しく異なることのない施設に建替える。</li> <li>・ PPP/PFI などの民間資金を活用した事業スキームの検討、将来人口や財政見通しを踏まえたランニングコストによる持続的な施設設計、運営者の収益性の確保が期待できる使いやすい施設内容の検討等を通じ、将来にわたって適切なストックとなるよう十分に検討を行う。</li> </ul>
一部改築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従前施設の一部を取り壊し、機能や性能を求められる水準まで引き上げる。</li> <li>・ 内装変更や設備の入れ替えなどの工事を行う。</li> </ul>

### 基本方針3 「施設総量適正化」の対策手法

<b>集約化</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・同種の施設があり、利用状況や立地を踏まえ、一つに集約した場合でも利用者ニーズを満たすことができる等、集約化の可能性がある場合には積極的に集約化を図る。</li><li>・将来の維持管理の財源確保が難しい場合には、同種の施設の集約化を図りつつ、集約化した施設の運営改善や機能更新により、施設環境の質の低下を最小限にするよう配慮する。</li></ul>
<b>複合化</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・周辺の公共施設の改築などとあわせて複合化を図る。</li><li>・複合化に際しても、集約化や建替え再整備と同様に、施設環境の質の確保や将来にわたって適切なストックとなるよう計画する。</li></ul>
<b>用途転用</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設を従来用途のまま維持するための優先度や改修後の利用見込みが低い場合等で、他の機能が強く要請されている場合には、用途転用を検討する。</li></ul>
<b>除却</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設を従来用途のまま維持するための優先度や改修後の利用見込みが低い場合等で、用途転用の必要性もない場合には、除却を検討する。</li></ul>

### 第 3 章 個別施設の状況および今後の対策

以降、本計画で取り扱う対象施設（75 施設）について、施設の概要、評価結果、施設の現状と課題、今後 10 年間の管理に関する基本方針を示します。

## 1. 各施設 総括表

	施設名	一次評価結果	政策 優先度	基本方針	対策手法
1	山辺中央公民館	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化 財源の確保
2	大寺公民館	C. 用途変更・統合・複合化	高	予防保全的管理	維持管理の効率化 財源の確保
3	相模公民館	D. 廃止	高	予防保全的管理	維持管理の効率化 財源の確保
4	近江公民館	B. 長寿命化	高	予防保全的管理	維持管理の効率化 財源の確保
5	山辺北部公民館	C. 用途変更・統合・複合化	高	予防保全的管理	維持管理の効率化 財源の確保
6	山辺東部公民館	B. 長寿命化	高	予防保全的管理	維持管理の効率化 財源の確保
7	山辺南部公民館	B. 長寿命化	高	予防保全的管理	維持管理の効率化 財源の確保
8	緑ヶ丘コミュニティセンター	C. 用途変更・統合・複合化	高	予防保全的管理	維持管理の効率化 財源の確保
9	保健福祉センター	C. 用途変更・統合・複合化	高	建替（更新）・大規模修繕	長寿命化
10	旧作谷沢支所（母子健康センター）／倉庫	B. 長寿命化	低	施設総量適正化	除却
11	安達峰一郎記念保育所	D. 廃止	高	建替（更新）・大規模修繕	長寿命化
12	山辺町学校給食センター	D. 廃止	高	建替（更新）・大規模修繕	長寿命化 一部改築
13	山辺町ふるさと交流センター	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化 財源の確保

	施設名	一次評価結果	政策 優先度	基本方針	対策手法
14	ふるさと資料館	D. 廃止	高	予防保全的管理	維持管理の効率化 財源の確保
15	繊維産業歴史資料館	B. 長寿命化	低	施設総量適正化	除却
16	安達峰一郎生家	C. 用途変更・統合・複合化	高	予防保全的管理	維持管理の効率化 財源の確保
17	やまのべいきいき館	B. 長寿命化	低	施設総量適正化	除却
18	旧山野辺陣屋玄関	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
19	町民総合体育館	B. 長寿命化	高	建替（更新）・大規模修繕	長寿命化
20	町民野球場	D. 廃止	高	予防保全的管理	維持管理の効率化 財源の確保
21	町武道館	B. 長寿命化	高	建替（更新）・大規模修繕	長寿命化
22	屋内ゲートボール場	B. 長寿命化	高	建替（更新）・大規模修繕	長寿命化
23	町民プール	D. 廃止	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
24	町民テニスコート	B. 長寿命化	高	建替（更新）・大規模修繕	長寿命化
25	リサイクルステーション	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
26	山辺町消防団本部 車庫	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
27	山辺町消防団 水防倉庫	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
28	山辺町消防団 荒谷倉庫	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
29	山辺町消防団第1分団第1部／消防ポンプ庫	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
30	山辺町消防団第1分団第2部／消防ポンプ庫	C. 用途変更・統合・複合化	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
31	山辺町消防団第1分団第3部／消防ポンプ庫	C. 用途変更・統合・複合化	高	予防保全的管理	維持管理の効率化

	施設名	一次評価結果	政策 優先度	基本方針	対策手法
32	山辺町消防団第1分団第4部／消防ポンプ庫	A. 継続運用	低	施設総量適正化	除却
33	山辺町消防団第2分団第1部／消防ポンプ庫	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
34	山辺町消防団第2分団第2部／消防ポンプ庫	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
35	山辺町消防団第2分団第3部／ドクターヘリ支援車両車庫	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
36	山辺町消防団第2分団第3部／消防ポンプ庫	B. 長寿命化	低	施設総量適正化	除却
37	山辺町消防団第4分団第1部／ドクターヘリ支援車両車庫	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
38	山辺町消防団第4分団第1部／消防ポンプ庫	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
39	山辺町消防団第4分団第2部／消防ポンプ庫	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
40	山辺町消防団第4分団第2部2班／摂待消防ポンプ庫	A. 継続運用	低	施設総量適正化	除却
41	山辺町消防団第5分団第1部／消防ポンプ庫	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
42	山辺町消防団第5分団第2部／消防ポンプ庫	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
43	山辺町消防団第5分団第3部／消防ポンプ庫	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
44	山辺町消防団第5分団第4部／消防ポンプ庫	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
45	山辺町消防団第6分団第1部／消防ポンプ庫	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
46	山辺町消防団第6分団第2部／消防ポンプ庫	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
47	山辺町消防団第6分団第3部／消防ポンプ庫	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
48	山辺町消防団第6分団第4部／消防ポンプ庫	A. 継続運用	低	施設総量適正化	除却
49	大蔵除雪車格納庫	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化

	施設名	一次評価結果	政策 優先度	基本方針	対策手法
50	道路美化資材倉庫	A. 継続運用	低	施設総量適正化	集約化 除却
51	山辺温泉保養センター	C. 用途変更・統合・複合化	高	建替（更新）・大規模修繕	耐震改修 長寿命化 一部改築
52	源長寺沼ふれあい農園／トイレ	C. 用途変更・統合・複合化	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
53	山辺駅前駐輪場	C. 用途変更・統合・複合化	高	予防保全的管理	維持管理の効率化 財源の確保
54	大蕨地区公衆トイレ	C. 用途変更・統合・複合化	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
55	畑谷地区公衆トイレ	C. 用途変更・統合・複合化	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
56	旧畑谷ファミリーランド	B. 長寿命化	低	施設総量適正化	除却
57	野営場林間休養施設／トイレ	—	—	—	—
58	旧庁舎／車庫等	B. 長寿命化	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
59	山辺町役場庁舎	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
60	中支所 中地区農村集落共同利用施設	D. 廃止	高	予防保全的管理	維持管理の効率化 財源の確保
61	作谷沢支所 作谷沢活性化施設	C. 用途変更・統合・複合化	高	予防保全的管理	維持管理の効率化 財源の確保
62	行政資料・文化財保管庫	D. 廃止	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
63	旧大寺小学校	D. 廃止	低	施設総量適正化	除却
64	作谷沢小中学校	D. 廃止	低	施設総量適正化	用途転用 除却
65	防災放送システム	—	—	—	—

	施設名	一次評価結果	政策 優先度	基本方針	対策手法
66	愛宕山森林公園／展望台	B. 長寿命化	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
67	玉虫森林公園／四阿	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
68	緑ヶ丘農村公園／便所等	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
69	玉虫沼農村公園／管理棟等	C. 用途変更・統合・複合化	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
70	玉虫沼湖畔公園／トイレ等	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
71	大塚天神古墳公園／便所等	C. 用途変更・統合・複合化	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
72	小島海農村公園／展望台	C. 用途変更・統合・複合化	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
73	大寺ふれあい公園／トイレ等	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
74	源長寺沼ふれあい公園／あずまや	C. 用途変更・統合・複合化	高	予防保全的管理	維持管理の効率化
75	はったらモア広場／東屋	A. 継続運用	高	予防保全的管理	維持管理の効率化

## 2. 各施設 個別計画

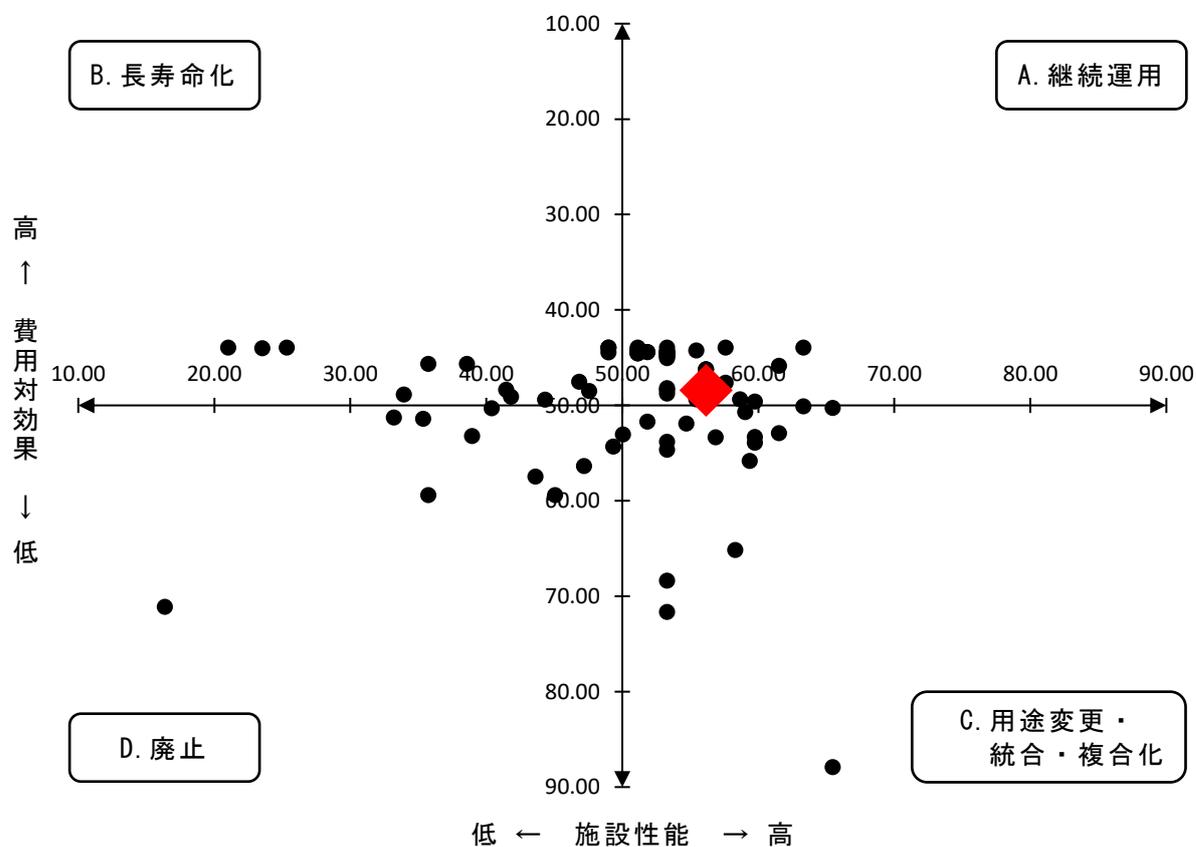
### 1 山辺中央公民館

#### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字山辺 1		
所管課・係	教育課社会教育係		
主要用途	公民館・図書館施設		
施設類型	コミュニティ施設	階数	地上 2 階
建設年度	昭和 45 (1970) 年度	耐用年数	50 年
床面積	2,679.00 m <sup>2</sup>	構造	鉄筋コンクリート造

#### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
985 円	13,420 円	48.45	54.0	28.5	4.5	56.16



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・用途転用</li> <li>・複合化</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・平成 22（2010）年に耐震補強及び増築改修工事は実施しているものの築 50 年を越す建築物のため維持管理にかかる経費が増えています。
- ・駐車スペースが不足しており、旧役場跡地駐車場が必要不可欠な状況です。
- ・図書室の利用者増加を図るためにも閉架スペースが必要です。
- ・エレベータがないため、車いす利用者等の二階部分の利用が困難になっています。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・現時点では建替（更新）や大規模修繕の予定はなく、今後は、予防的な修繕等により、施設の長期的な運用を図っていきます。給排水衛生設備、電気設備等については、今後、計画的に改修を行っていきます。
- ・日常の保全及び定期点検や診断などにより、建物の安全性確保や施設機能の維持に努めます。

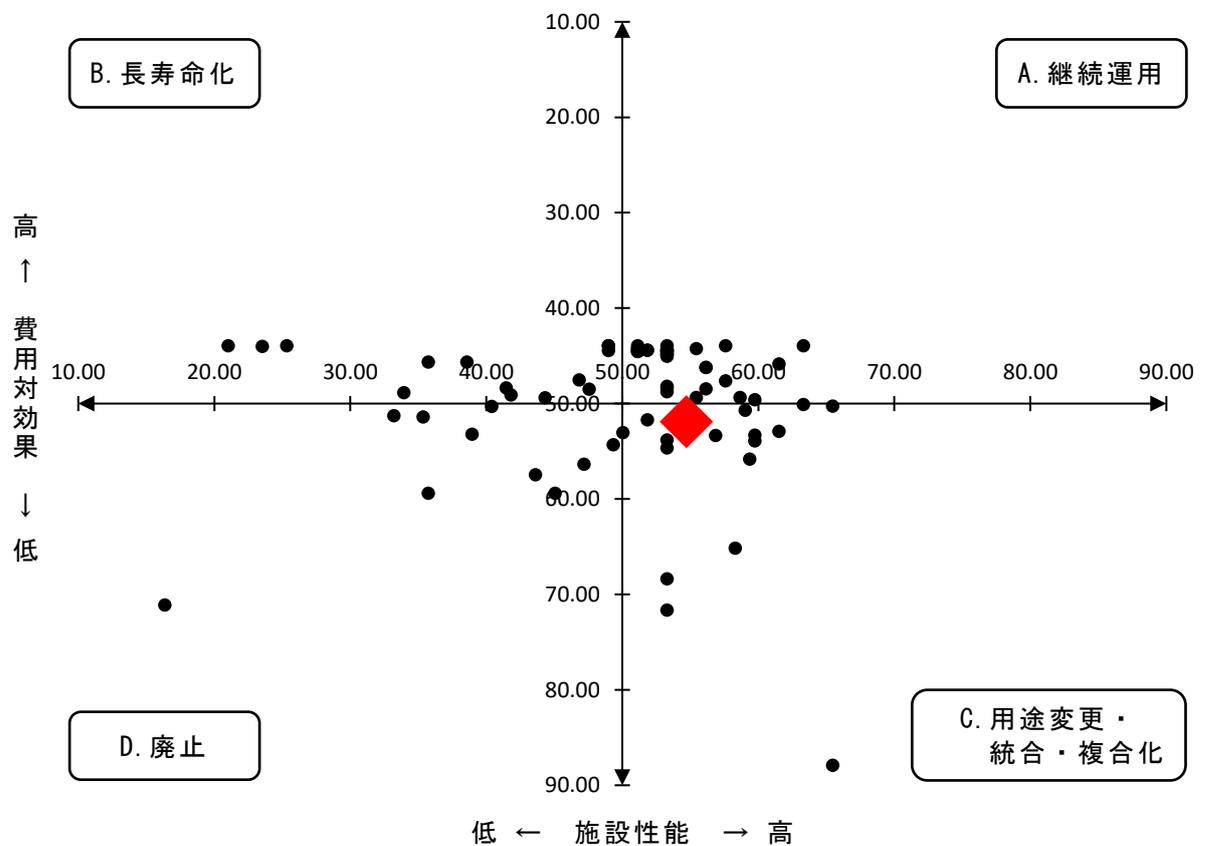
## 2 大寺公民館

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字大寺 1751-1		
所管課・係	教育課社会教育係		
主要用途	公民館施設		
施設類型	コミュニティ施設	階数	地上2階
建設年度	昭和56(1981)年度	耐用年数	38年
床面積	567.00 m <sup>2</sup>	構造	鉄骨造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
1,897円	22,221円	51.90	57.0	24.0	4.0	54.72



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・指定避難所でもあり、大寺地区における中心的機能を持つ施設のため、基本方針を「予防保全的管理」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・平成 25（2013）年に耐震工事はされているものの、築 40 年経過する建築物のため維持管理にかかる経費が増えています。
- ・駐車場が慢性的に不足しているため、利用に支障をきたす場合があります。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・現時点では建替（更新）や大規模修繕の予定はなく、今後は、予防的な修繕等により、施設の長期的な運用を図っていきます。給排水衛生設備、電気設備等については、今後、計画的に改修を行っていきます。
- ・日常の保全及び定期点検や診断などにより、建物の安全性確保や施設機能の維持に努めます。
- ・今後、コミュニティーセンター化についての具体的な協議を図り、施設利用の柔軟性を検討します。
- ・コミュニティー施設（公民館やコミュニティーセンター）の施設数の見直しについて地域の実情を踏まえ検討します。

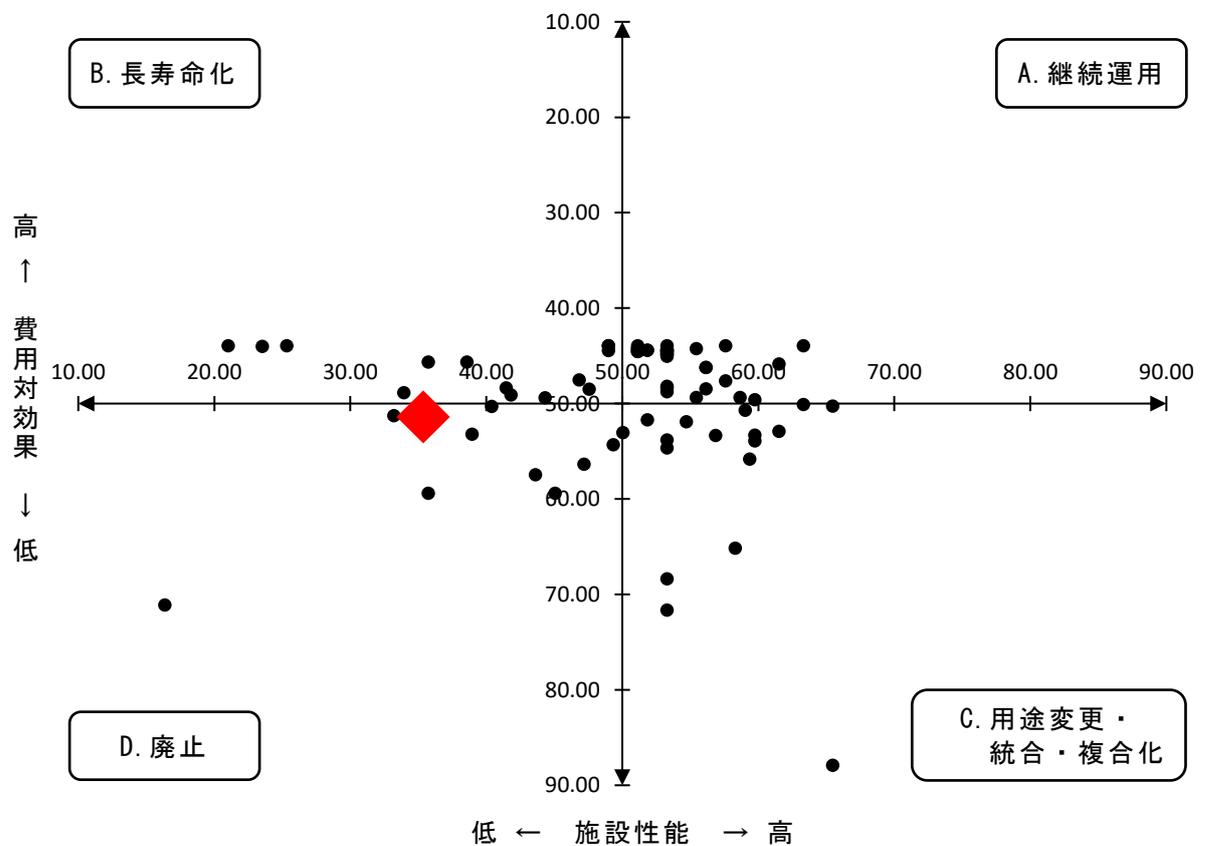
### 3 相模公民館

#### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字根際 2279-1		
所管課・係	教育課社会教育係		
主要用途	公民館施設		
施設類型	コミュニティ施設	階数	地上2階
建設年度	昭和59(1984)年度	耐用年数	50年
床面積	752.00 m <sup>2</sup>	構造	鉄筋コンクリート造

#### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
2,058円	17,770円	51.40	39.0	18.0	1.0	35.37



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・用途転用</li> <li>・複合化</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・指定避難所でもあり、相模地区における中心的機能を持つ施設のため、基本方針を「予防保全的管理」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・築 35 年以上経過する建築物のため維持管理にかかる経費が増えています。
- ・暖房設備が集中ボイラーとなっていることから、燃料費等の経費がほかの公民館と比べると多くなっています。
- ・駐車場が慢性的に不足しているため、利用に支障をきたす場合があります。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・日常の保全及び定期点検や診断などにより、建物の安全性確保や施設機能の維持に努めます。
- ・今後コミュニティーセンター化についての具体的な協議を図り、施設利用の柔軟性を検討します。
- ・コミュニティー施設（公民館やコミュニティーセンター）の施設数の見直しについて地域の実情を踏まえ検討します。

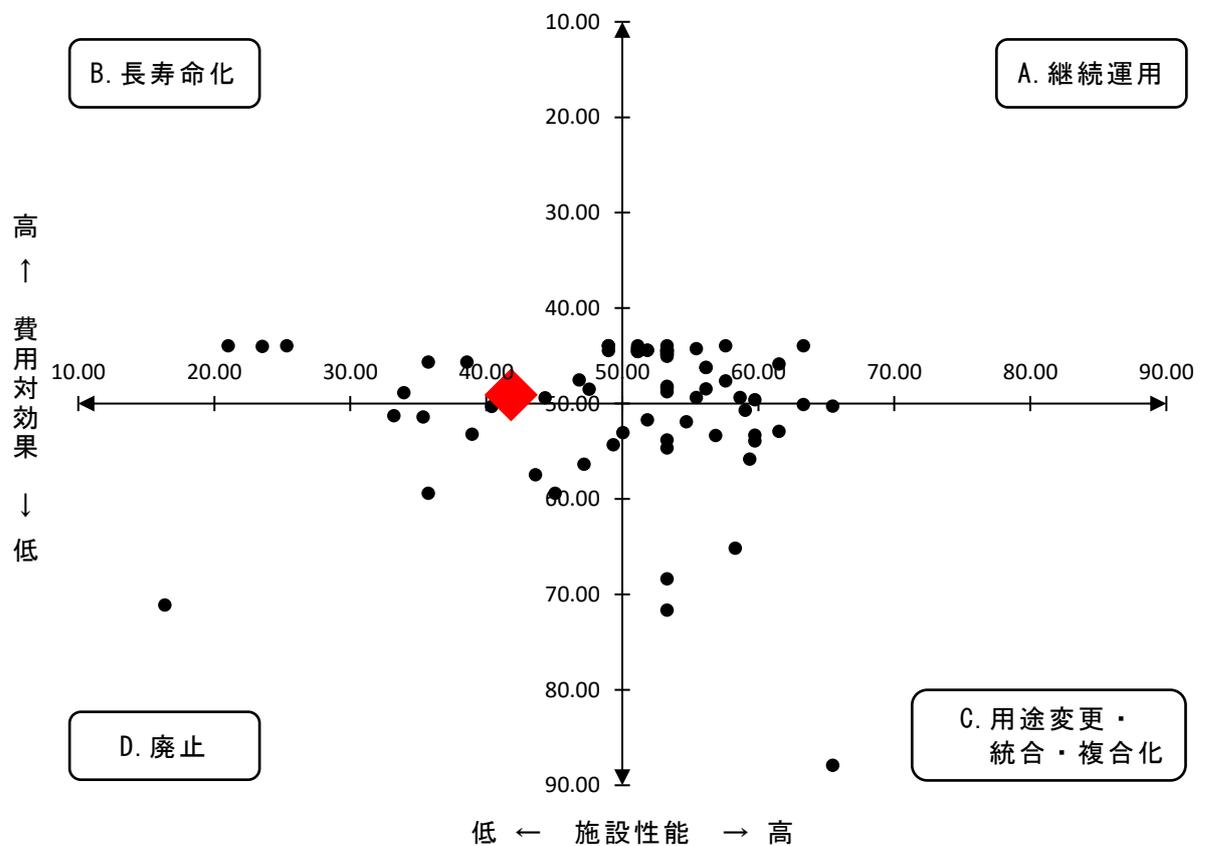
## 4 近江公民館

### ①施設基本概要

所在地	山辺町近江 3-37		
所管課・係	教育課社会教育係		
主要用途	公民館施設		
施設類型	コミュニティ施設	階数	地上2階
建設年度	昭和61(1986)年度	耐用年数	24年
床面積	504.00 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
784円	18,776円	49.10	39.0	25.5	2.5	41.82



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		<ul style="list-style-type: none"> <li>建替（更新）</li> <li>・大規模修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・コミュニティ施設（公民館やコミュニティセンター）の施設数の見直しについて検討が必要なことから基本方針を「予防保全的管理」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・築約 35 年経過した建築物のため維持管理にかかる経費が増えています。
- ・建築当初から使用している設備（暖房器具）等の経年劣化による破損もあり、計画的な設備更新の必要があります。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・日常の保全及び定期点検や診断などにより、建物の安全性確保や施設機能の維持に努めます。
- ・今後コミュニティーセンター化についての具体的な協議を図り、施設利用の柔軟性を検討します。
- ・コミュニティ施設（公民館やコミュニティセンター）の施設数の見直しについて地域の実情を踏まえ検討します。

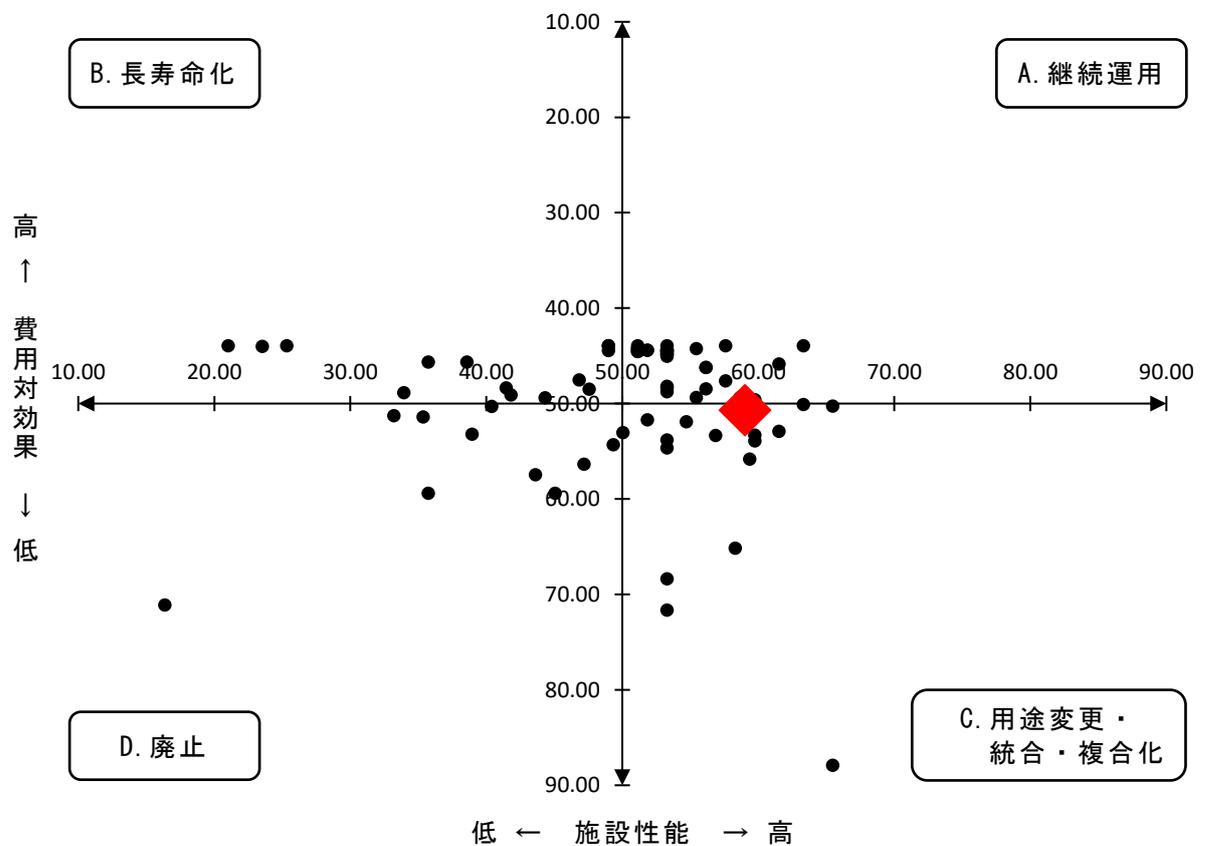
## 5 山辺北部公民館

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字山辺 975		
所管課・係	教育課社会教育係		
主要用途	公民館施設		
施設類型	コミュニティ施設	階数	地上2階
建設年度	平成11(1999)年度	耐用年数	24年
床面積	642.00 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
1,216円	22,691円	50.70	54.0	30.0	7.0	59.03



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・指定避難所でもあり、山辺北部ブロックにおける中心的機能を持つ施設であること、隣接する町指定文化財「安達峰一郎生家」来場者への対応並びに、安達博士関係の資料も収集されていることから、基本方針を「予防保全的管理」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・建築当初から使用している設備（照明器具）等の経年劣化による破損もあり、計画的な設備更新の必要があります。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・日常の保全及び定期点検や診断などにより、建物の安全性確保や施設機能の維持に努めます。
- ・今後コミュニティーセンター化についての具体的な協議を図り、施設利用の柔軟性を検討します。
- ・コミュニティ施設（公民館やコミュニティセンター）の施設数の見直しについて地域の実情を踏まえ検討します。

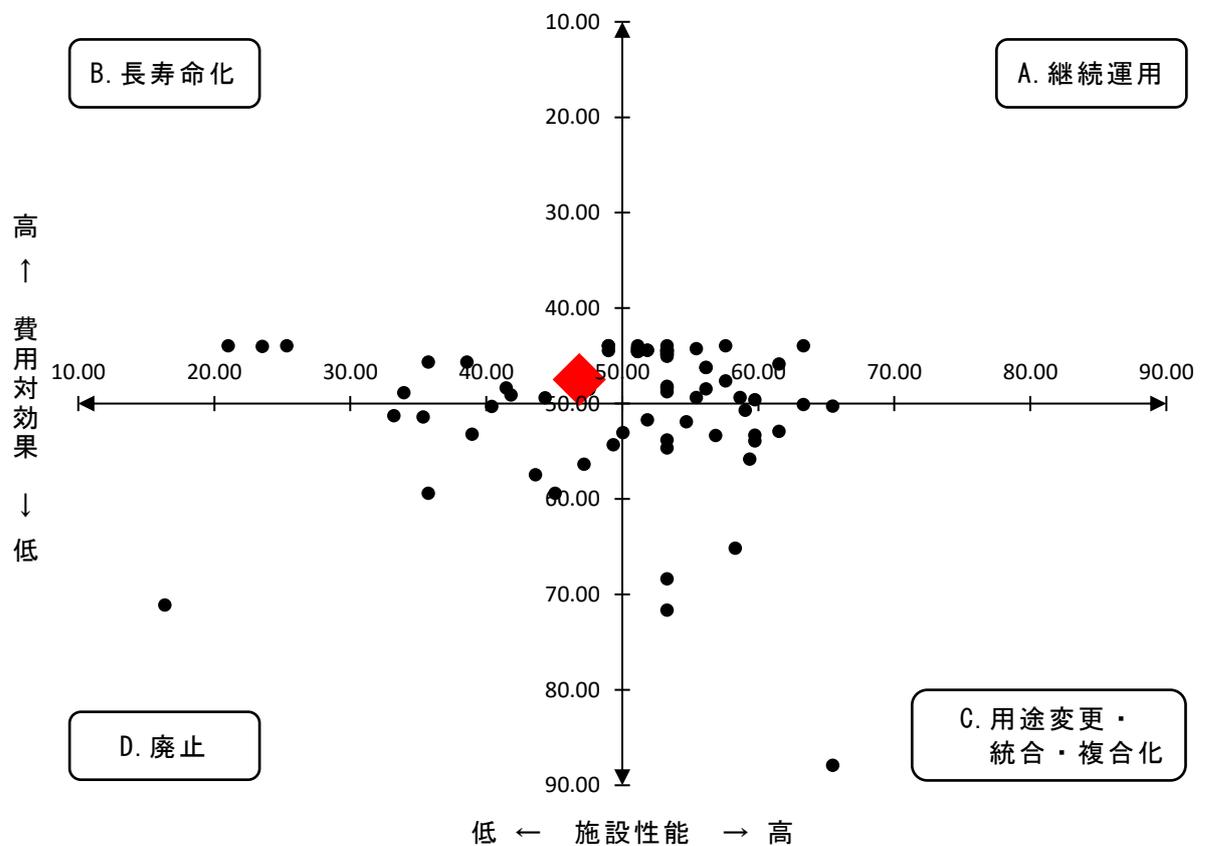
## 6 山辺東部公民館

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字山辺 2805-2		
所管課・係	教育課社会教育係		
主要用途	公民館施設		
施設類型	コミュニティ施設	階数	地上2階
建設年度	平成13(2001)年度	耐用年数	38年
床面積	502.00 m <sup>2</sup>	構造	鉄骨コンクリート造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
633円	12,027円	47.50	48.0	24.0	2.0	46.84



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・コミュニティ施設（公民館やコミュニティセンター）の施設数の見直しについて検討が必要なことから基本方針を「予防保全的管理」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・築約 40 年経過した建築物のため維持管理にかかる経費が増えています
- ・建築当初から使用している設備（暖房器具）等の経年劣化による破損もあり、計画的な設備更新の必要があります。
- ・高齢化の進展や生活様式の変化などから、施設のバリアフリー化やトイレの洋式化など、利便性の向上が求められています。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・日常の保全及び定期点検や診断などにより、建物の安全性確保や施設機能の維持に努めます。
- ・今後コミュニティーセンター化についての具体的な協議を図り、施設利用の柔軟性を検討します。
- ・コミュニティ施設（公民館やコミュニティセンター）の施設数の見直しについて地域の実情を踏まえ検討します。

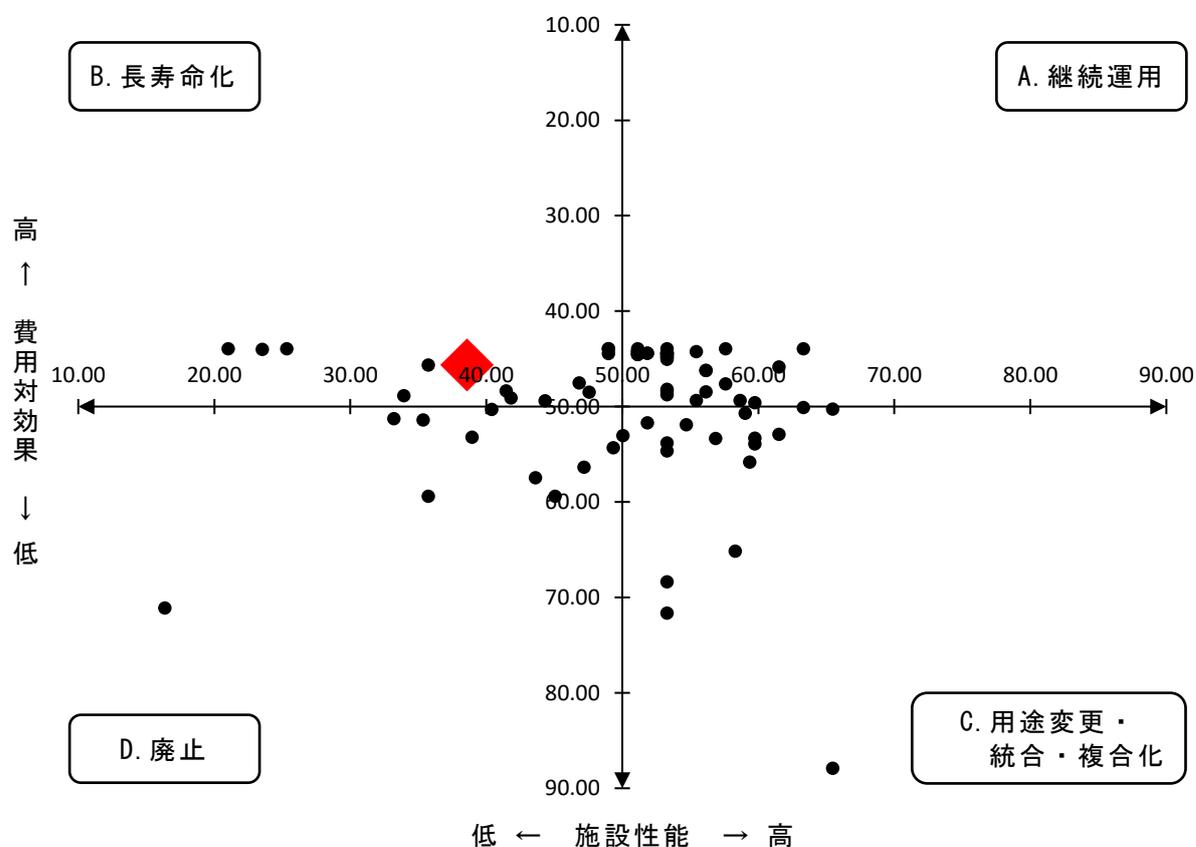
## 7 山辺南部公民館

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字山辺 1420		
所管課・係	教育課社会教育係		
主要用途	公民館施設		
施設類型	コミュニティ施設	階数	地上2階
建設年度	平成2(1990)年度	耐用年数	24年
床面積	520.00 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
241円	6,517円	45.65	39.0	21.0	2.5	38.59



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・コミュニティ施設（公民館やコミュニティセンター）の施設数の見直しについて検討が必要なことから基本方針を「予防保全的管理」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・築約 35 年経過した建築物のため維持管理にかかる経費が増えています。
- ・建築当初から使用している設備（暖房器具）等の経年劣化による破損もあり、計画的な設備更新の必要があります。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・日常の保全及び定期点検や診断などにより、建物の安全性確保や施設機能の維持に努めます。
- ・今後コミュニティーセンター化についての具体的な協議を図り、施設利用の柔軟性を検討します。
- ・コミュニティ施設（公民館やコミュニティセンター）の施設数の見直しについて地域の実情を踏まえ検討します。

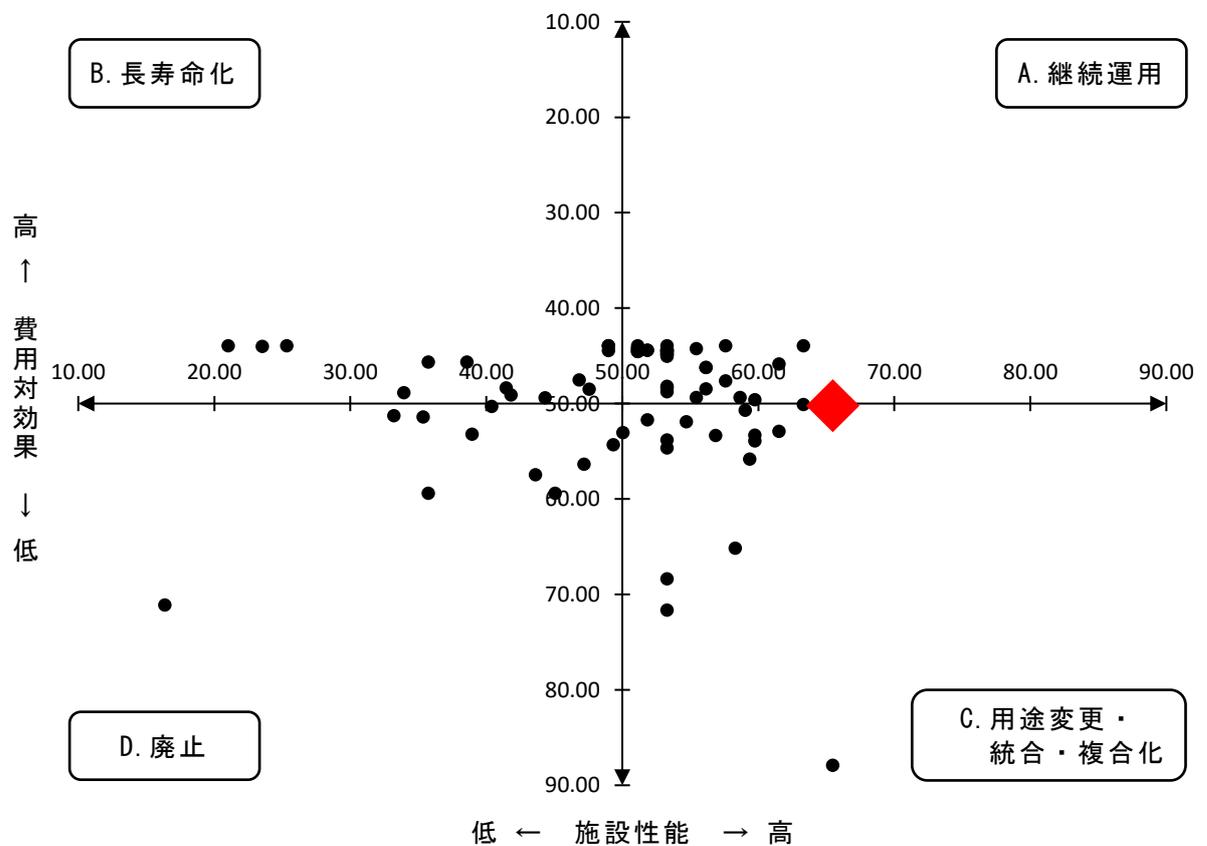
## 8 緑ヶ丘コミュニティセンター

### ①施設基本概要

所在地	山辺町緑ヶ丘2丁目4-5		
所管課・係	政策推進課総合戦略係		
主要用途	集会場		
施設類型	コミュニティ施設	階数	地上1階
建設年度	平成26(2014)年度	耐用年数	24年
床面積	462.80 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
1,361円	18,742円	50.25	60.0	30.0	10.0	65.48



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・今後の町の方針として公民館をコミュニティセンター化する方向で検討中であり、集約化される対象ではなく、継続して運用していく施設であるため、基本方針を「予防保全的管理」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・平成 27（2015）年に建設され、町内のコミュニティ施設としては最も新しい施設です。
- ・自動ドア・太陽光発電などの設備を継続して点検するとともに、融雪設備などの不具合がみられる設備を早期に修繕します。
- ・換気口付近の鳥の糞対策や、劣化が目立つ外壁木目の塗装を行います。
- ・課題として、集会ホールの窓ガラス面が大きく、台風などの暴風雨の際に飛来物が直撃し破損することが懸念されます。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・コミュニティ施設（公民館やコミュニティセンター）の施設数の見直しは検討する必要がありますが、10 年以内の大規模修繕工事は不要であり、維持管理費用の観点から存続させるべき施設であると考えられます。また、営利目的や政治団体活動で利用できるコミュニティ施設となっており、希少性が高い施設であるといえます。
- ・施設、設備、構造物等の機能維持のために必要となる点検・調査、補修などを計画的に行い、施設機能の長期的な維持に努めます。
- ・施設の利用料金の見直し等の検討が必要です。

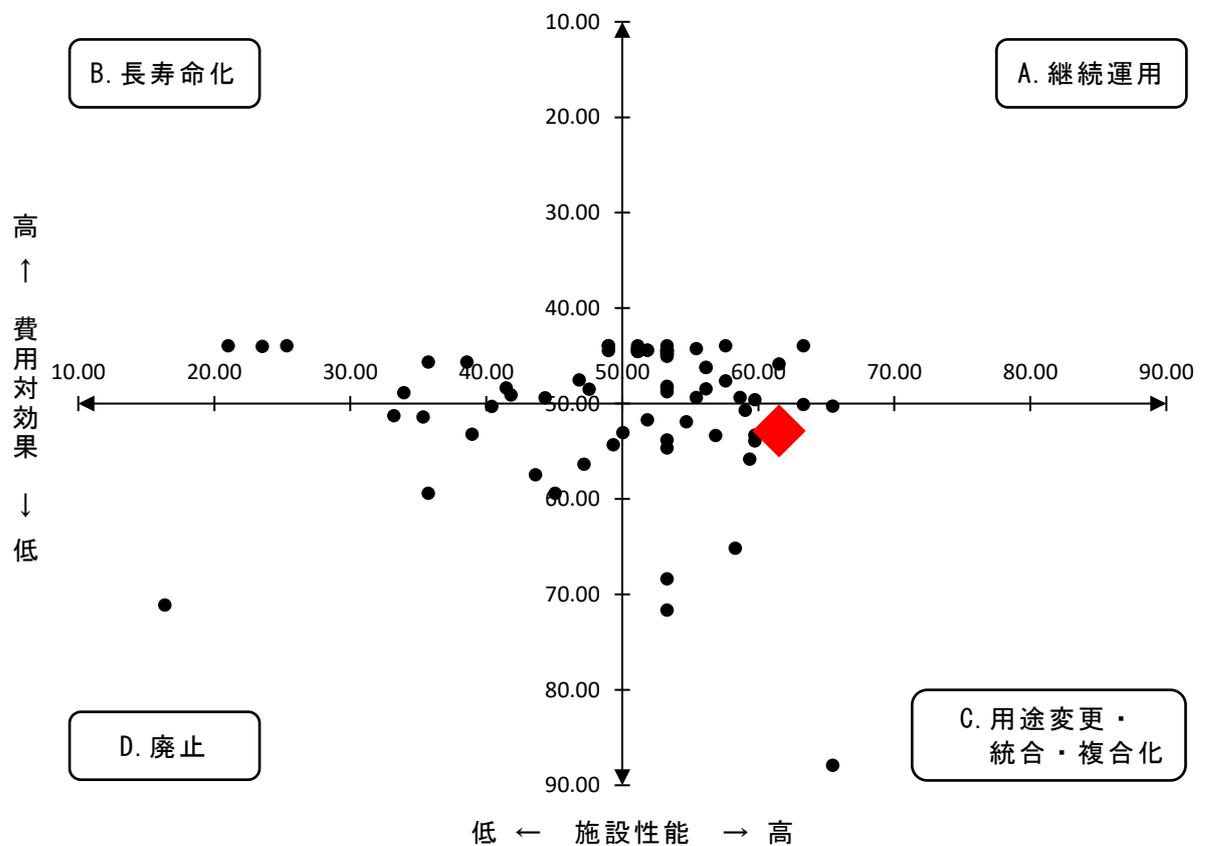
## 9 保健福祉センター

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字大塚 836-1		
所管課・係	保健福祉課保健指導係		
主要用途	町民の健康づくり（検診、生活習慣の改善、運動、栄養指導等）		
施設類型	保健福祉施設	階数	地上1階
建設年度	平成15（2003）年度	耐用年数	24年
床面積	1,725.00 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
2,294円	23,169円	52.90	57.0	28.5	9.0	61.53



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・用途転用</li> <li>・複合化</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・各種健診や健康教室の会場として健康増進や母子保健事業の中心施設となっていることや、指定避難所に指定されていることから、基本方針を「建替（更新）・大規模修繕」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・建築から17年が経過し、老朽化による改修・修繕を必要とする箇所がありますが、緊急な箇所を優先して実施している状況です。
- ・機械設備や電気設備は製造終了の機器もあり修繕時の部品調達等が困難なことが多く、計画的な交換が必要な状況です。
- ・当施設は災害時の指定避難所に指定されています。

### ⑤今後10年間の管理に関する基本方針

- ・町民の健康増進と福祉向上を図る目的に合致した施設利用が継続的に行われていることから、施設の整備手法を「長寿命化」とします
- ・現時点では更新や大規模改修の予定はなく、予防的な修繕等により施設の長期的な運用を図っていきます。機械施設や電気設備などについては、計画的に改修を行っていきます。
- ・日常の保全や定期点検や診断等により、施設の損傷が軽微な段階で修繕等を行うことにより、安全性の確保や施設機能の維持に努めます。
- ・大規模修繕の時期が重ならないよう、点検・診断等の結果に基づいて修繕の優先順位を決定します。

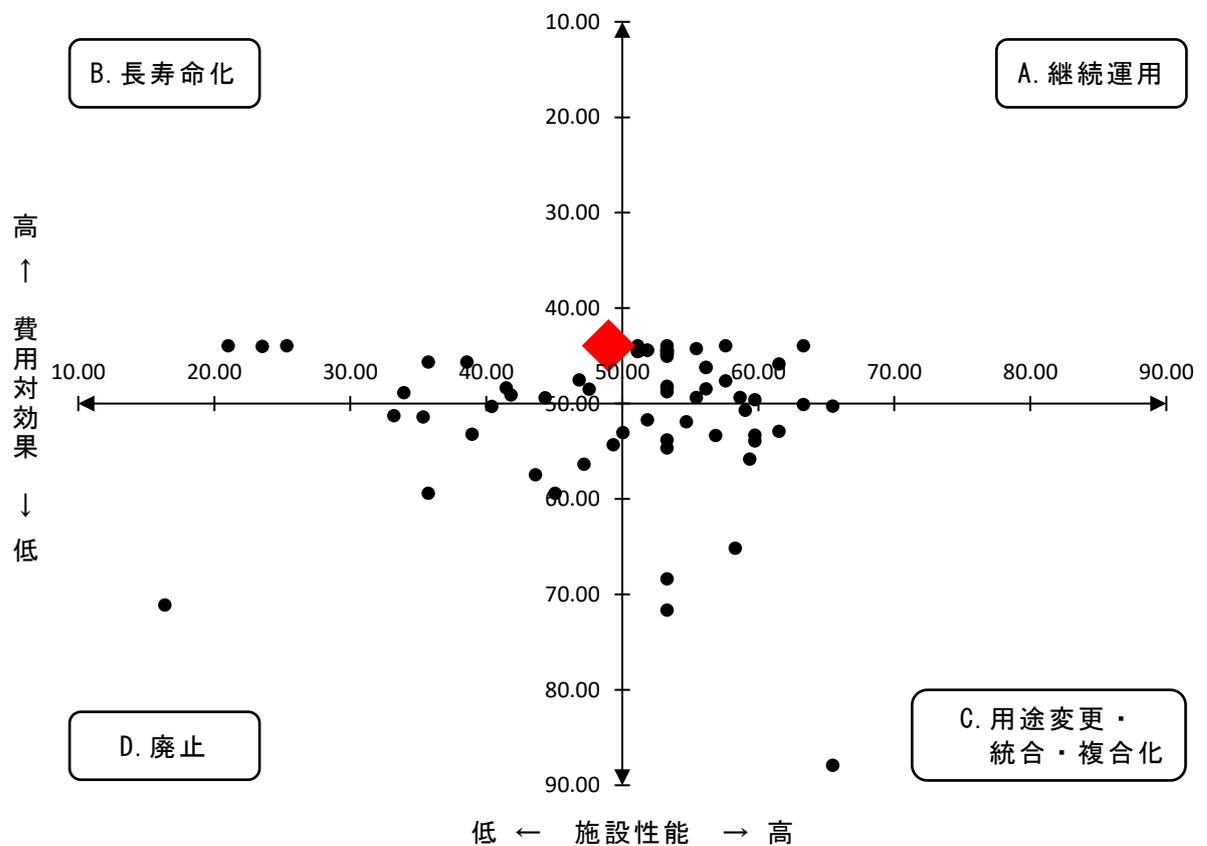
## 10 旧作谷沢支所（母子健康センター）／倉庫

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字築沢 420-5		
所管課・係	総務課財産管理係		
主要用途	倉庫		
施設類型	行政施設	階数	地上1階
建設年度	不明	耐用年数	15年
床面積	4.51 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
0円	0円	43.95	48.0	27.0	2.0	48.99



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・維持管理経費が掛からないため、費用対効果が高く長寿命化と一次評価されていますが、倉庫として使用していないことから、基本方針を「施設総量適正化」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・元々は戦前の教育勅語を保管する奉安殿として活用されており、作谷沢小中学校敷地から旧作谷沢支所（母子健康センター）敷地内に移転されたものです。
- ・平成 23（2011）年度に屋根の損傷があった為、修繕を実施しています。
- ・平成 29（2017）年度に隣接する旧作谷沢支所（事務所及び物置）を売却しました。
- ・扉の鍵は築沢区が管理しており、町としての使用実態はありません。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・これまで町として使用実態が無く、今後も使用することは無いと予想されるため、除却もしくは地元自治会等に対して譲渡することを検討します。

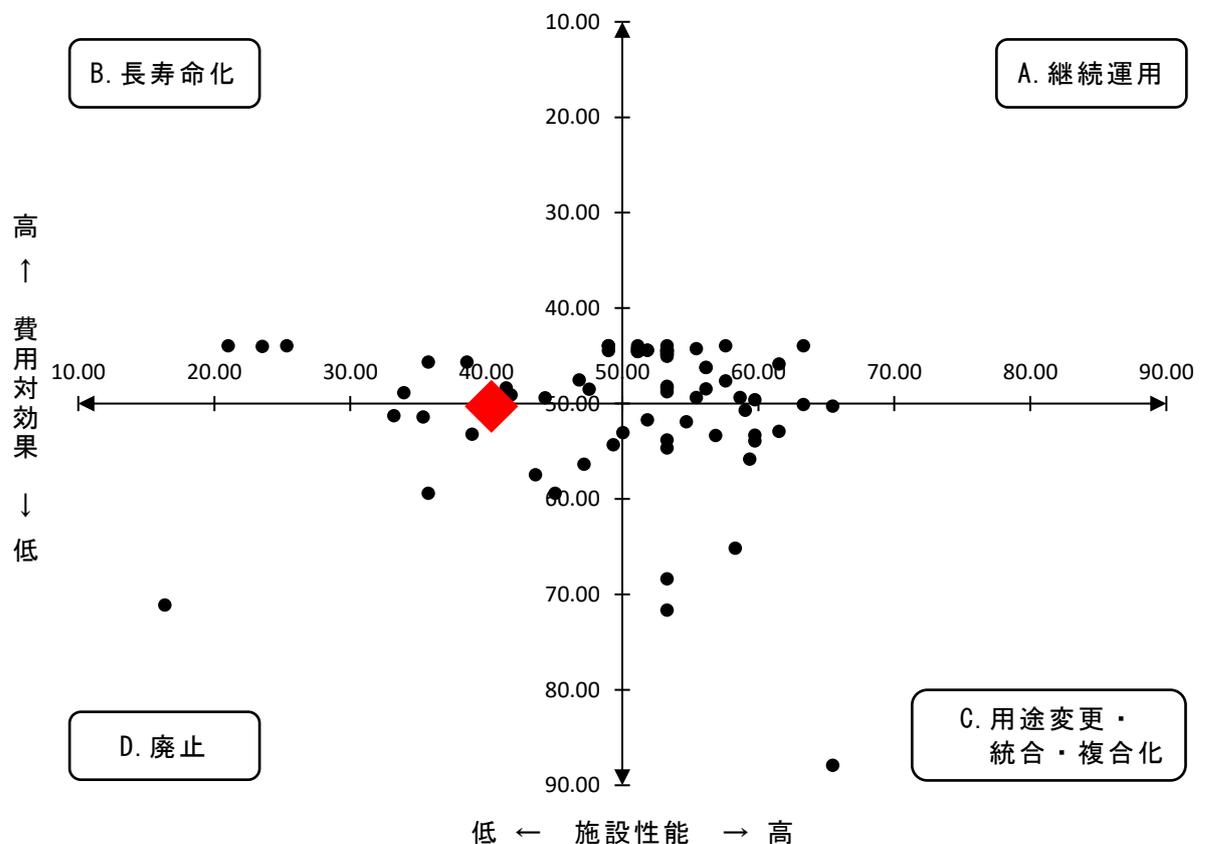
## 11 安達峰一郎記念保育所

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字山辺 2212		
所管課・係	保健福祉課保育所		
主要用途	保育施設		
施設類型	保健福祉施設	階数	地上1階
建設年度	平成9(1997)年度	耐用年数	22年
床面積	999.00 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
696円	25,807円	50.30	42.0	16.5	6.5	40.39



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止	低		

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・町内の唯一の公立保育所であり、町内保育の受皿として子ども・子育て支援の中心施設となっていることや、指定避難所に指定されていることから、基本方針を「建替（更新）・大規模修繕」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・建築から23年が経過し、老朽化による改修・修繕を必要とする箇所が多くありますが、緊急な箇所を優先して実施している状況です。
- ・機械設備や電気設備は製造終了の機器もあり修繕時の部品調達等が困難なことが多く、計画的な交換が必要な状況です。
- ・当施設は災害時の指定避難所に指定されています。

### ⑤今後10年間の管理に関する基本方針

- ・町内の唯一の公立保育所として、希少性があり且つ継続的に利用していくことから、施設の整備手法を「長寿命化」とします。
- ・現時点では更新や大規模改修の予定はなく、予防的な修繕等により施設の長期的な運用を図っていきます。電気設備や給排水衛生設備などについては、計画的に改修を行っていきます。
- ・日常の保全や定期点検や診断等により、施設の損傷が軽微な段階で修繕等を行うことにより、安全性の確保や施設機能の維持に努めます。
- ・大規模修繕の時期が重ならないよう、点検・診断等の結果に基づいて修繕の優先順位を決定します。

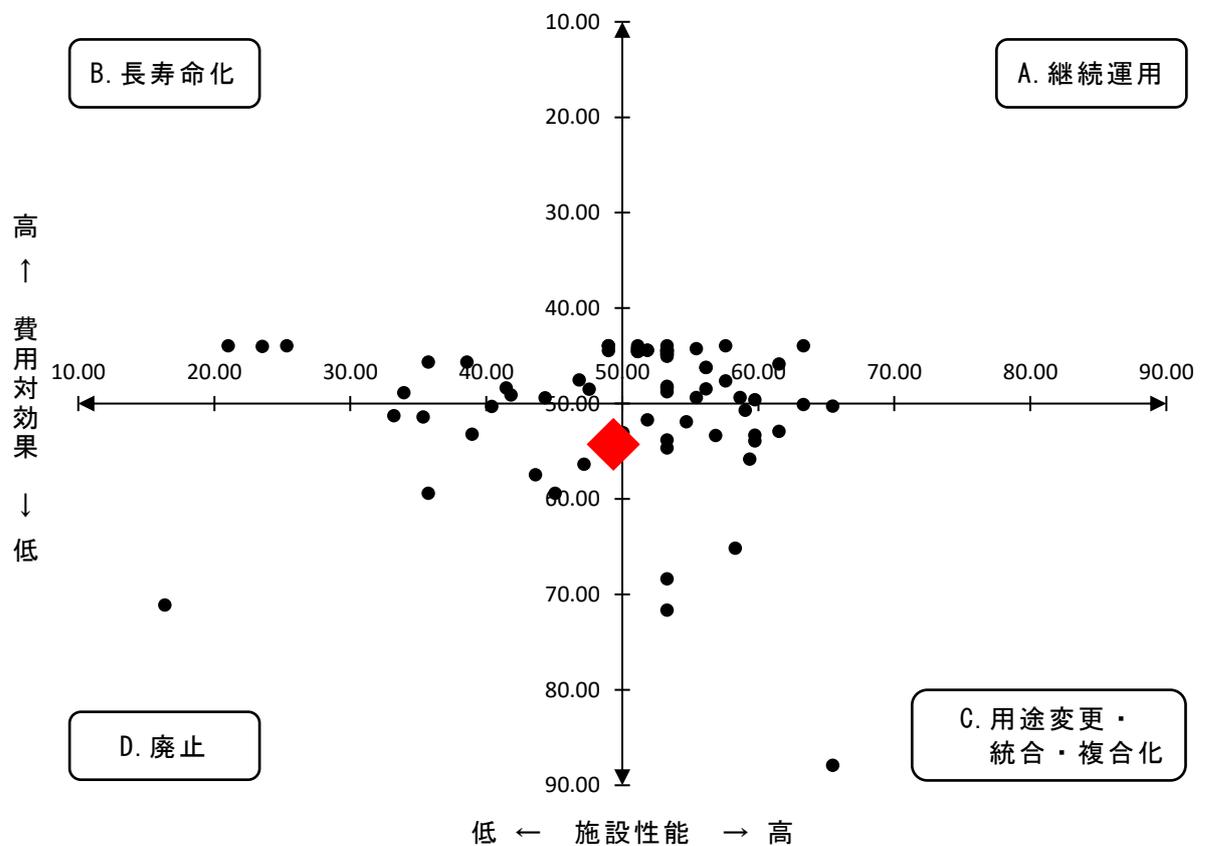
## 12 山辺町学校給食センター

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字大寺字北ノ表 1248		
所管課・係	教育課学校給食センター		
主要用途	学校給食事業		
施設類型	学校施設	階数	地上1階
建設年度	平成元（1989）年度	耐用年数	31年
床面積	580.00 m <sup>2</sup>	構造	鉄骨造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
128円	52,088円	54.30	51.0	24.0	2.5	49.35



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・用途転用</li> <li>・複合化</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止	低		

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・町内の小中学校の学校給食を調理し、提供する唯一の施設であるため、基本方針を「建替（更新）・大規模修繕」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・建築から30年が経過しており、施設の老朽化が進んでいます。また、調理機器も建設当時からそのまま使用しているものもあり、更新が必要です。
- ・令和3（2021）年6月1日から、すべての食品等事業者はHACCPに沿った衛生管理に取り組むこととなります。常にモニタリングを行いながら、危害要因を分析し、重要管理点などを探る体制を整えます。

### ⑤今後10年間の管理に関する基本方針

- ・基本方針が予防保全管理だけで維持していくことはなかなか難しいと思われるため、ここ10年以内に今の形での給食の提供が出来なくなる恐れがあるため、大規模修繕等を行い安全安心な給食の提供ができるよう検討します。
- ・長寿命化計画に基づき、一部改築を行い、学校給食衛生管理基準に沿った施設及び設備の整備及び管理を行う必要があります。
- ・ボイラー及び厨房機器の更新計画に基づき、更新の遅れによる給食の提供に支障をきたさないよう対応します。

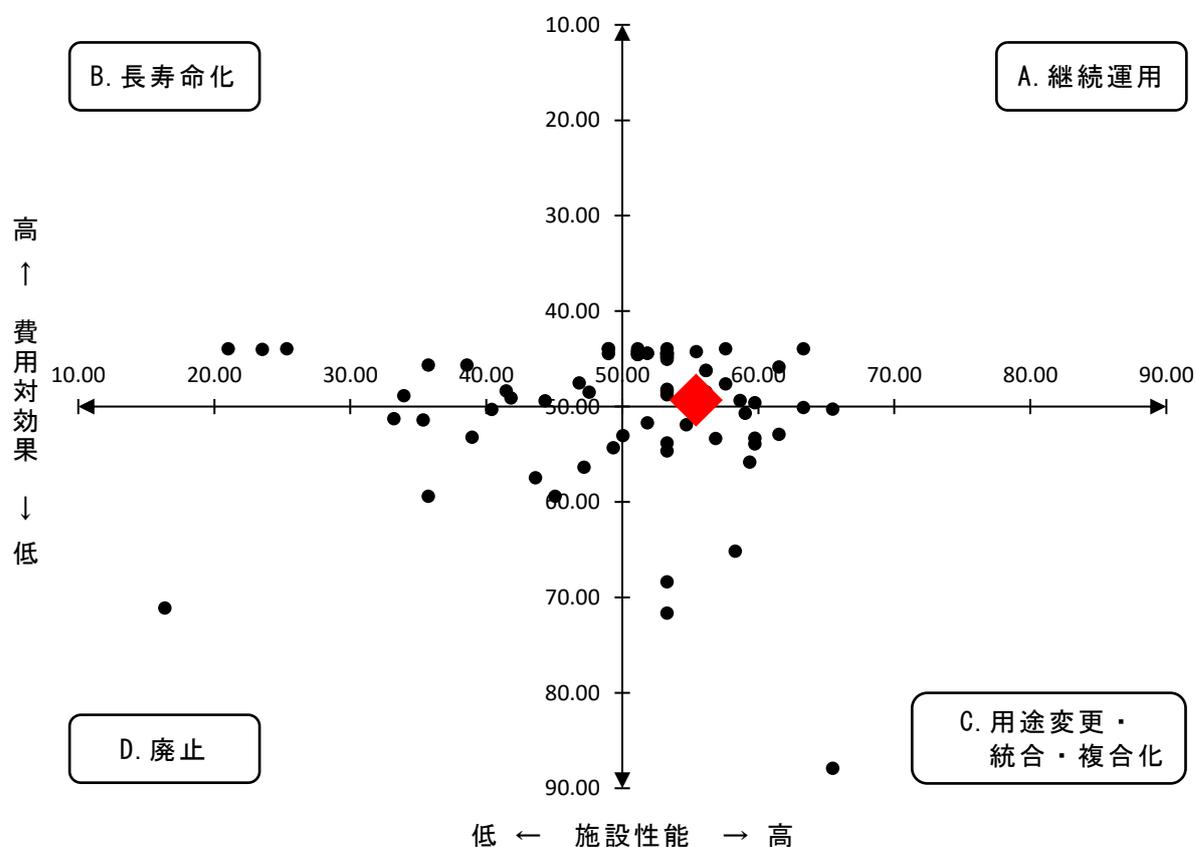
### 13 山辺町ふるさと交流センター

#### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字山辺 216		
所管課・係	教育課社会教育係		
主要用途	貸館施設		
施設類型	生涯学習施設	階数	地上2階
建設年度	平成24(2012)年度	耐用年数	24年
床面積	164.59 m <sup>2</sup>	構造	木造

#### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
336円	24,622円	49.35	51.0	30.0	5.0	55.44



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・ 近隣の公民館等無料で使える集会施設があることから、施設利用者が増えていません。
- ・ 以前あった建物（旅籠）を意識した建築であることから、催しの開催に十分なスペースを確保するのが難しい状況です。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 日常の保全及び定期点検や診断などにより、建物の安全性確保や施設機能の維持に努めます。
- ・ 社会教育法に制約されない施設であるため、柔軟な利用を広く告知することにより利用者数の増加を図ります。
- ・ 隣接するふるさと資料館と連携した利用についても企画し、利用者数の増加を図ります。

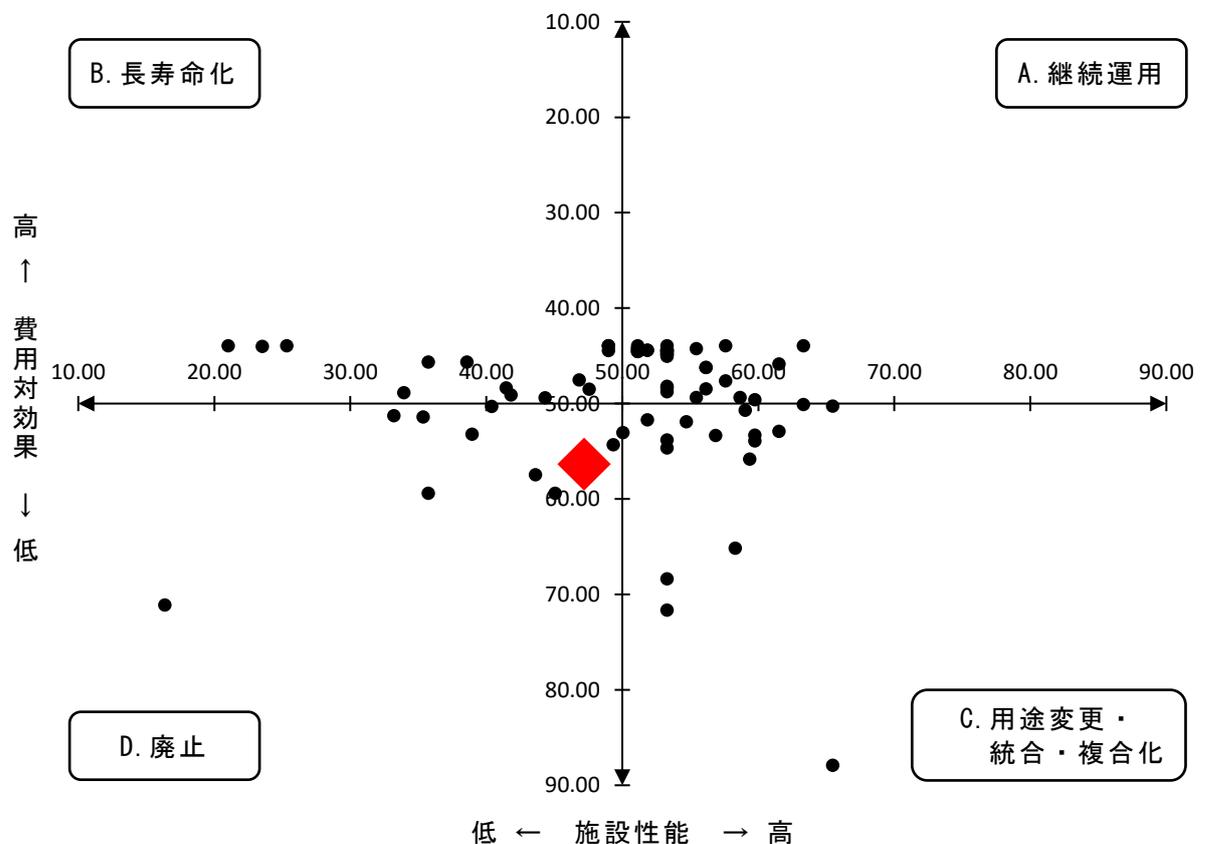
## 14 ふるさと資料館

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字山辺 208-1		
所管課・係	教育課社会教育係		
主要用途	資料展示保管施設		
施設類型	生涯学習施設	階数	地上2階
建設年度	平成5(1993)年度	耐用年数	24年
床面積	357.00 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
2,844円	35,677円	56.35	45.0	27.0	2.5	47.20



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・用途転用</li> <li>・複合化</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・町内唯一の資料館（博物館）であることから、歴史的に価値のある収蔵物も多く希少性が高い。また、ひな人形展など町外からの観光客が望める数少ない施設であるため、基本方針を「予防保全的管理」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・そもそも寄付を受けた商家の蔵を活用した建物であることから、効率的な維持管理が難しい状況です。
- ・庭園についても専門家の手を入れることが必要なため継続的に一定の経費が必要になっています。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・日常の保全及び定期点検や診断などにより、建物の安全性確保や施設機能の維持に努めます。
- ・収蔵品についてデータベース化を進め、魅力ある企画展を企画することにより来場者の増加を図ります。

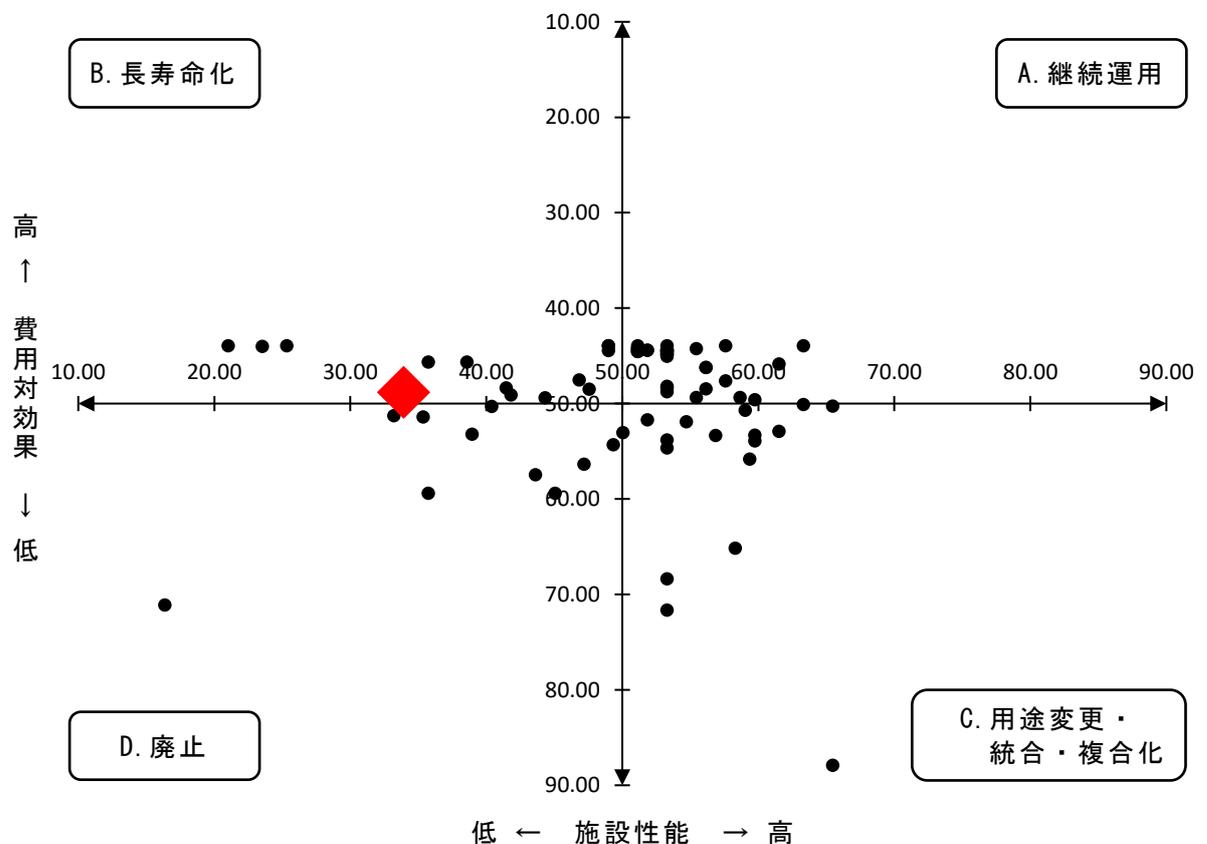
## 15 繊維産業歴史資料館

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字山辺 627		
所管課・係	教育課社会教育係		
主要用途	伝統的産業の資料展示・公民館施設		
施設類型	生涯学習施設	階数	地上2階
建設年度	昭和63(1988)年度	耐用年数	24年
床面積	233.00 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
2,500円	214円	48.85	36.0	18.0	2.0	33.94



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・現状としては所在する自治会の自治公民館としての利用となっていることから町として管理すべき施設とは考えにくいいため、基本方針を「施設総量適正化」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・資料館としての利用よりも自治公民館としての利用が主になっています。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・利用が当該自治会の利用が主になってきていることから、町として大規模改修を行うことは難しく、今後当該自治会との協議により譲渡等の検討が必要と考えます。

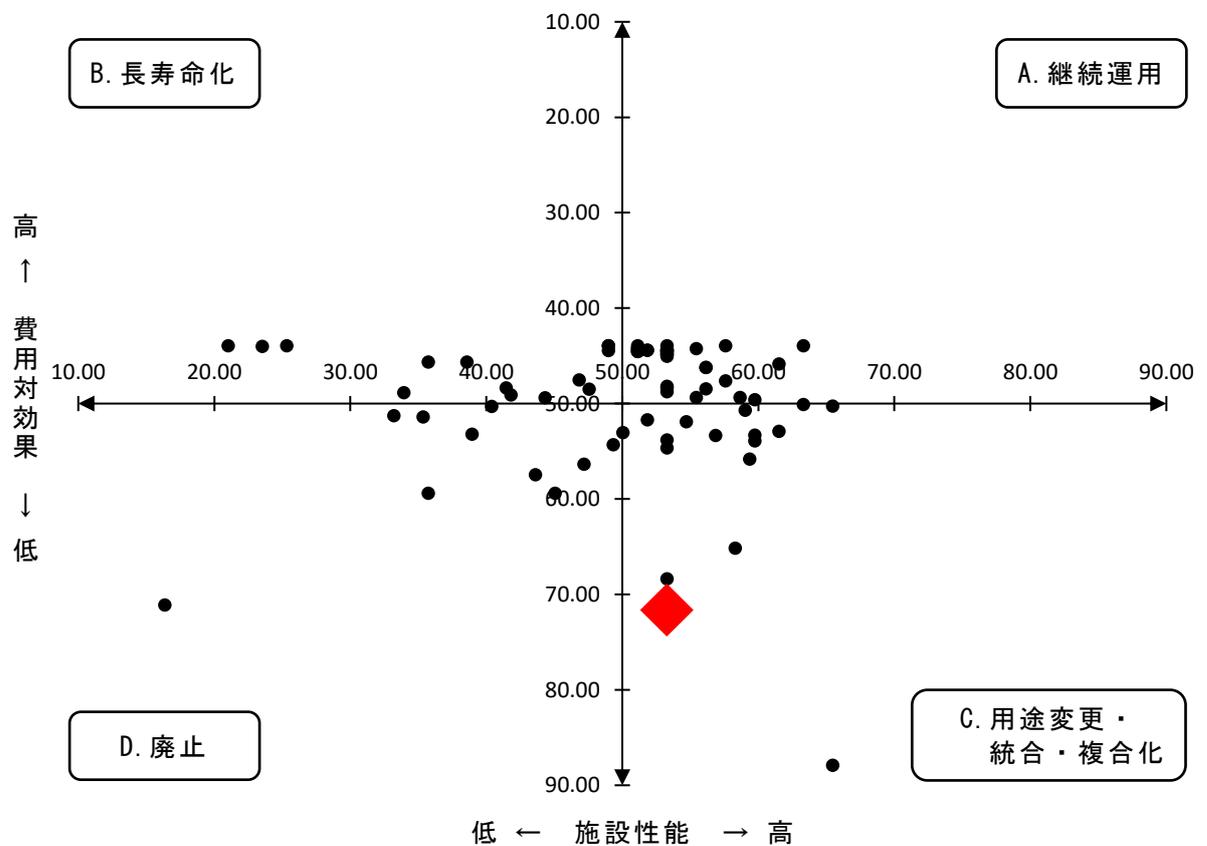
## 16 安達峰一郎生家

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字山辺 973-2		
所管課・係	教育課社会教育係		
主要用途	山辺町指定文化財		
施設類型	生涯学習施設	階数	地上1階
建設年度	江戸時代後半期	耐用年数	—
床面積	110.51 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
11,298 円	29,650 円	71.65	54.0	27.0	2.0	53.29



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・町指定文化財であり、町出身の偉人「安達峰一郎博士」を後世に顕彰していくためにも必要な施設であるため、基本方針を「予防保全的管理」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・萱葺屋根の建物であることから特別な維持管理（燻蒸作業）が必要になっています。
- ・定期的な屋根葺きが必要になりますが、技術者の高齢化に伴い、発注先の確保が困難になっています。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・日常の保全及び定期点検や診断などにより、建物の安全性確保や施設機能の維持に努めます。

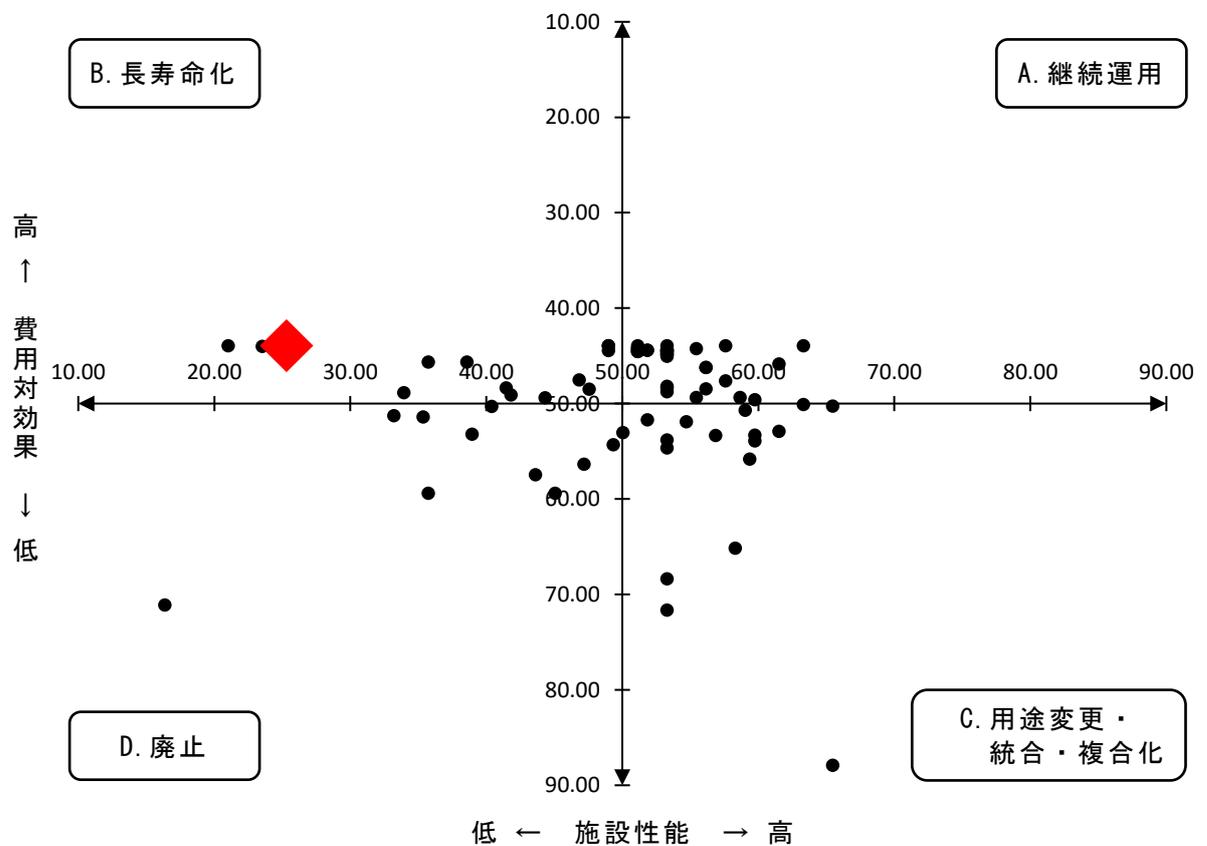
## 17 やまのべいきいき館

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字山辺 1307-1		
所管課・係	総務課財産管理係		
主要用途	行政施設		
施設類型	行政施設	階数	地上2階
建設年度	昭和44(1969)年度	耐用年数	24年
床面積	396.00 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
0円	0円	43.95	24.0	18.0	2.0	25.33



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・維持管理経費は賃借者が負担しているため、町としての費用対効果が高く算出され、一次評価は長寿命化とされています。
- ・老朽化が著しく、かつ未耐震化であること、及び行政財産としての用途が見込めないことから、基本方針を「施設総量適正化」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・公益社団法人山辺町シルバー人材センター及び一般社団法人山辺青年会議所を賃借者として貸付しています。
- ・昭和 44（1969）年度の建築から 51 年が経過しており施設の老朽化が進んでいます。
- ・施設の老朽化により改修・修繕を必要とする箇所が多くあり、賃借者において可能な範囲で対応している状況です。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・施設性能の偏差値が低く、耐震性能を満たしていないことから施設利用者の安全の確保が困難であるため、賃借者に対し移転を促しつつ除却を検討します。

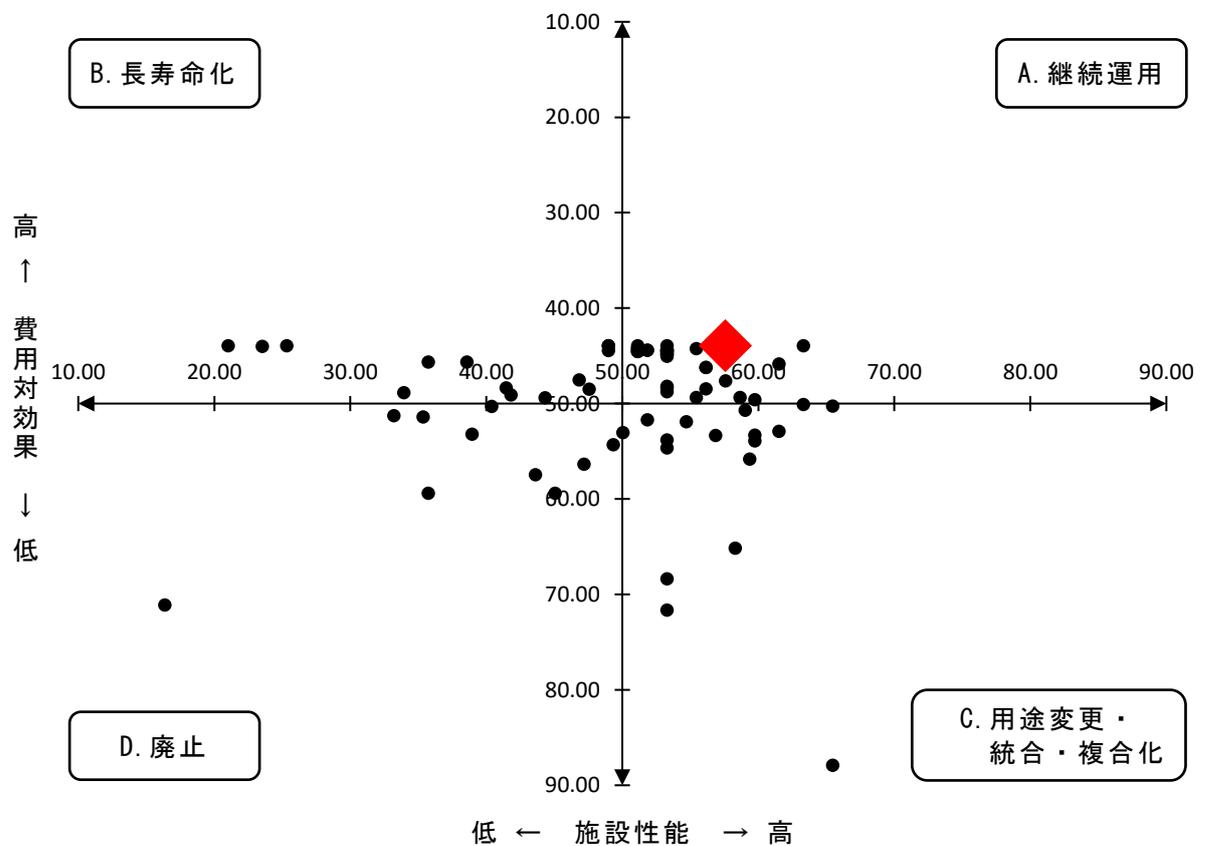
## 18 旧山野辺陣屋玄関

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字山辺 30		
所管課・係	教育課社会教育係		
主要用途	町指定文化財		
施設類型	生涯学習施設	階数	地上 1 階
建設年度	平成 25 (2013) 年度	耐用年数	—
床面積	— m <sup>2</sup>	構造	—

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
0 円	0 円	43.95	60.0	27.0	2.0	57.59



③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>維持管理の効率化</li> <li>財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>長寿命化</li> <li>改築</li> <li>一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>集約化</li> <li>複合化</li> <li>用途転用</li> <li>除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

④施設の現状と課題

- ・町指定文化財であるものの、度重なる移転等もあることから、広く町民に周知されていない状況にあります。

⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・文化財としての利活用について検討、当面は現状のままでの保存とします。

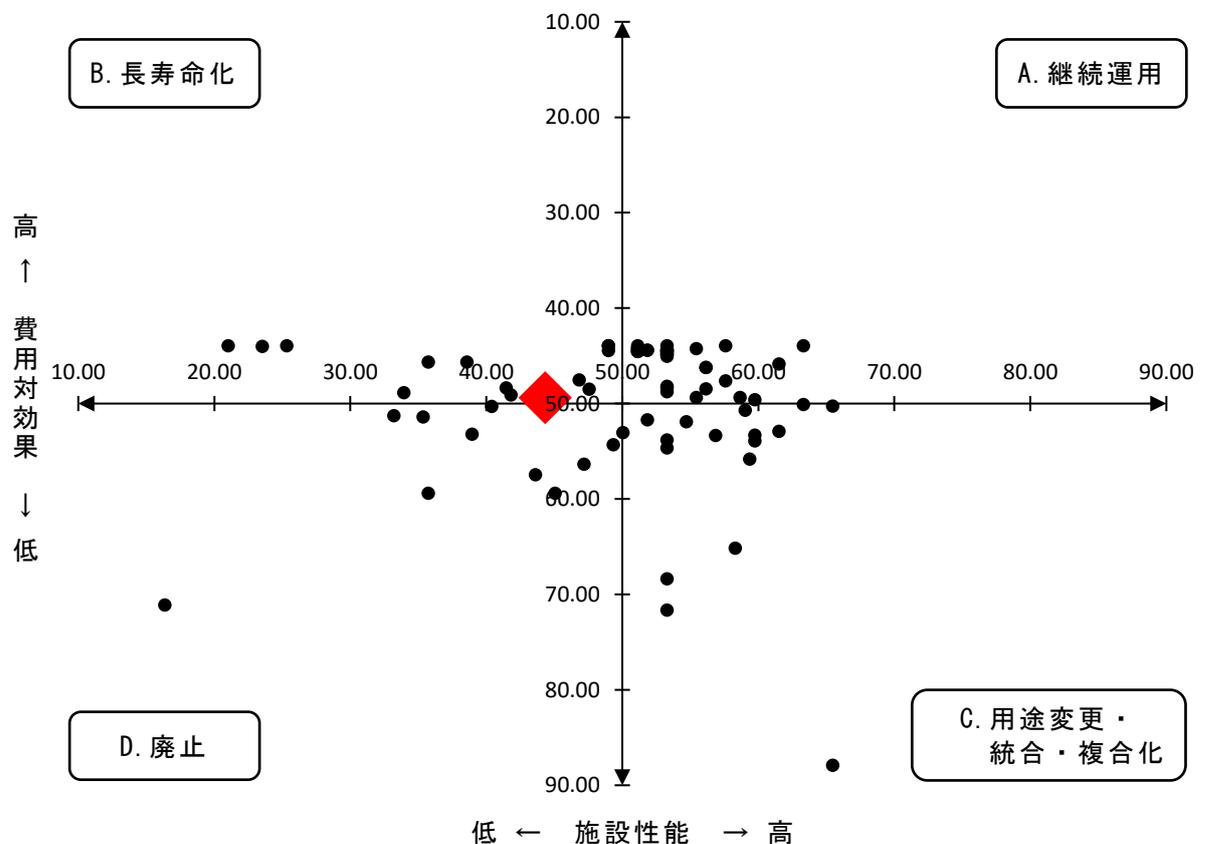
## 19 町民総合体育館

### ①施設基本概要

所在地	山辺町緑ヶ丘 1		
所管課・係	教育課社会体育係		
主要用途	バスケットボール、バレーボール、バドミントン		
施設類型	スポーツ施設	階数	地上 2 階
建設年度	昭和 57 (1982) 年度	耐用年数	47 年
床面積	4,492.00 m <sup>2</sup>	構造	鉄骨鉄筋コンクリート造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
1,878 円	9,302 円	49.40	39.0	30.0	1.5	44.33



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・当該施設は築 38 年が経過し老朽化が進み、毎年多数の修繕が発生している状況です。躯体及び付帯設備共に更新する必要があります。
- ・アリーナ、トレーニングルーム床は平成 29（2017）年に研磨を実施しています。これ以上は研磨出来ないため、次回は、新たに張替えが必要となります。
- ・アリーナ照明は水銀灯を使用していますが、令和 3（2021）年より製造、輸入が中止となります。避難所として指定されている事から照明の LED 化は必ず行う必要があります。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・築年数が経過しており、ほぼ全ての個所が老朽化していますが、町内に代替施設はありません。今後の建物の状況を見ながら、大規模改修を進めることとし、他施設との改修と重ならないよう調整を図りながら進めていくこととします。
- ・利用者の利便性に支障がないようにするための適切な修繕に努めます。
- ・避難所指定されている事から、アリーナ照明の更新を最優先に進めます。

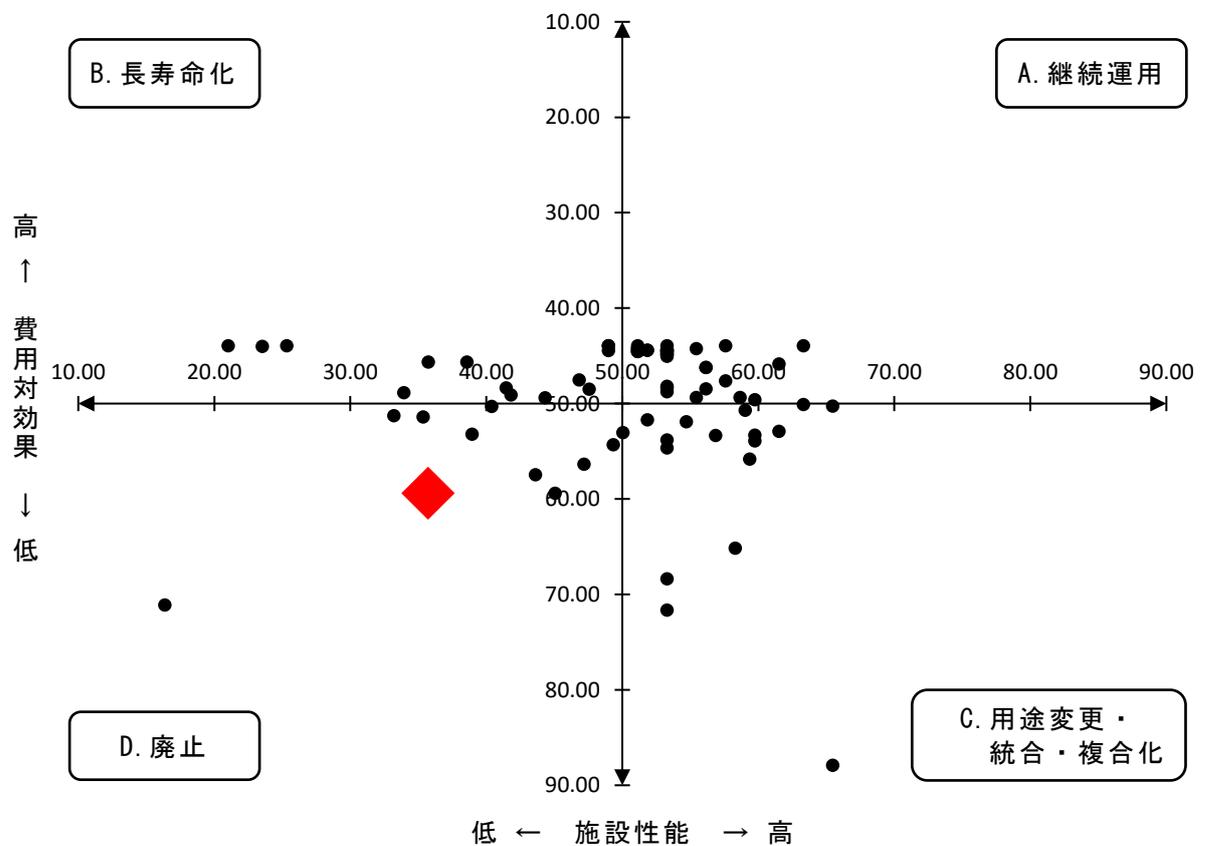
## 20 町民野球場

### ①施設基本概要

所在地	山辺町緑ヶ丘 1		
所管課・係	教育課社会体育係		
主要用途	野球、ソフトボール		
施設類型	スポーツ施設	階数	—
建設年度	昭和 57 (1982) 年度	耐用年数	45 年
床面積	60.00 m <sup>2</sup>	構造	—

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
1,009 円	69,774 円	59.40	30.0	28.5	0.0	35.73



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・用途転用</li> </ul>
D. 廃止			<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合化</li> <li>・除却</li> </ul>

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・当該野球場は、利用者は減少していますが一定数のニーズがあり、使用団体は少なくありません。また町内唯一の野球場であり、希少性が高いため、基本方針を「予防保全的管理」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・過去 10 年間の利用者数は年平均 4,328 名でほぼ横ばいで推移しており、安定したニーズがあります。
- ・スコアボードや照明設備、周辺設備の老朽化により不具合が生じています。
- ・近隣市町には県野球場や新たに更新された野球場があるため、今後はニーズが下がる可能性があります。
- ・照明は水銀灯を使用していますが、令和 3（2021）年より製造、輸入が中止となる事から、今後も夜間使用するには、LED 化による更新が必要です。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・現時点では、更新や大規模改修は他施設の優先度を考慮すると困難であり、今後については適切な修繕により維持管理を行っていきます。
- ・照明の LED 化も含め、施設規模や現状から見て、今後の施設の在り方について検討を進めていきます。

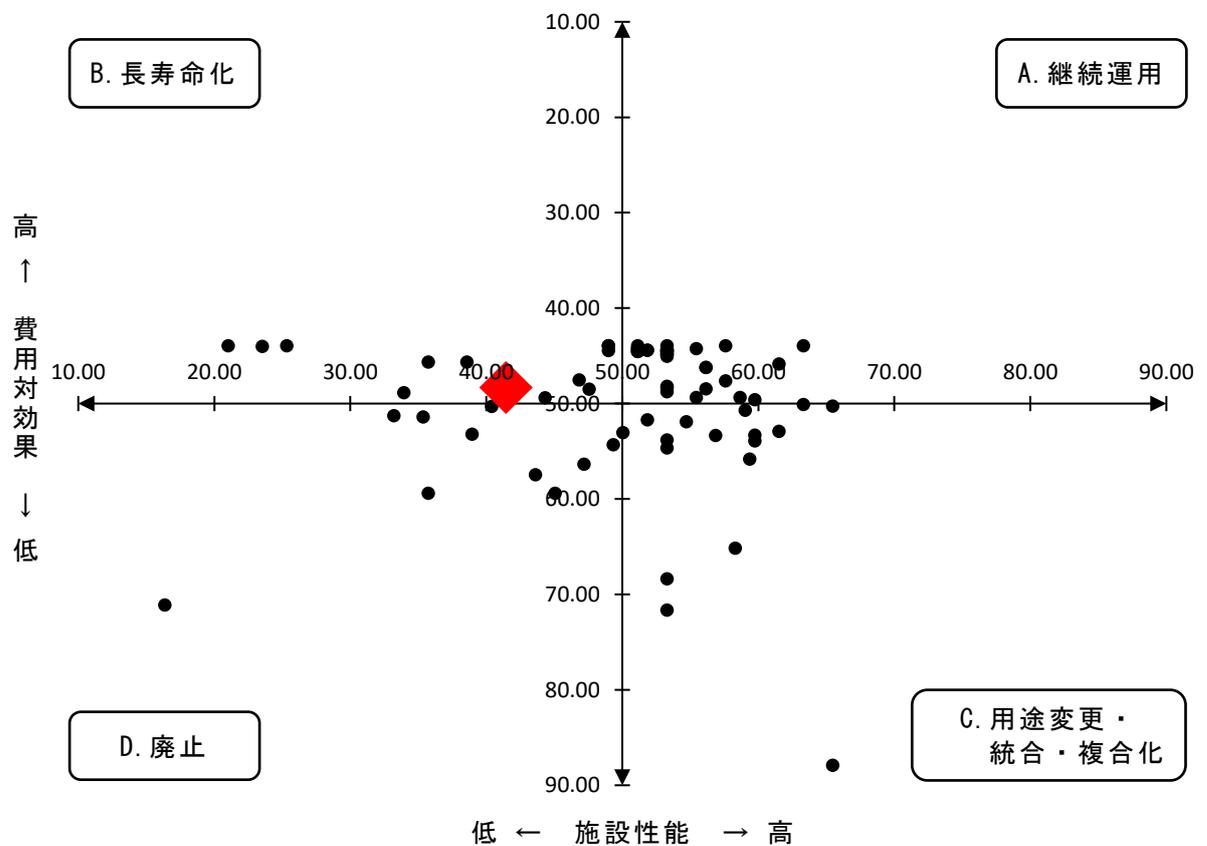
## 21 町武道館

### ①施設基本概要

所在地	山辺町緑ヶ丘 1		
所管課・係	教育課社会体育係		
主要用途	柔道、剣道		
施設類型	スポーツ施設	階数	地上 1 階
建設年度	平成元（1989）年度	耐用年数	47 年
床面積	1,343.00 m <sup>2</sup>	構造	鉄骨鉄筋コンクリート造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
1,662 円	6,258 円	48.35	39.0	27.0	0.5	41.46



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・ 近隣市町には柔道場を3面とれる武道館は少ないため、試合等で多く使用されています。過去10年間の使用人数は年平均3,894名ですが、過去5年間は年平均5,111名となっており、ニーズの高まりが見て取れます。
- ・ 屋根や配管等付帯設備の老朽化が進んでおり、更新する必要があります。
- ・ 照明は水銀灯を使用していますが、令和3（2021）年より製造、輸入が中止となります。避難所として指定されていることからLED化は必ず行う必要があります。
- ・ 畳の更新は令和2（2020）年度で完了しています。

### ⑤今後10年間の管理に関する基本方針

- ・ 避難所指定されており、照明のLED化は必須であるため、体育館の次に第二優先として更新を実施します。
- ・ 屋根の塗装により長寿命化を図ります。
- ・ 今後、大規模改修も想定されますが、他施設においても改修が見込まれることから、調整を図りながら進めていきます。

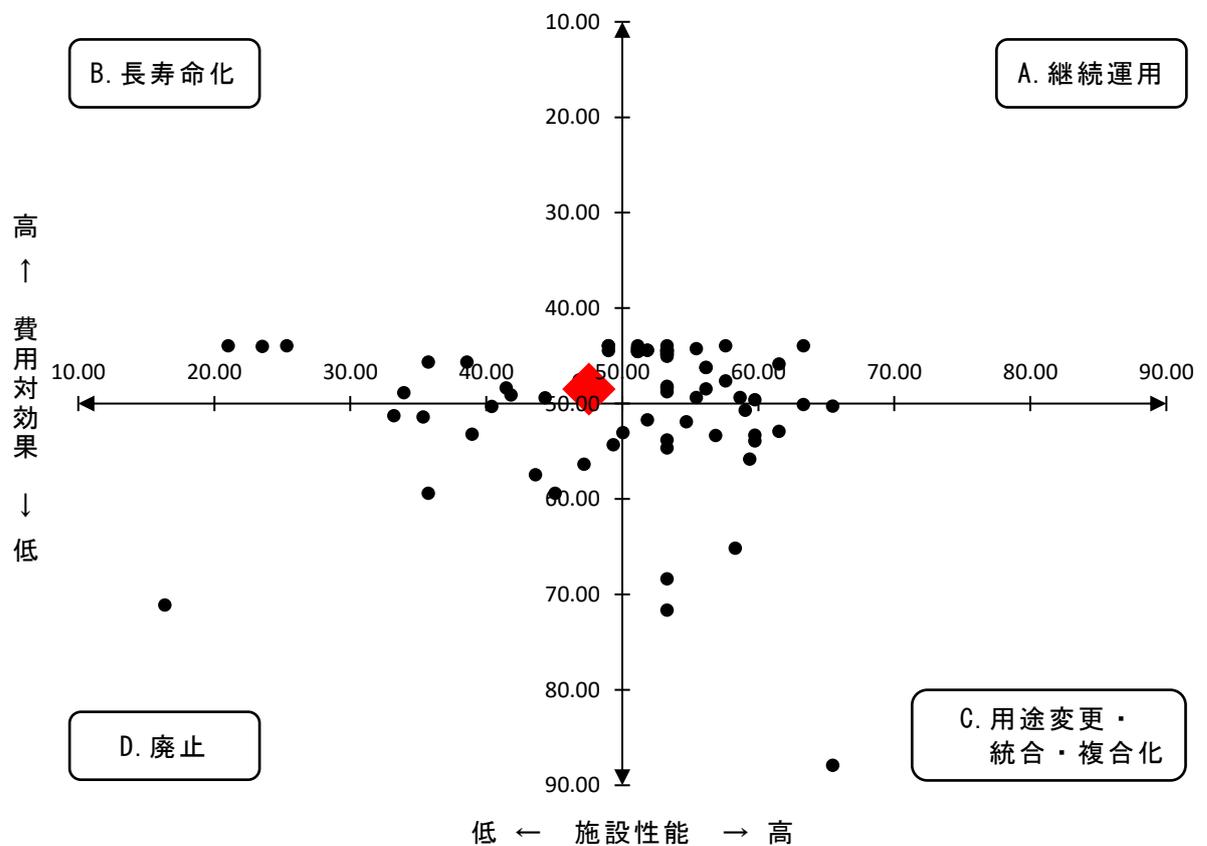
## 22 屋内ゲートボール場

### ①施設基本概要

所在地	山辺町緑ヶ丘 1		
所管課・係	教育課社会体育係		
主要用途	ゲートボール・テニス		
施設類型	スポーツ施設	階数	地上 1 階
建設年度	平成 8 (1996) 年度	耐用年数	45 年
床面積	1,100.21 m <sup>2</sup>	構造	—

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
1,410 円	9,121 円	48.50	45.0	30.0	0.0	47.56



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・ここ数年の利用者の推移を見てみると、利用者は少しずつですが、減少傾向が見られます。
- ・屋根の損傷や窓ガラスの損傷がいくつか見られ、修繕が必要です。
- ・照明は水銀灯を使用していますが、令和3（2021）年より製造、輸入が中止となることから、今後も夜間使用するには、LED化による更新が必要です。
- ・冬期間は、テニスやグラウンドゴルフの代替施設として利用が入るため、使用率は冬期間の方が高い傾向にあります。

### ⑤今後10年間の管理に関する基本方針

- ・現時点では、大規模改修等の予定はありませんので、適切な修繕による維持管理を行っていきます。また、大規模改修を実施する際は、利用者の減少を考慮し対象スポーツの見直しを視野に入れ、検討していきます。
- ・照明のLED化については、優先度の高い他施設の進捗を見ながら進めていきます。

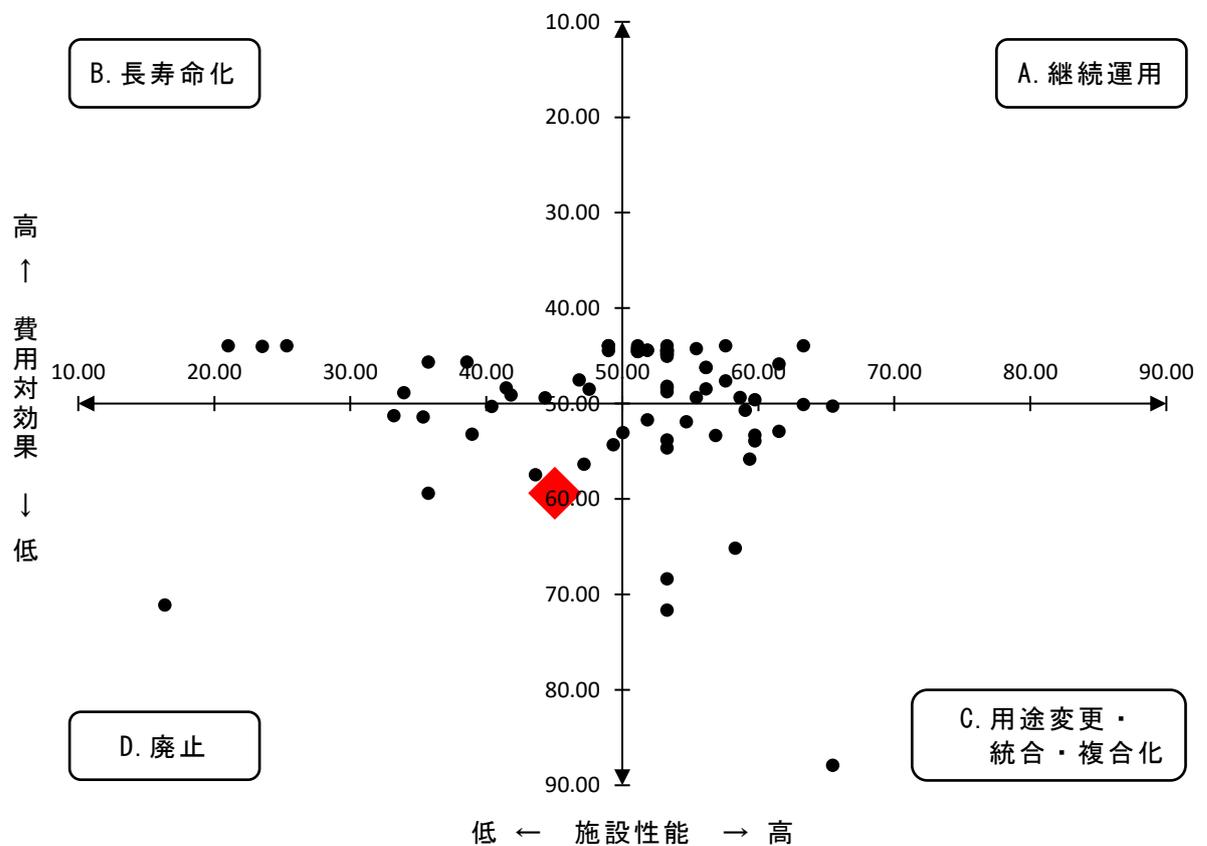
## 23 町民プール

### ①施設基本概要

所在地	山辺町緑ヶ丘 1		
所管課・係	教育課社会体育係		
主要用途	水泳、遊泳		
施設類型	スポーツ施設	階数	—
建設年度	平成 8 (1996) 年度	耐用年数	30 年
床面積	356.00 m <sup>2</sup>	構造	—

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
1,971 円	60,114 円	59.40	45.0	25.5	1.0	45.05



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・用途転用</li> <li>・複合化</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・町内唯一の施設であり、一般開放に加えて中学校の水泳の授業で使用しています。加えて各小学校のプール使用に支障が生じた際の代替施設としても活用している経緯もあるため、基本方針を「予防保全的管理」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・老朽化に伴い、修繕が毎年多く発生しています。
- ・ウォータースライダーも老朽化が進み、現在は使用中止となっています。使用中止に伴い、利用者数は減少傾向にあります。また、更新、解体どちらにしても多額の費用が掛かります。
- ・山辺中学校の水泳の授業で町民プールを使用しています。
- ・収入に対して支出が多く、費用対効果は極めて低い状況にあります。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・現時点では、大規模改修の予定はなく、適正な修繕による維持管理を行っていきます。
- ・ウォータースライダーについては、廃止を決定しており、使用出来ないものとなっています。倒壊の恐れもある事から、解体を検討します。
- ・中学校だけでなく、小学校も含めた水泳の授業での使用及び一般開放の在り方についても検討を進めていきます。

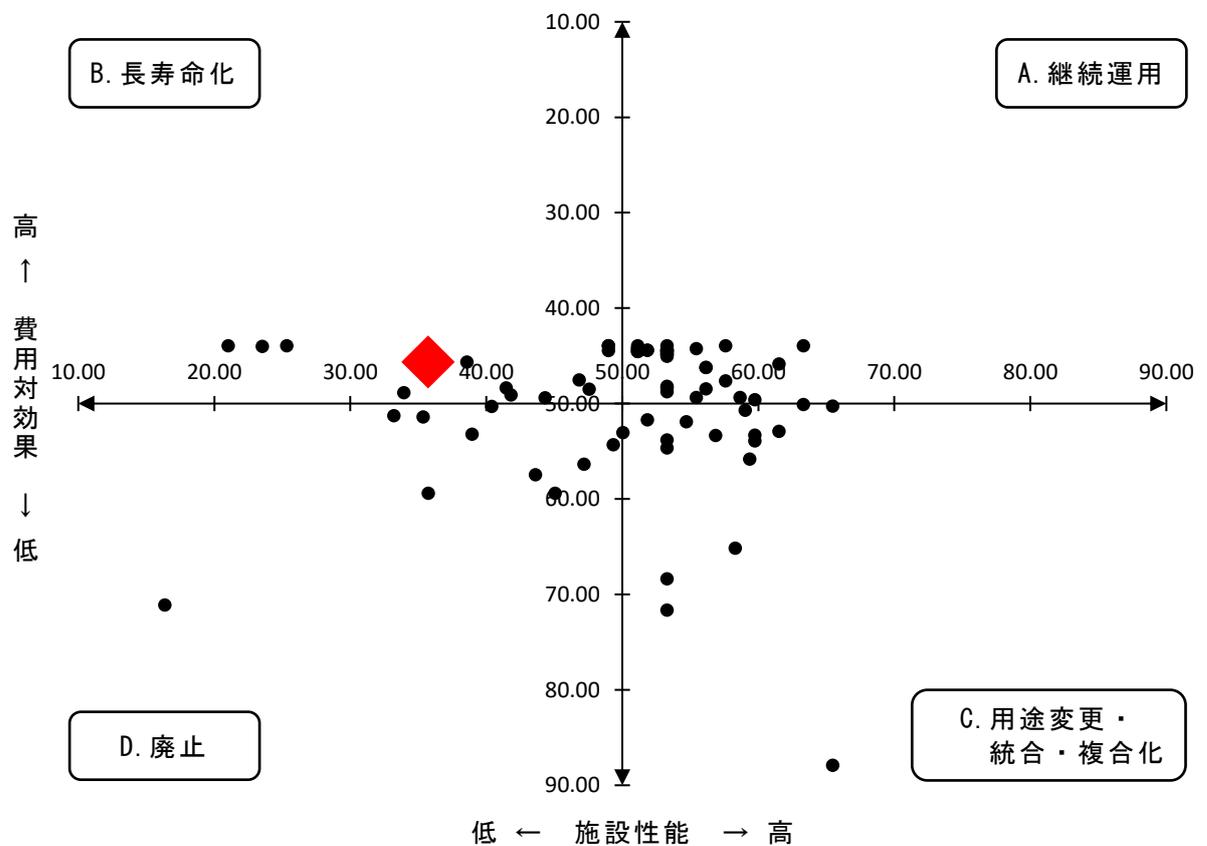
## 24 町民テニスコート

### ①施設基本概要

所在地	山辺町緑ヶ丘 1		
所管課・係	教育課社会体育係		
主要用途	テニス		
施設類型	スポーツ施設	階数	—
建設年度	平成 25 (2013) 年度	耐用年数	45 年
床面積	2,812.00 m <sup>2</sup>	構造	—

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
619 円	2,594 円	45.65	30.0	28.5	0.0	35.73



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・冬期間以外では体育施設の中でも利用者数が多く、使用料等の収入のウェイトが大きい施設です。
- ・平成 25（2013）年にハードコートから人工芝のコートに改修を行っています。常時砂を撒き、整備する等コート状態を良好に保っていますが、人工芝の老朽化が進む事により、修繕や張替えが必要となる見込みです。
- ・照明は水銀灯を使用していますが、令和 3（2021）年より製造、輸入が中止となること、また老朽化もしており、今後も夜間使用するには、LED化による更新が必要です。
- ・樹木の根による外周のアスファルトに凹凸が生じており、躓きや転びやすい状況となっています。加えて、根の侵出によるものと思われる排水設備の不具合が生じています。
- ・フェンスや用具庫も老朽化による歪みやねじれ等の損壊、腐食が生じています。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・照明器具の使用頻度が高く、体育施設使用料の中でも高い割合を持っていること及び老朽化が進んでいることから、照明器具を LED に更新します。ただし、優先度の高い他施設の更新状況を見ながら進めていきます。

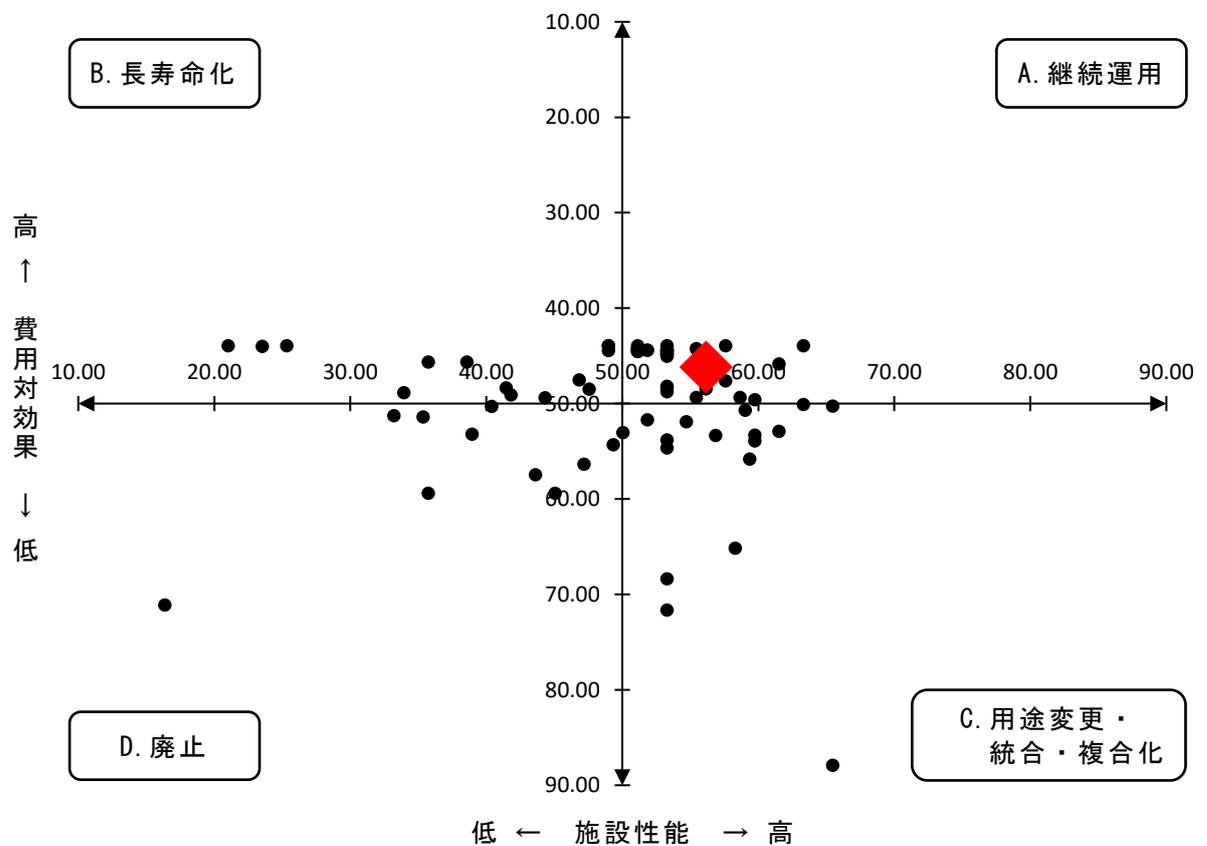
## 25 リサイクルステーション

### ①施設基本概要

所在地	山辺町緑ヶ丘 1		
所管課・係	教育課社会体育係		
主要用途	スポーツ施設		
施設類型	スポーツ施設	階数	地上 1 階
建設年度	平成 10 (1996) 年度	耐用年数	24 年
床面積	77.00 m <sup>2</sup>	構造	軽量鉄骨造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
183 円	9,862 円	46.20	60.0	27.0	0.0	56.16



③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

④施設の現状と課題

- ・用具庫等で使用しており、修繕必要箇所は発生していません。

⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・予防的な修繕等により、施設の長期的な運用を図っていくこととします。

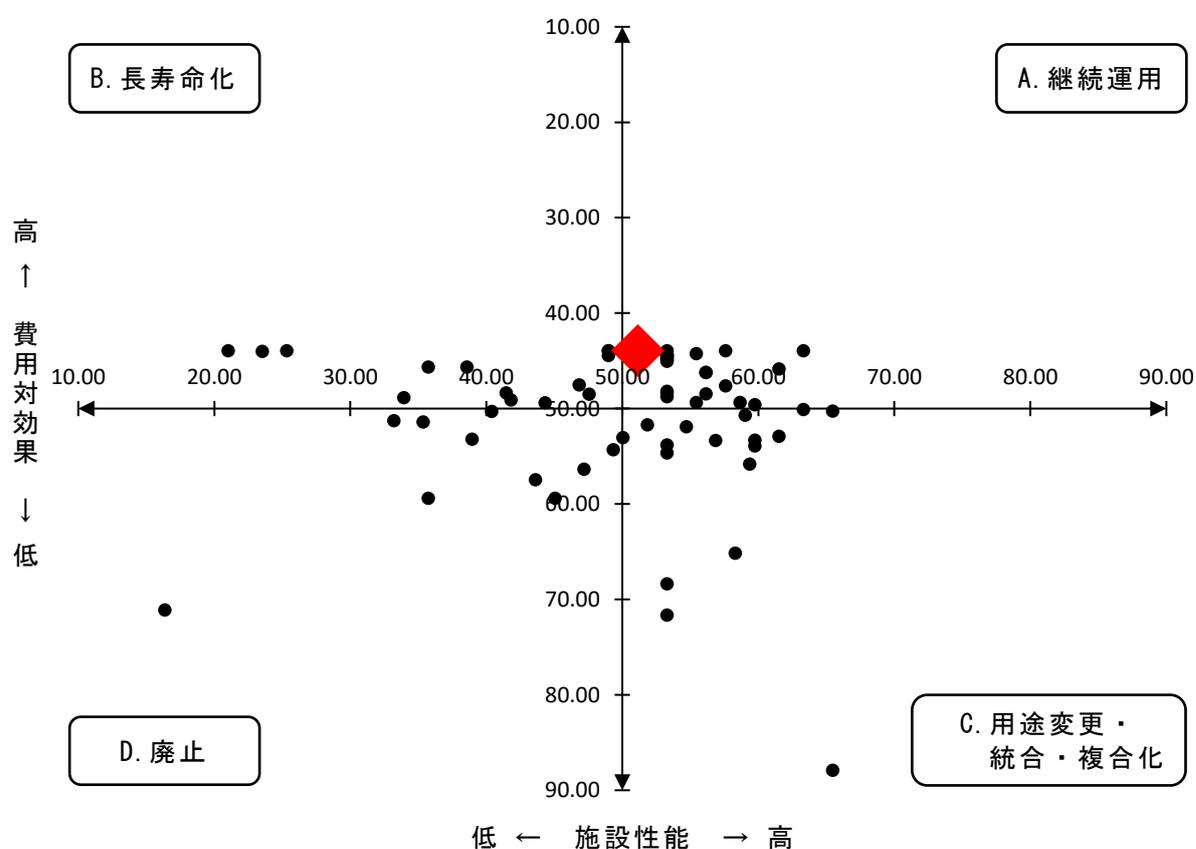
## 26 山辺町消防団本部 車庫

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字山辺字楯 30		
所管課・係	防災対策課防災減災推進係		
主要用途	防災施設		
施設類型	防災施設	階数	地上 2 階
建設年度	昭和 51 (1976) 年度	耐用年数	17 年
床面積	74.10 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
4 円	22 円	43.95	51.0	27.0	2.0	51.14



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>維持管理の効率化</li> <li>財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>長寿命化</li> <li>改築</li> <li>一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>集約化</li> <li>複合化</li> <li>用途転用</li> <li>除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・ 建築から 44 年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・ 旧耐震基準下で建築されたため、耐震補強や建替えなどの検討が必要です。
- ・ 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（平成 25 年法律第 110 号）」が施行され、消防団が「将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在」と位置づけられたことに伴い、装備の充実を進めるとともに、消防ポンプ庫等の活動拠点施設の整備推進が求められています。
- ・ 世帯数や居住区域、建物の構造等は、今後も変化していくため、防災施設の数や配置は、継続的に見直す必要があります。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 老朽化が進んでいますが、人が常駐している施設ではないため耐震化の必要性は低く、施設の整備手法を「維持管理の効率化」とします。
- ・ 長寿命化工事など、施設の機能を向上させるような施工は基本的に実施せず、車庫としての機能を維持できる程度の修繕をその都度実施することで、施設の再配置を行いやすい状態を保ちます。

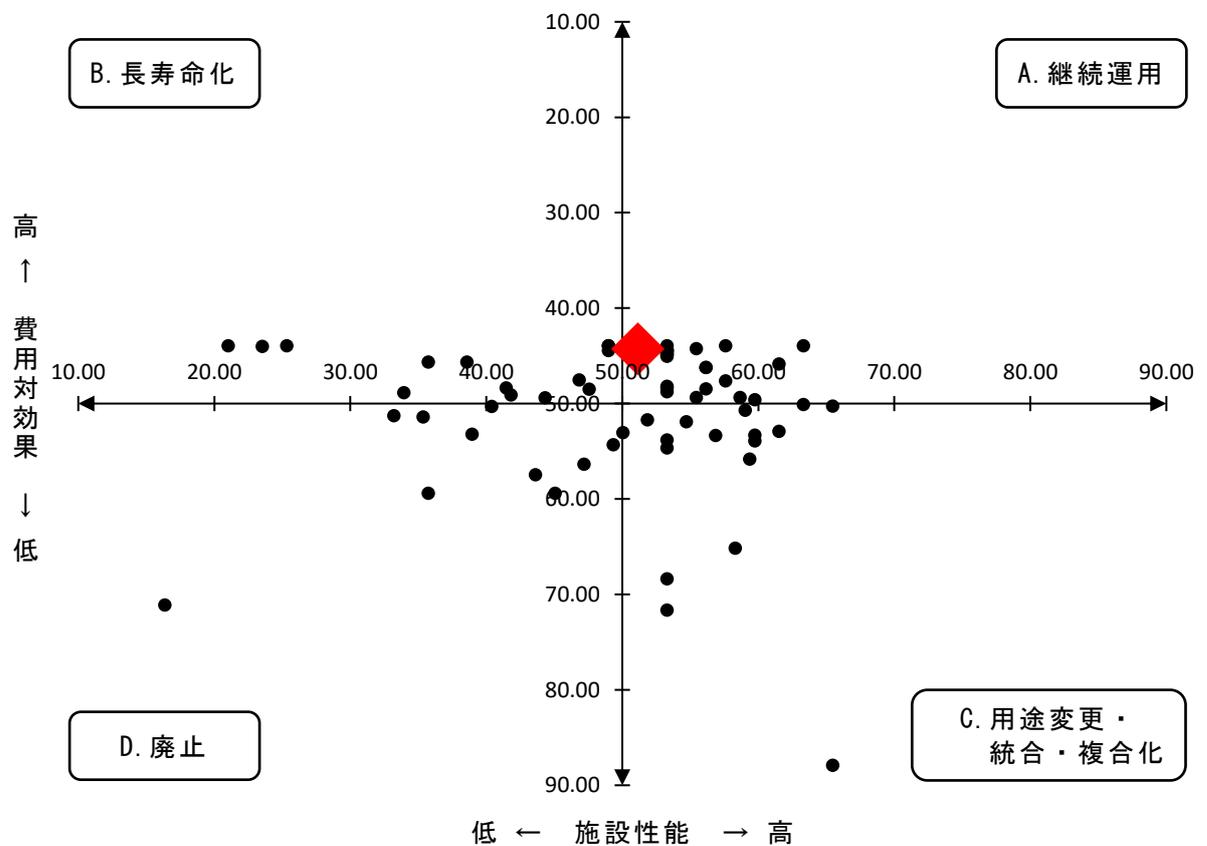
## 27 山辺町消防団 水防倉庫

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字大寺字小鶴沢 560-9		
所管課・係	防災対策課防災減災推進係		
主要用途	防災施設		
施設類型	防災施設	階数	地上2階
建設年度	平成11(1999)年度	耐用年数	15年
床面積	70.52 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
131円	448円	44.30	51.0	27.0	2.0	51.14



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・用途転用</li> <li>・複合化</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・ 建築から 21 年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・ 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（平成 25 年法律第 110 号）」が施行され、消防団が「将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在」と位置づけられたことに伴い、装備の充実を進めるとともに、消防ポンプ庫等の活動拠点施設の整備推進が求められています。
- ・ 世帯数や居住区域、建物の構造等は、今後も変化していくため、防災施設の数や配置は、継続的に見直す必要があります。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 老朽化が進んでいますが、人が常駐している施設ではないため、施設の整備手法を「維持管理の効率化」とします。
- ・ 長寿命化工事など、施設の機能を向上させるような施工は基本的に実施せず、倉庫としての機能を維持できる程度の修繕をその都度実施することで、施設の再配置を行いやすい状態を保ちます。

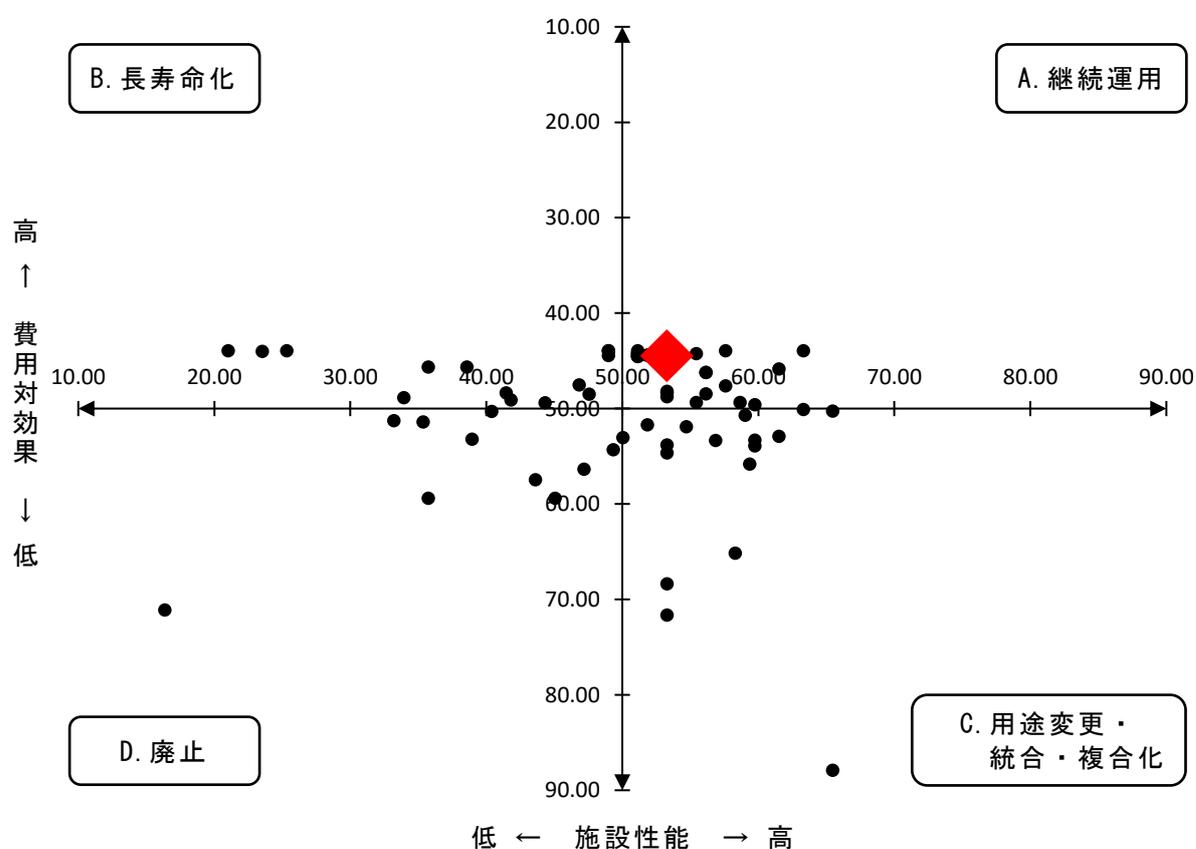
## 28 山辺町消防団 荒谷倉庫

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字大蔵字荒谷 2106-3		
所管課・係	防災対策課防災減災推進係		
主要用途	防災施設		
施設類型	防災施設	階数	地上2階
建設年度	平成7(1995)年度	耐用年数	15年
床面積	59.06 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
204円	831円	44.50	54.0	27.0	2.0	53.29



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・用途転用</li> <li>・複合化</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・ 建築から 25 年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・ 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（平成 25 年法律第 110 号）」が施行され、消防団が「将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在」と位置づけられたことに伴い、装備の充実を進めるとともに、消防ポンプ庫等の活動拠点施設の整備推進が求められています。
- ・ 世帯数や居住区域、建物の構造等は、今後も変化していくため、防災施設の数や配置は、継続的に見直す必要があります。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 老朽化が進んでいますが、人が常駐している施設ではないため、施設の整備手法を「維持管理の効率化」とします。
- ・ 長寿命化工事など、施設の機能を向上させるような施工は基本的に実施せず、消防ポンプ庫としての機能を維持できる程度の修繕をその都度実施することで、施設の再配置を行いやすい状態を保ちます。

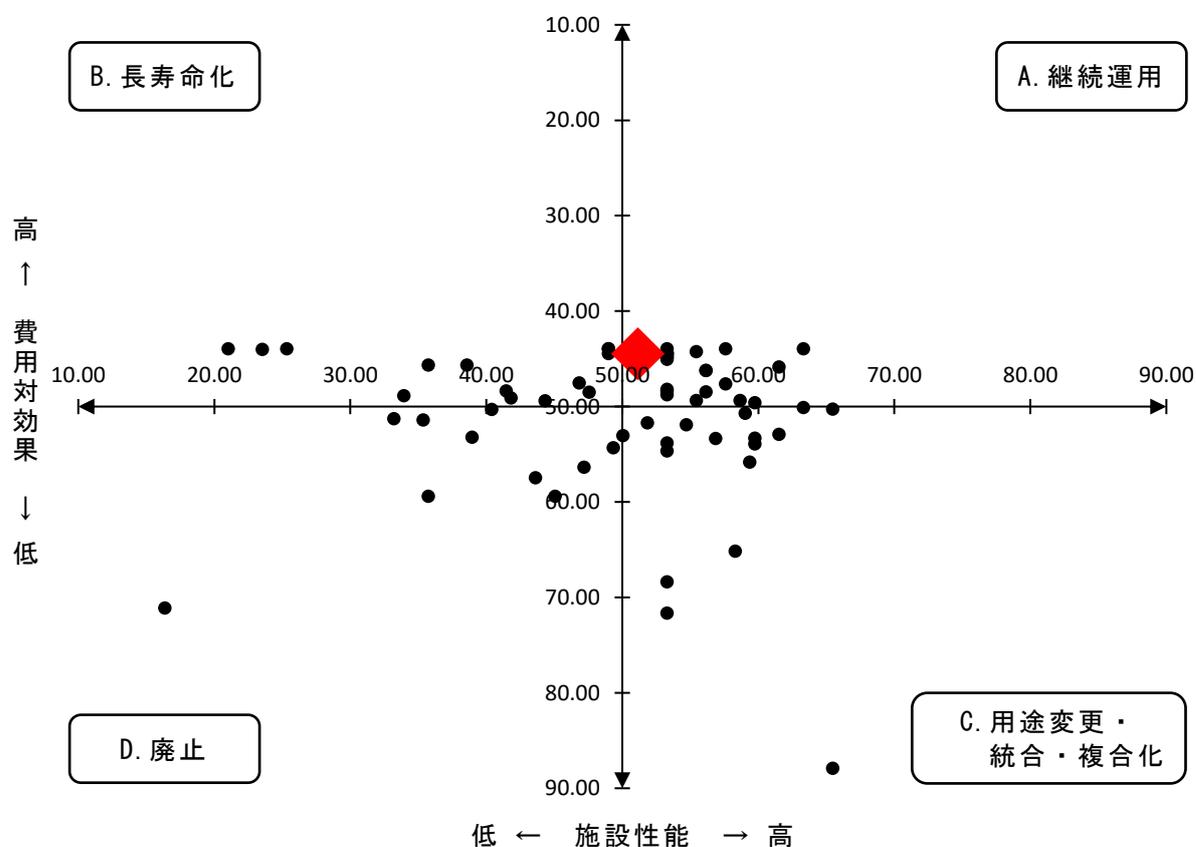
## 29 山辺町消防団第1分団第1部／消防ポンプ庫

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字山辺字嶋ノ前 3410-22		
所管課・係	防災対策課防災減災推進係		
主要用途	防災施設		
施設類型	防災施設	階数	地上2階
建設年度	平成3(1991)年度	耐用年数	17年
床面積	54.00 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
195円	953円	44.50	51.0	27.0	2.0	51.14



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・用途転用</li> <li>・複合化</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・ 建築から 29 年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・ 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（平成 25 年法律第 110 号）」が施行され、消防団が「将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在」と位置づけられたことに伴い、装備の充実を進めるとともに、消防ポンプ庫等の活動拠点施設の整備推進が求められています。
- ・ 世帯数や居住区域、建物の構造等は、今後も変化していくため、防災施設の数や配置は、継続的に見直す必要があります。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 老朽化が進んでいますが、人が常駐している施設ではないため、施設の整備手法を「維持管理の効率化」とします。
- ・ 長寿命化工事など、施設の機能を向上させるような施工は基本的に実施せず、消防ポンプ庫としての機能を維持できる程度の修繕をその都度実施することで、施設の再配置を行いやすい状態を保ちます。

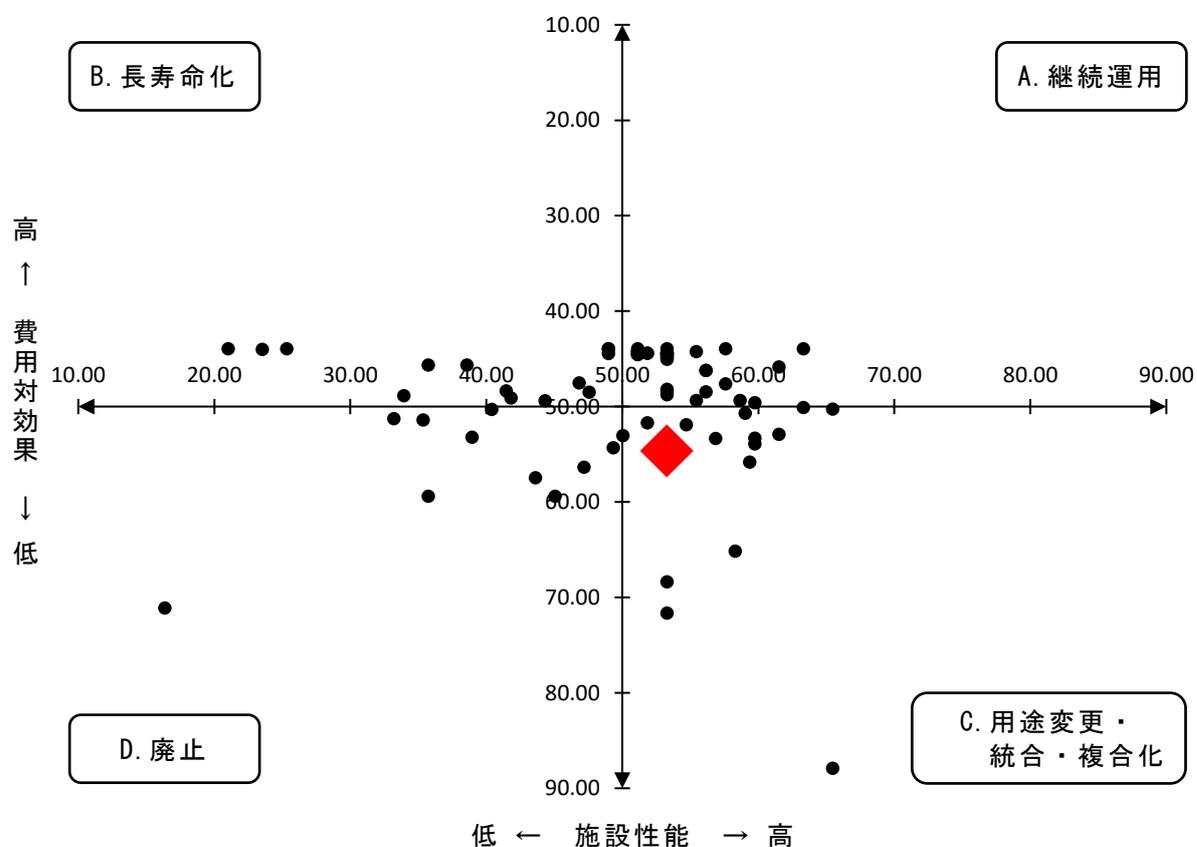
### 30 山辺町消防団第1分団第2部／消防ポンプ庫

#### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字山辺字北町 1051		
所管課・係	防災対策課防災減災推進係		
主要用途	防災施設		
施設類型	防災施設	階数	地上2階
建設年度	平成26(2014)年度	耐用年数	17年
床面積	74.52 m <sup>2</sup>	構造	木造

#### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
4,176円	13,450円	54.65	54.0	27.0	2.0	53.29



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・当該施設は、町内の防災施設であり、地震や水災害等で甚大な被害が発生した場合に、消防団員が参集し、結束して消防活動を行うための施設です。令和2（2020）年3月に策定した「山辺町消防団再編計画」において、再編実施後も引き続き活用する施設と位置付けていることから、基本方針を「予防保全的管理」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（平成25年法律第110号）」が施行され、消防団が「将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在」と位置づけられたことに伴い、装備の充実を進めるとともに、消防ポンプ庫等の活動拠点施設の整備推進が求められています。
- ・世帯数や居住区域、建物の構造等は、今後とも変化していくため、防災施設の数や配置は、継続的に見直す必要があります。

### ⑤今後10年間の管理に関する基本方針

- ・人が常駐している施設ではないため、施設の整備手法を「維持管理の効率化」とします。
- ・長寿命化工事など、施設の機能を向上させるような施工は基本的に実施せず、消防ポンプ庫としての機能を維持できる程度の修繕をその都度実施することで、施設の再配置を行いやすい状態を保ちます。

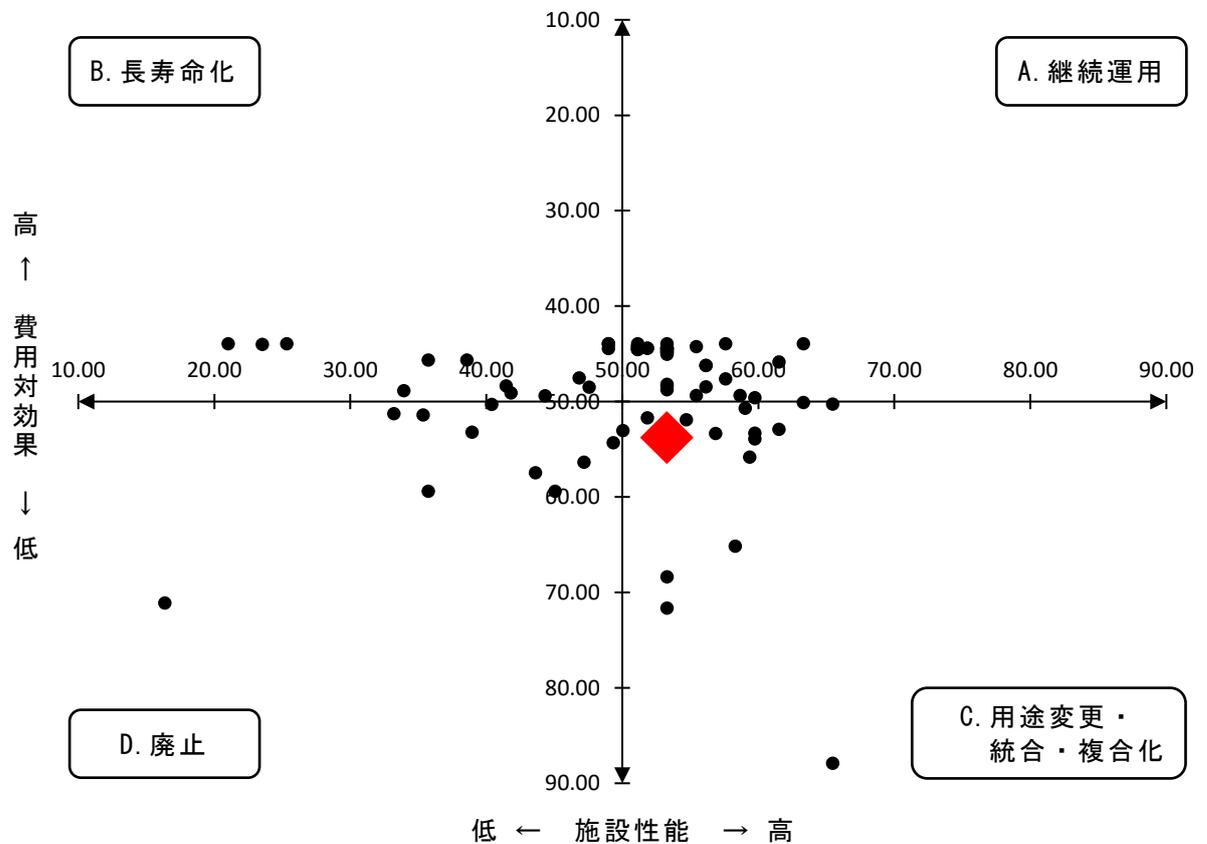
### 31 山辺町消防団第1分団第3部／消防ポンプ庫

#### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字山辺字西町 867-7		
所管課・係	防災対策課防災減災推進係		
主要用途	防災施設		
施設類型	防災施設	階数	地上2階
建設年度	平成27(2015)年度	耐用年数	17年
床面積	74.52 m <sup>2</sup>	構造	木造

#### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
3,348円	17,254円	53.80	54.0	27.0	2.0	53.29



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・当該施設は、町内の防災施設であり、地震や水災害等で甚大な被害が発生した場合に、消防団員が参集し、結束して消防活動を行うための施設です。令和2（2020）年3月に策定した「山辺町消防団再編計画」において、再編実施後も引き続き活用する施設と位置付けていることから、基本方針を「予防保全的管理」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（平成25年法律第110号）」が施行され、消防団が「将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在」と位置づけられたことに伴い、装備の充実を進めるとともに、消防ポンプ庫等の活動拠点施設の整備推進が求められています。
- ・世帯数や居住区域、建物の構造等は、今後とも変化していくため、防災施設の数や配置は、継続的に見直す必要があります。

### ⑤今後10年間の管理に関する基本方針

- ・人が常駐している施設ではないため、施設の整備手法を「維持管理の効率化」とします。
- ・長寿命化工事など、施設の機能を向上させるような施工は基本的に実施せず、消防ポンプ庫としての機能を維持できる程度の修繕をその都度実施することで、施設の再配置を行いやすい状態を保ちます。

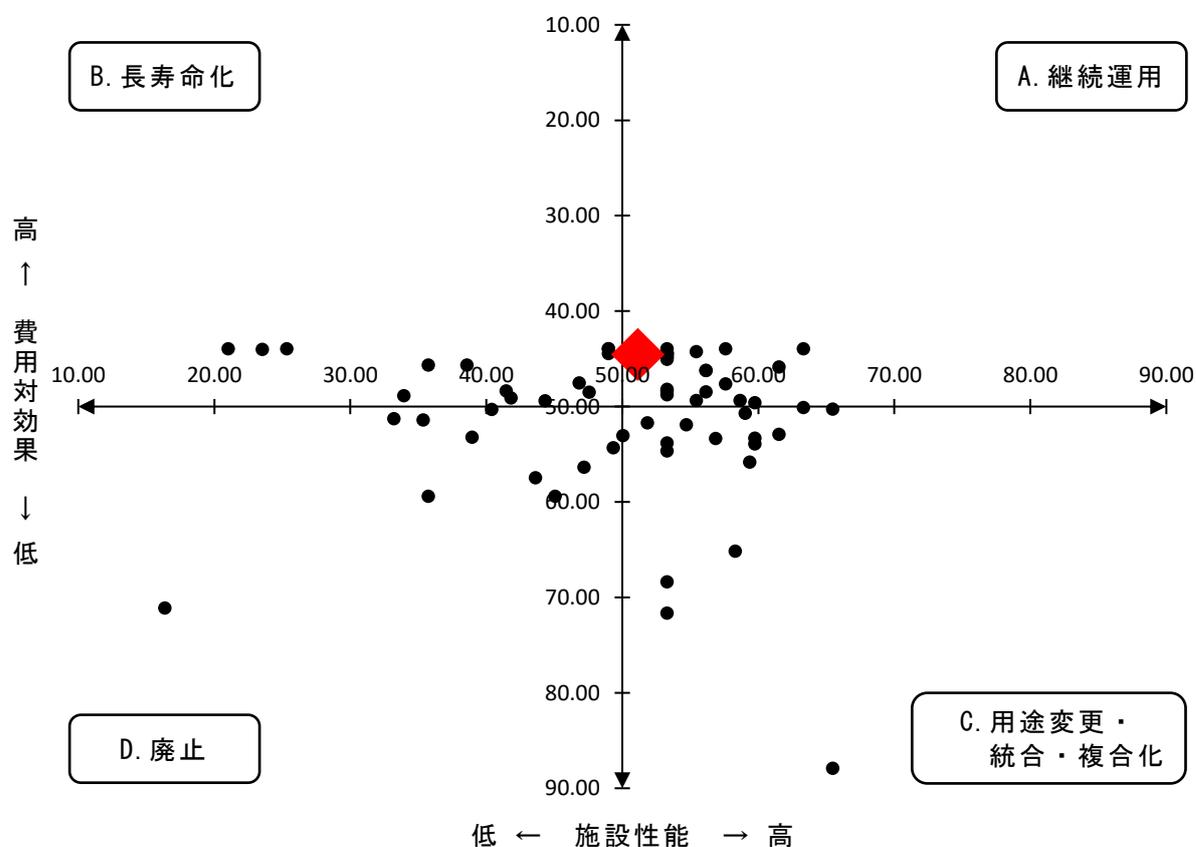
## 32 山辺町消防団第1分団第4部／消防ポンプ庫

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字三河尻字西浦 452		
所管課・係	防災対策課防災減災推進係		
主要用途	防災施設		
施設類型	防災施設	階数	地上2階
建設年度	昭和60(1985)年度	耐用年数	17年
床面積	51.00 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
219円	1,034円	44.55	51.0	27.0	2.0	51.14



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・当該施設は、建築から35年が経過し老朽化が進んでいます。令和2（2020）年3月に策定した「山辺町消防団再編計画」において、再編実施後は余剰の消防施設と位置付けていることから、基本方針を「施設総量適正化」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・建築から35年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・世帯数や居住区域、建物の構造等は、今後も変化していくため、防災施設の数や配置は、継続的に見直す必要があります。

### ⑤今後10年間の管理に関する基本方針

- ・余剰の消防施設と位置付けられ、政策優先度も低いことから、施設の対策手法を「除却」とし、早期除却に向けた検討を進めていきます。

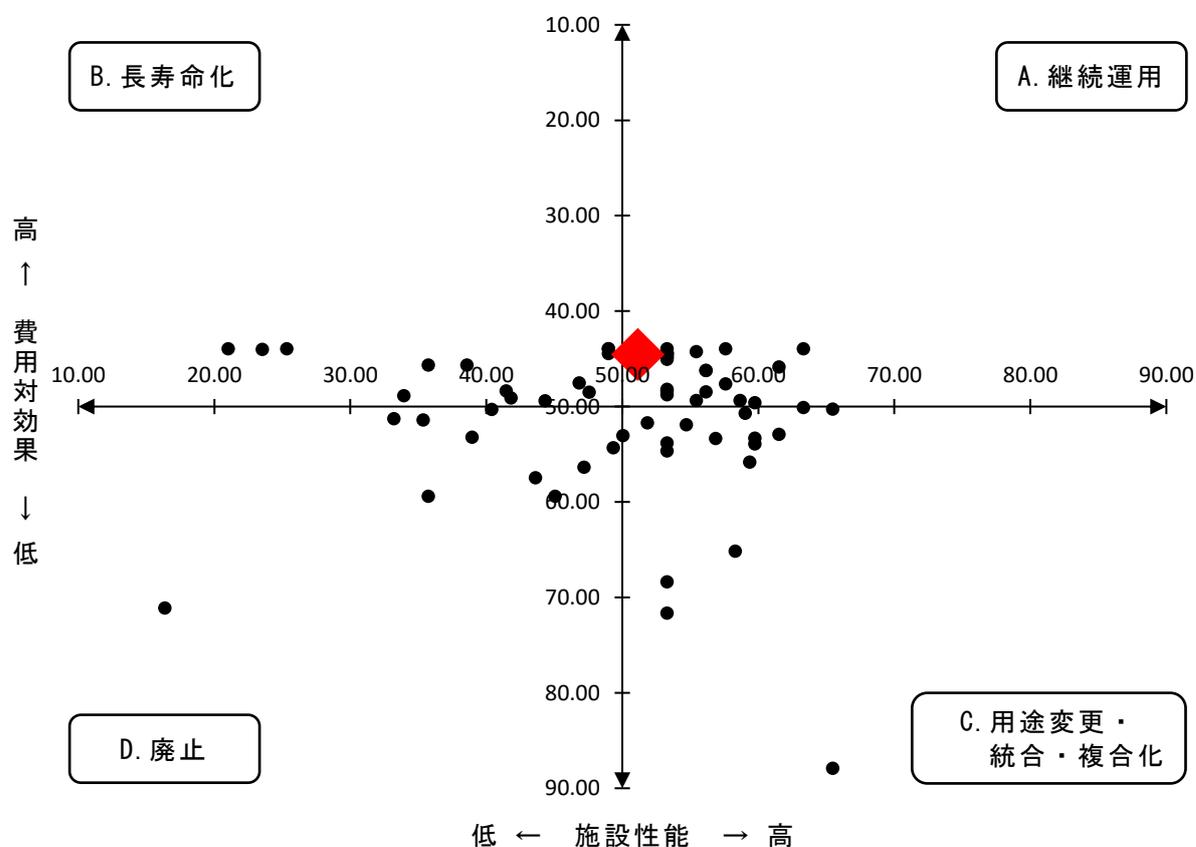
### 33 山辺町消防団第2分団第1部／消防ポンプ庫

#### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字北垣字上堰 95-3		
所管課・係	防災対策課防災減災推進係		
主要用途	防災施設		
施設類型	防災施設	階数	地上2階
建設年度	平成8(1996)年度	耐用年数	17年
床面積	64.02 m <sup>2</sup>	構造	木造

#### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
189円	1,137円	44.55	51.0	27.0	2.0	51.14



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止	低		

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・ 建築から 24 年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・ 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（平成 25 年法律第 110 号）」が施行され、消防団が「将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在」と位置づけられたことに伴い、装備の充実を進めるとともに、消防ポンプ庫等の活動拠点施設の整備推進が求められています。
- ・ 世帯数や居住区域、建物の構造等は、今後も変化していくため、防災施設の数や配置は、継続的に見直す必要があります。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 老朽化が進んでいますが、人が常駐している施設ではないため、施設の整備手法を「維持管理の効率化」とします。
- ・ 長寿命化工事など、施設の機能を向上させるような施工は基本的に実施せず、消防ポンプ庫としての機能を維持できる程度の修繕をその都度実施することで、施設の再配置を行いやすい状態を保ちます。

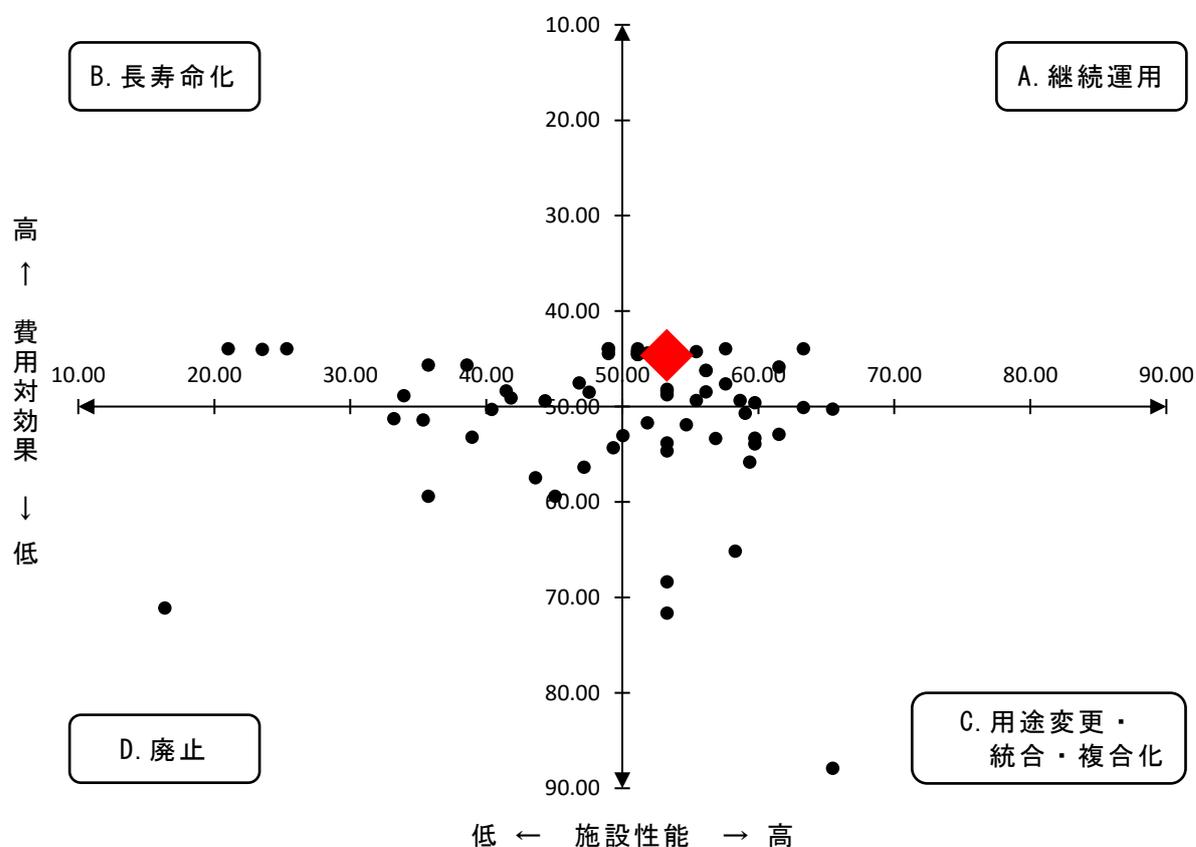
### 34 山辺町消防団第2分団第2部／消防ポンプ庫

#### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字山辺字芦沢 2093-18		
所管課・係	防災対策課防災減災推進係		
主要用途	防災施設		
施設類型	防災施設	階数	地上2階
建設年度	昭和57(1982)年度	耐用年数	17年
床面積	46.36 m <sup>2</sup>	構造	木造

#### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
176円	1,736円	44.65	51.0	30.0	2.0	53.29



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>維持管理の効率化</li> <li>財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>長寿命化</li> <li>改築</li> <li>一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>集約化</li> <li>用途転用</li> </ul>
D. 廃止	低		<ul style="list-style-type: none"> <li>複合化</li> <li>除却</li> </ul>

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・ 建築から 38 年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・ 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（平成 25 年法律第 110 号）」が施行され、消防団が「将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在」と位置づけられたことに伴い、装備の充実を進めるとともに、消防ポンプ庫等の活動拠点施設の整備推進が求められています。
- ・ 世帯数や居住区域、建物の構造等は、今後も変化していくため、防災施設の数や配置は、継続的に見直す必要があります。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 老朽化が進んでいますが、人が常駐している施設ではないため、施設の整備手法を「維持管理の効率化」とします。
- ・ 長寿命化工事など、施設の機能を向上させるような施工は基本的に実施せず、消防ポンプ庫としての機能を維持できる程度の修繕をその都度実施することで、施設の再配置を行いやすい状態を保ちます。

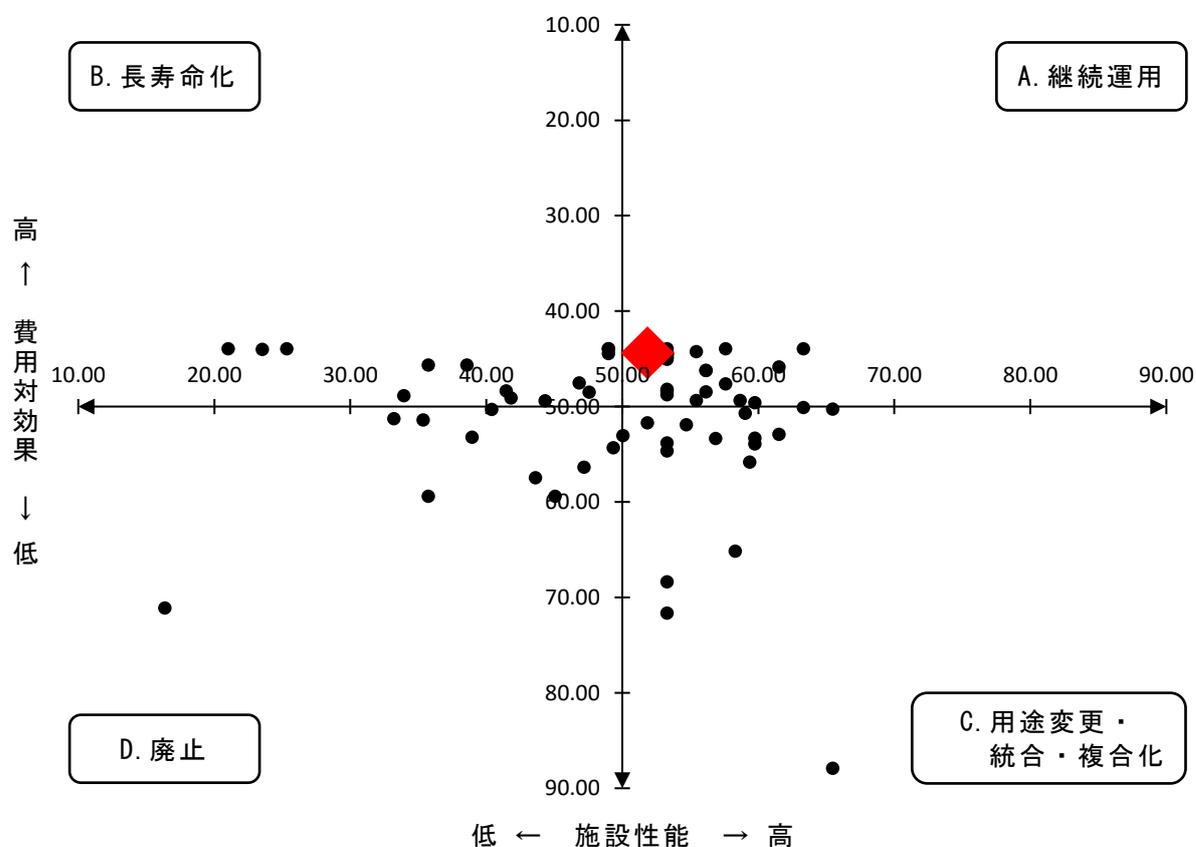
### 35 山辺町消防団第2分団第3部／ドクターヘリ支援車両車庫

#### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字大蔵字中田 1224-1		
所管課・係	防災対策課防災減災推進係		
主要用途	防災施設		
施設類型	防災施設	階数	地上1階
建設年度	平成26(2014)年度	耐用年数	25年
床面積	14.08 m <sup>2</sup>	構造	軽量鉄骨造

#### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
50円	1,810円	44.40	54.0	27.0	0.0	51.86



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>維持管理の効率化</li> <li>財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>長寿命化</li> <li>改築</li> <li>一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>集約化</li> <li>複合化</li> <li>用途転用</li> <li>除却</li> </ul>
D. 廃止	低		

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（平成 25 年法律第 110 号）」が施行され、消防団が「将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在」と位置づけられたことに伴い、装備の充実を進めるとともに、消防ポンプ庫等の活動拠点施設の整備推進が求められています。
- ・世帯数や居住区域、建物の構造等は、今後も変化していくため、防災施設の数や配置は、継続的に見直す必要があります。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・人が常駐している施設ではないため、施設の整備手法を「維持管理の効率化」とします。
- ・長寿命化工事など、施設の機能を向上させるような施工は基本的に実施せず、車庫としての機能を維持できる程度の修繕をその都度実施することで、施設の再配置を行いやすい状態を保ちます。

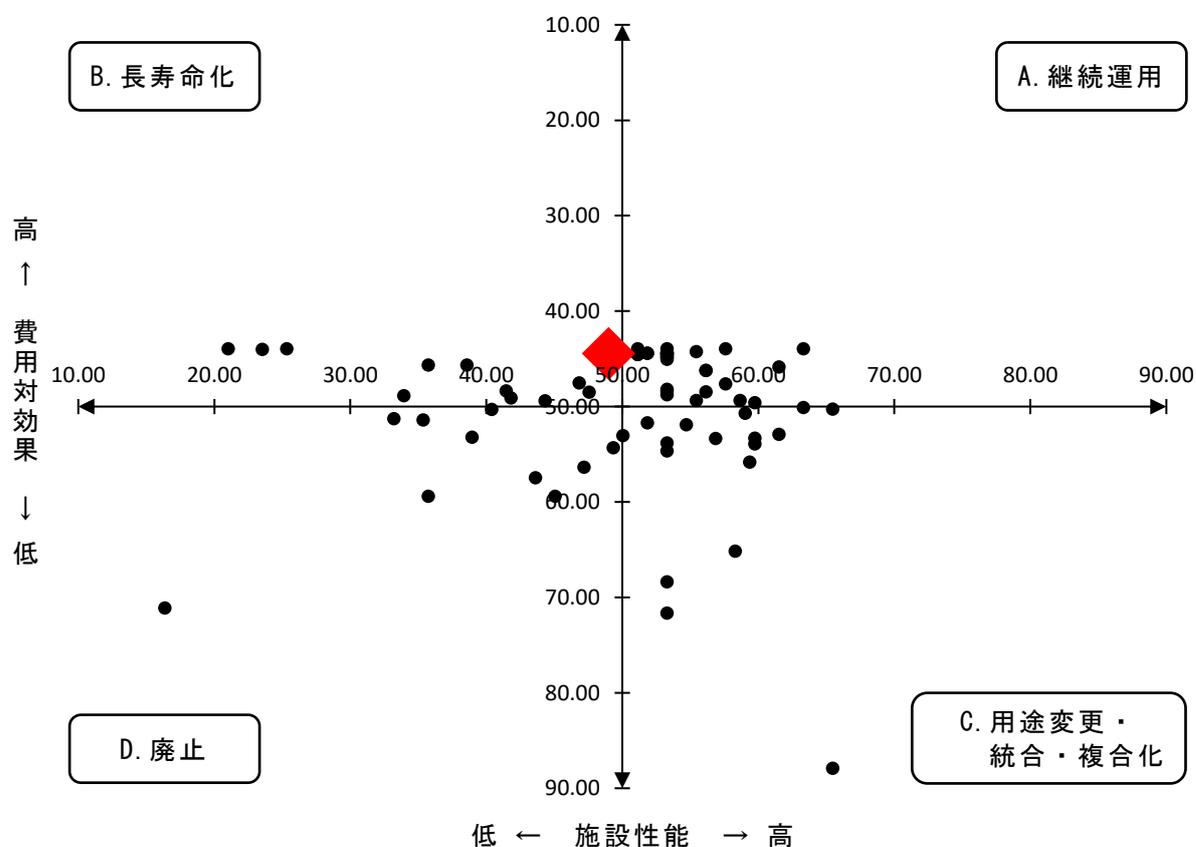
### 36 山辺町消防団第2分団第3部／消防ポンプ庫

#### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字大蔵字中田 1224-1		
所管課・係	防災対策課防災減災推進係		
主要用途	防災施設		
施設類型	防災施設	階数	地上2階
建設年度	昭和53(1978)年度	耐用年数	17年
床面積	47.44 m <sup>2</sup>	構造	木造

#### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
125円	1,336円	44.45	48.0	27.0	2.0	48.99



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・当該施設は、建築から41年が経過し老朽化が進んでいます。令和2（2020）年3月に策定した「山辺町消防団再編計画」において、再編実施後は余剰の消防施設と位置付けていることから、基本方針を「施設総量適正化」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・建築から42年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・世帯数や居住区域、建物の構造等は、今後も変化していくため、防災施設の数や配置は、継続的に見直す必要があります。

### ⑤今後10年間の管理に関する基本方針

- ・余剰の消防施設と位置付けられ、政策優先度も低いことから、施設の対策手法を「除却」とし、早期除却に向けた検討を進めていきます。

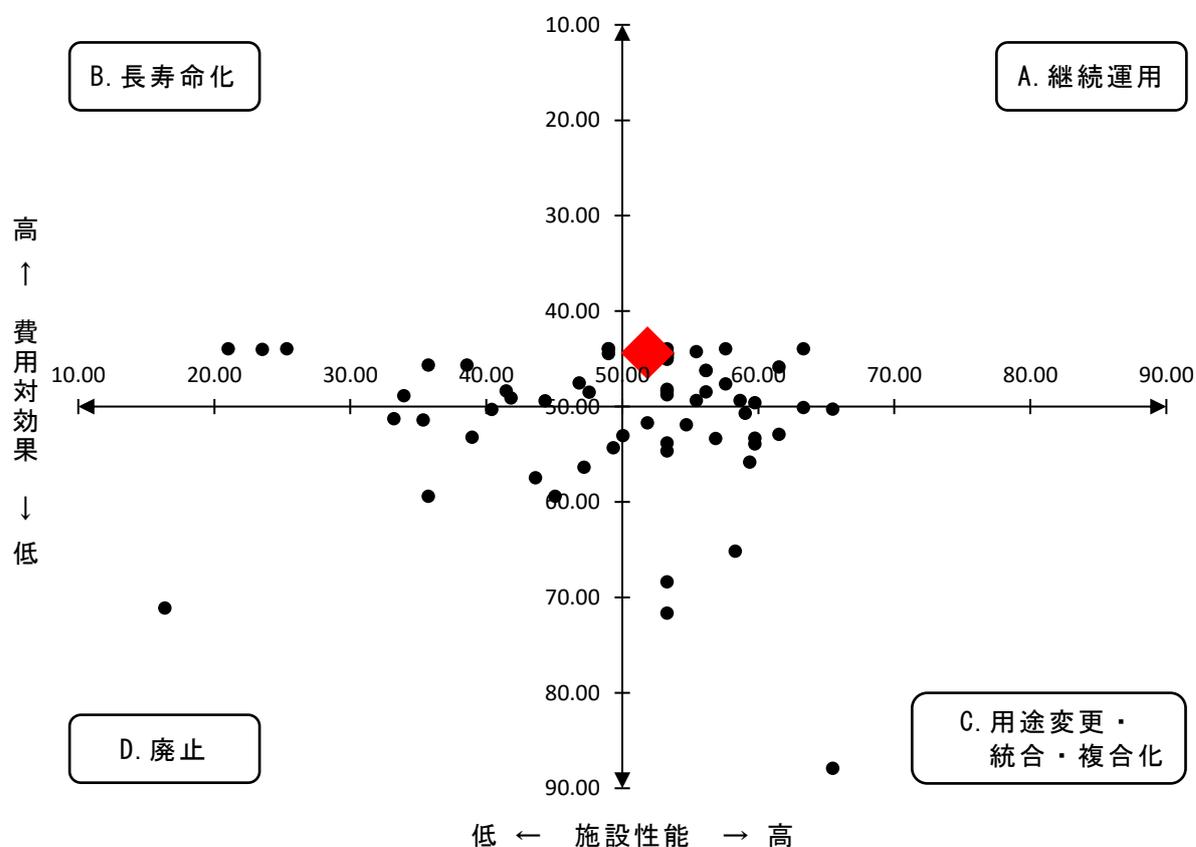
### 37 山辺町消防団第4分団第1部／ドクターヘリ支援車両車庫

#### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字築沢字前ノ原 3102-1		
所管課・係	防災対策課防災減災推進係		
主要用途	防災施設		
施設類型	防災施設	階数	地上1階
建設年度	平成26(2014)年度	耐用年数	25年
床面積	14.08 m <sup>2</sup>	構造	軽量鉄骨造

#### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
59円	1,810円	44.40	54.0	27.0	0.0	51.86



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>維持管理の効率化</li> <li>財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>長寿命化</li> <li>改築</li> <li>一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>集約化</li> <li>複合化</li> <li>用途転用</li> <li>除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（平成 25 年法律第 110 号）」が施行され、消防団が「将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在」と位置づけられたことに伴い、装備の充実を進めるとともに、消防ポンプ庫等の活動拠点施設の整備推進が求められています。
- ・世帯数や居住区域、建物の構造等は、今後も変化していくため、防災施設の数や配置は、継続的に見直す必要があります。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・人が常駐している施設ではないため、施設の整備手法を「維持管理の効率化」とします。
- ・長寿命化工事など、施設の機能を向上させるような施工は基本的に実施せず、車庫としての機能を維持できる程度の修繕をその都度実施することで、施設の再配置を行いやすい状態を保ちます。

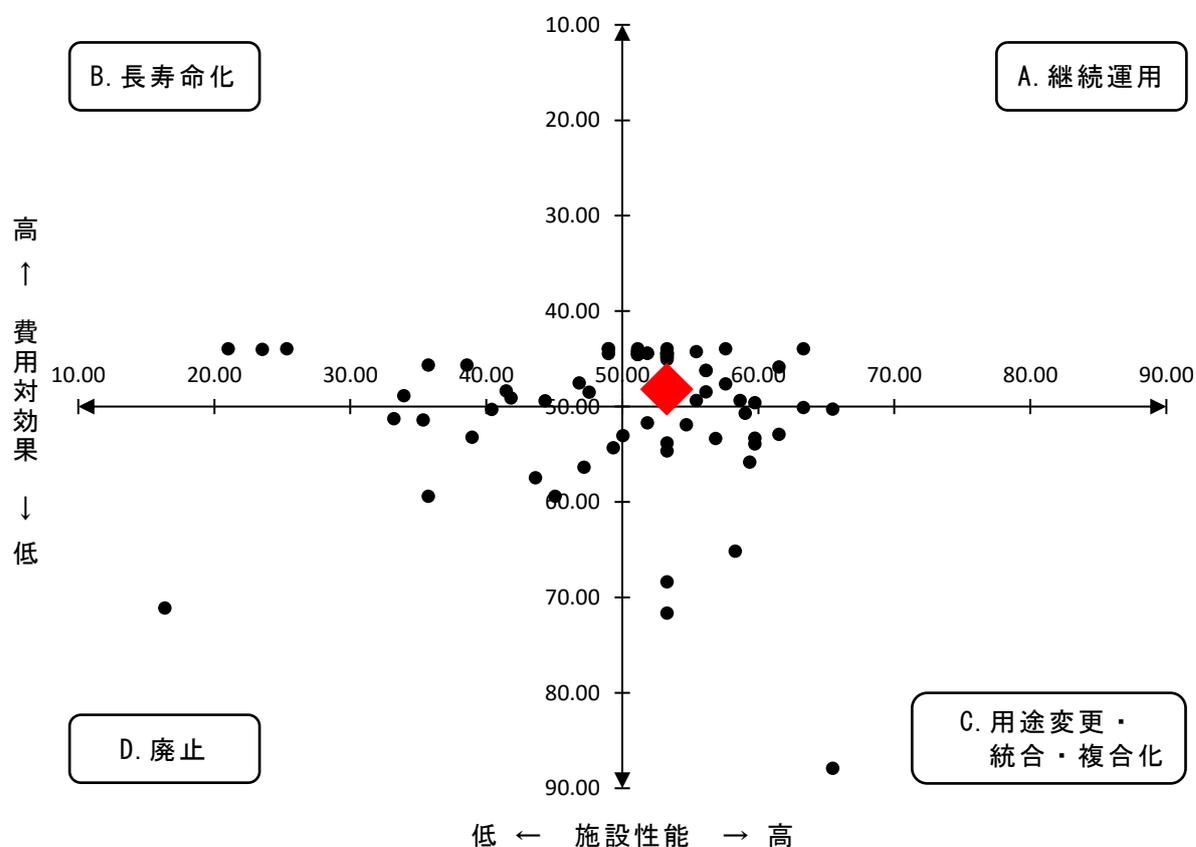
### 38 山辺町消防団第4分団第1部／消防ポンプ庫

#### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字築沢字前ノ原 3102-1		
所管課・係	防災対策課防災減災推進係		
主要用途	防災施設		
施設類型	防災施設	階数	地上2階
建設年度	平成15(2003)年度	耐用年数	17年
床面積	114.26 m <sup>2</sup>	構造	木造

#### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
1,591円	6,018円	48.20	54.0	27.0	2.0	53.29



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・用途転用</li> <li>・複合化</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（平成 25 年法律第 110 号）」が施行され、消防団が「将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在」と位置づけられたことに伴い、装備の充実を進めるとともに、消防ポンプ庫等の活動拠点施設の整備推進が求められています。
- ・世帯数や居住区域、建物の構造等は、今後も変化していくため、防災施設の数や配置は、継続的に見直す必要があります。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・人が常駐している施設ではないため、施設の整備手法を「維持管理の効率化」とします。
- ・長寿命化工事など、施設の機能を向上させるような施工は基本的に実施せず、消防ポンプ庫としての機能を維持できる程度の修繕をその都度実施することで、施設の再配置を行いやすい状態を保ちます。

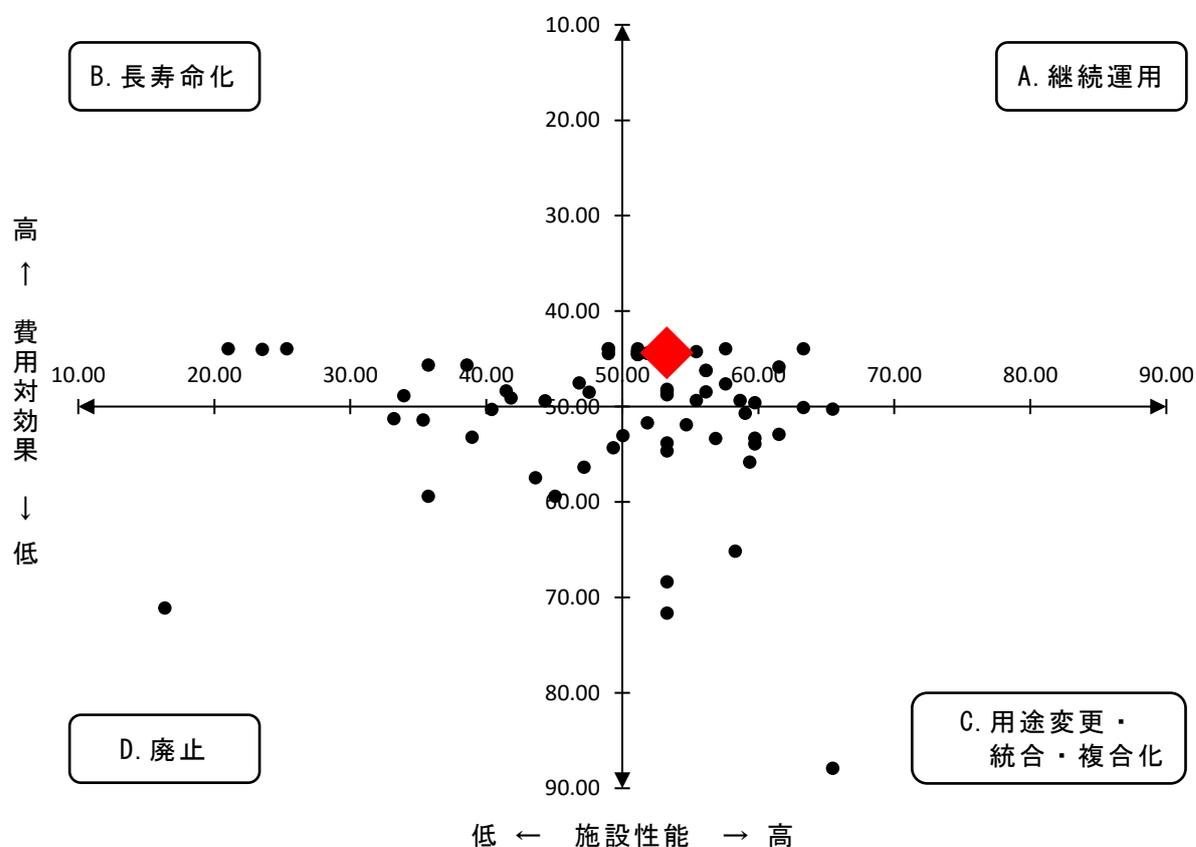
### 39 山辺町消防団第4分団第2部／消防ポンプ庫

#### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字畑谷字前田 237		
所管課・係	防災対策課防災減災推進係		
主要用途	防災施設		
施設類型	防災施設	階数	地上2階
建設年度	昭和43(1968)年度	耐用年数	34年
床面積	52.12 m <sup>2</sup>	構造	コンクリートブロック造

#### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
139円	1,091円	44.40	54.0	27.0	2.0	53.29



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	耐震改修 ・維持管理の効率化 ・財源の確保
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	・耐震改修 ・長寿命化 ・改築 ・一部改築
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	・集約化 ・複合化 ・用途転用 ・除却
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・ 建築から 52 年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・ 旧耐震基準下で建築されたため、耐震補強や建替えなどの検討が必要です。
- ・ 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（平成 25 年法律第 110 号）」が施行され、消防団が「将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在」と位置づけられたことに伴い、装備の充実を進めるとともに、消防ポンプ庫等の活動拠点施設の整備推進が求められています。
- ・ 世帯数や居住区域、建物の構造等は、今後も変化していくため、防災施設の数や配置は、継続的に見直す必要があります

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 老朽化が進んでいますが、人が常駐している施設ではないため耐震化の必要性は低く、施設の整備手法を「維持管理の効率化」とします。
- ・ 長寿命化工事など、施設の機能を向上させるような施工は基本的に実施せず、消防ポンプ庫としての機能を維持できる程度の修繕をその都度実施することで、施設の再配置を行いやすい状態を保ちます。

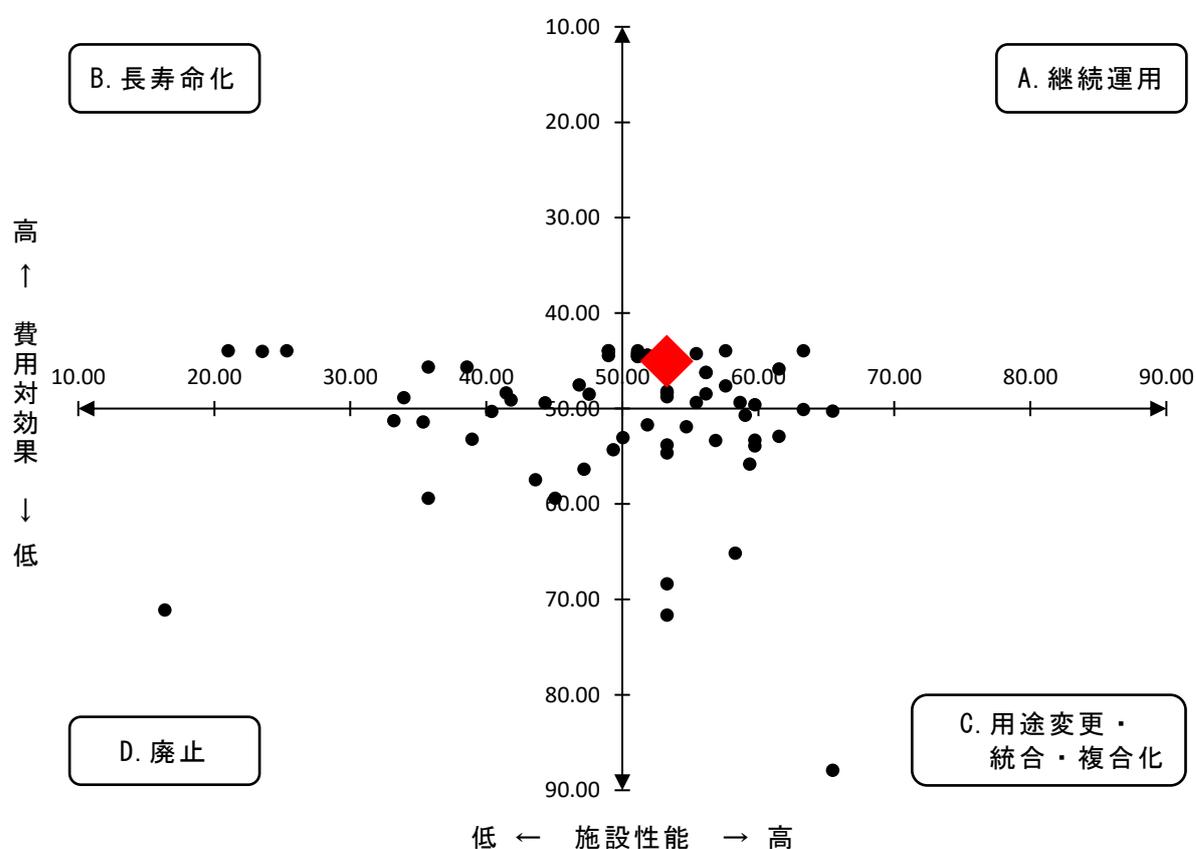
## 40 山辺町消防団第4分団第2部2班／摂待消防ポンプ庫

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字畑谷字摂待 2278-5		
所管課・係	防災対策課防災減災推進係		
主要用途	防災施設		
施設類型	防災施設	階数	地上1階
建設年度	昭和58(1983)年度	耐用年数	34年
床面積	10.00 m <sup>2</sup>	構造	コンクリートブロック造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
113円	4,632円	45.05	54.0	27.0	2.0	53.29



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・当該施設は、建築から37年が経過し老朽化が進んでいます。令和2（2020）年3月に策定した「山辺町消防団再編計画」において、再編実施後は余剰の消防施設と位置付けていることから、基本方針を「施設総量適正化」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・建築から37年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・世帯数や居住区域、建物の構造等は、今後も変化していくため、防災施設の数や配置は、継続的に見直す必要があります。

### ⑤今後10年間の管理に関する基本方針

- ・余剰の消防施設と位置付けられ、政策優先度も低いことから、施設の対策手法を「除却」とし、早期除却に向けた検討を進めていきます。

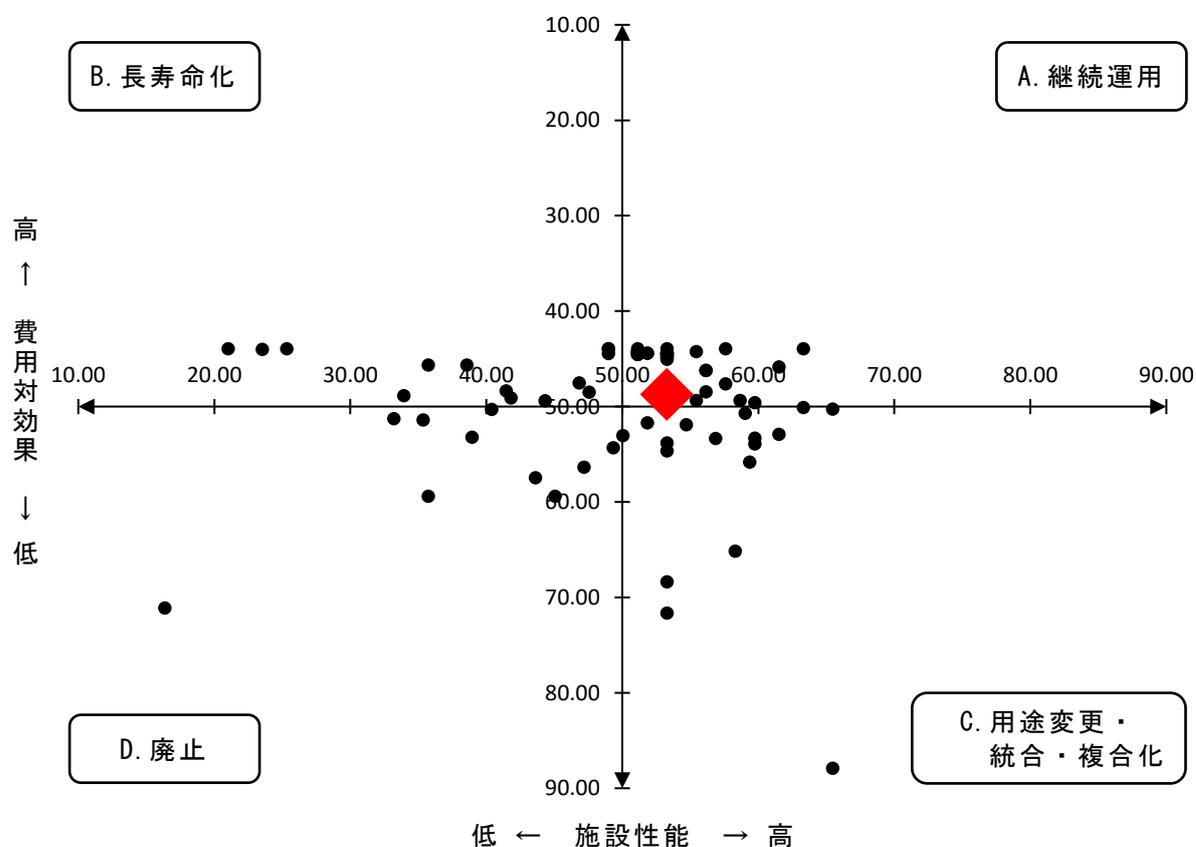
## 41 山辺町消防団第5分団第1部／消防ポンプ庫

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字根際字的場 750		
所管課・係	防災対策課防災減災推進係		
主要用途	防災施設		
施設類型	防災施設	階数	地上2階
建設年度	平成22(2010)年度	耐用年数	17年
床面積	74.52 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
1,621円	8,355円	48.75	54.0	27.0	2.0	53.29



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・用途転用</li> <li>・複合化</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（平成 25 年法律第 110 号）」が施行され、消防団が「将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在」と位置づけられたことに伴い、装備の充実を進めるとともに、消防ポンプ庫等の活動拠点施設の整備推進が求められています。
- ・世帯数や居住区域、建物の構造等は、今後も変化していくため、防災施設の数や配置は、継続的に見直す必要があります。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・人が常駐している施設ではないため、施設の整備手法を「維持管理の効率化」とします。
- ・長寿命化工事など、施設の機能を向上させるような施工は基本的に実施せず、消防ポンプ庫としての機能を維持できる程度の修繕をその都度実施することで、施設の再配置を行いやすい状態を保ちます。

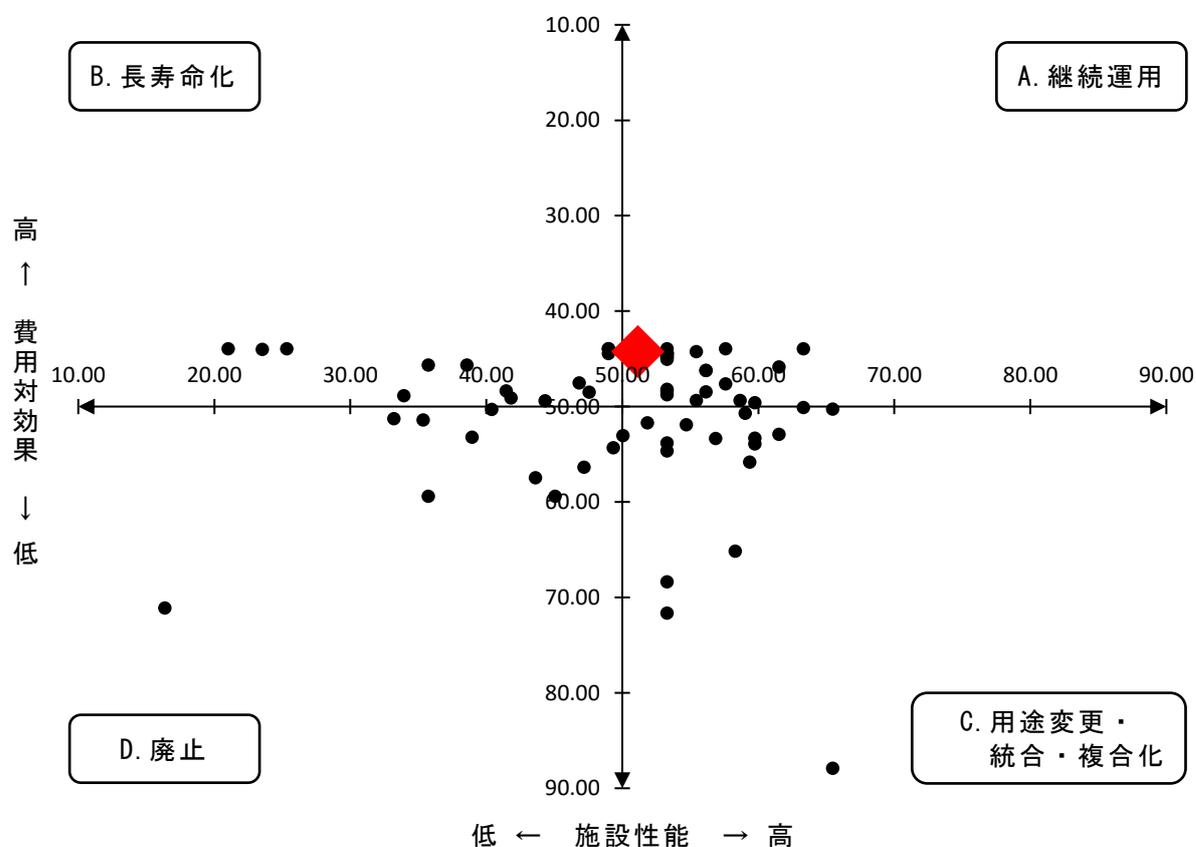
## 42 山辺町消防団第5分団第2部／消防ポンプ庫

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字大塚字大塚 87-2		
所管課・係	防災対策課防災減災推進係		
主要用途	防災施設		
施設類型	防災施設	階数	地上2階
建設年度	昭和51(1976)年度	耐用年数	17年
床面積	62.08 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
94円	732円	44.25	51.0	27.0	2.0	51.14



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化	政策優先度 低	建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化		施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・ 建築から 44 年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・ 旧耐震基準下で建築されたため、耐震補強や建替えなどの検討が必要です。
- ・ 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（平成 25 年法律第 110 号）」が施行され、消防団が「将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在」と位置づけられたことに伴い、装備の充実を進めるとともに、消防ポンプ庫等の活動拠点施設の整備推進が求められています。
- ・ 世帯数や居住区域、建物の構造等は、今後も変化していくため、防災施設の数や配置は、継続的に見直す必要があります。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 老朽化が進んでいますが、人が常駐している施設ではないため耐震化の必要性は低く、施設の整備手法を「維持管理の効率化」とします。
- ・ 長寿命化工事など、施設の機能を向上させるような施工は基本的に実施せず、消防ポンプ庫としての機能を維持できる程度の修繕をその都度実施することで、施設の再配置を行いやすい状態を保ちます。

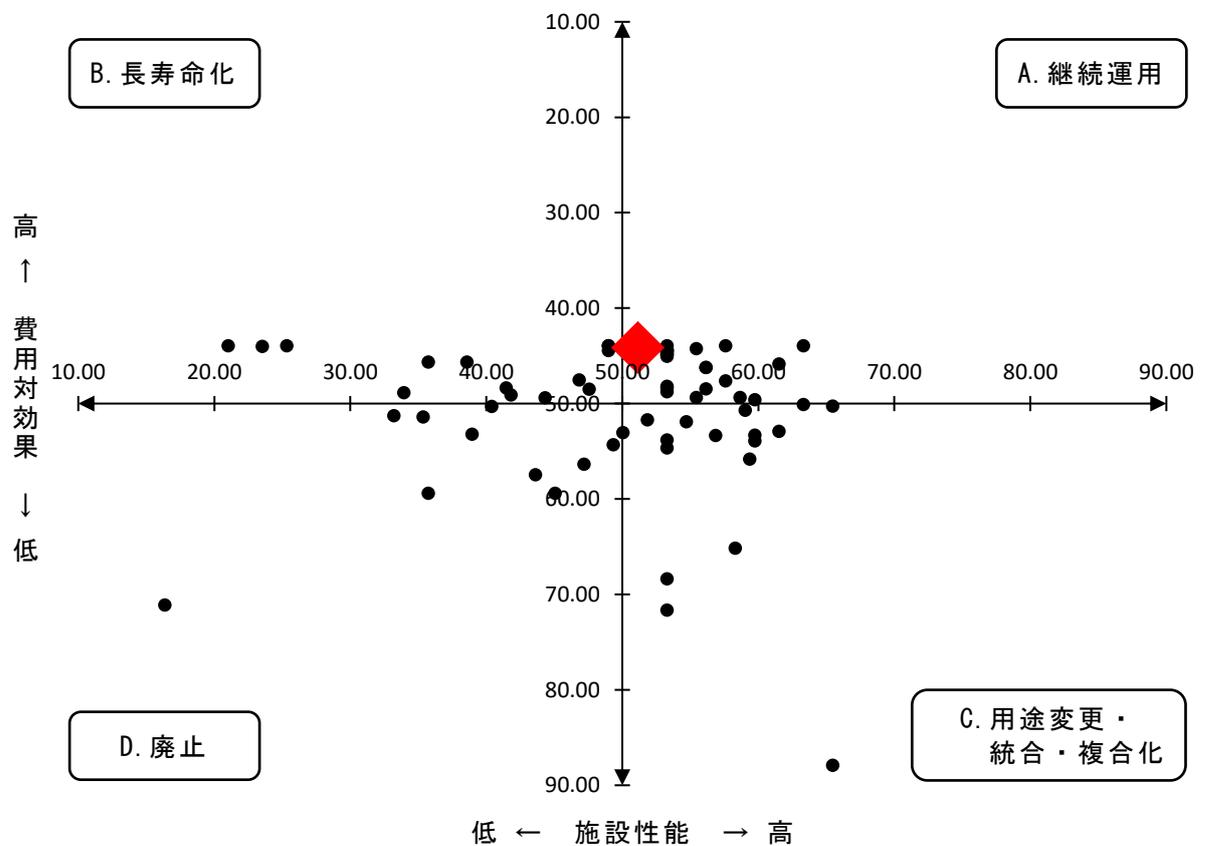
### 43 山辺町消防団第5分団第3部／消防ポンプ庫

#### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字要害字竹原 112		
所管課・係	防災対策課防災減災推進係		
主要用途	防災施設		
施設類型	防災施設	階数	地上2階
建設年度	昭和53(1978)年度	耐用年数	17年
床面積	50.78 m <sup>2</sup>	構造	木造

#### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
65円	529円	44.15	51.0	27.0	2.0	51.14



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>維持管理の効率化</li> <li>財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>長寿命化</li> <li>改築</li> <li>一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>集約化</li> <li>複合化</li> <li>用途転用</li> <li>除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・ 建築から 42 年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・ 旧耐震基準下で建築されたため、耐震補強や建替えなどの検討が必要です。
- ・ 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（平成 25 年法律第 110 号）」が施行され、消防団が「将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在」と位置づけられたことに伴い、装備の充実を進めるとともに、消防ポンプ庫等の活動拠点施設の整備推進が求められています。
- ・ 世帯数や居住区域、建物の構造等は、今後も変化していくため、防災施設の数や配置は、継続的に見直す必要があります。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 老朽化が進んでいますが、人が常駐している施設ではないため耐震化の必要性は低く、施設の整備手法を「維持管理の効率化」とします。
- ・ 長寿命化工事など、施設の機能を向上させるような施工は基本的に実施せず、消防ポンプ庫としての機能を維持できる程度の修繕をその都度実施することで、施設の再配置を行いやすい状態を保ちます。

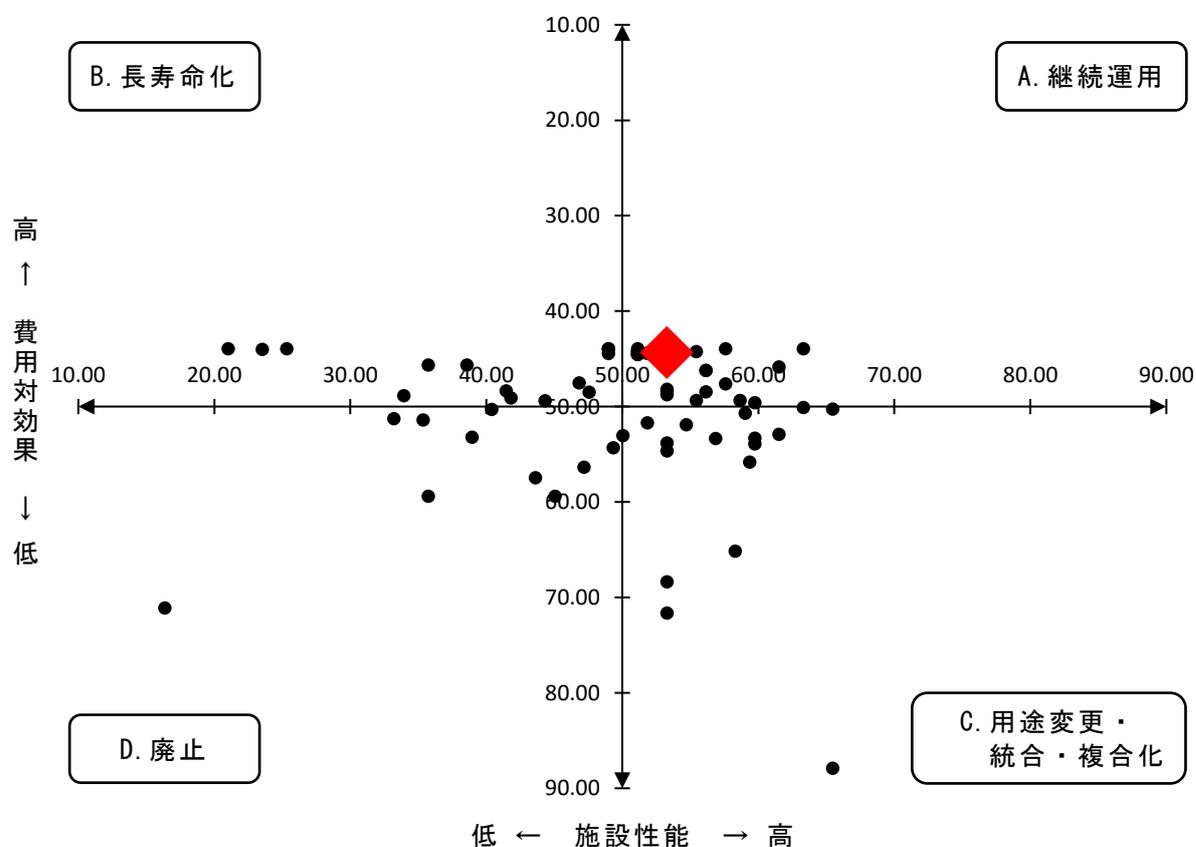
## 44 山辺町消防団第5分団第4部／消防ポンプ庫

### ①施設基本概要

所在地	山辺町近江 3-37		
所管課・係	防災対策課防災減災推進係		
主要用途	防災施設		
施設類型	防災施設	階数	地上2階
建設年度	昭和62(1987)年度	耐用年数	17年
床面積	52.00 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
129円	839円	44.35	54.0	27.0	2.0	53.29



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>維持管理の効率化</li> <li>財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>長寿命化</li> <li>改築</li> <li>一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>集約化</li> <li>複合化</li> <li>用途転用</li> <li>除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・ 建築から 33 年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・ 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（平成 25 年法律第 110 号）」が施行され、消防団が「将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在」と位置づけられたことに伴い、装備の充実を進めるとともに、消防ポンプ庫等の活動拠点施設の整備推進が求められています。
- ・ 世帯数や居住区域、建物の構造等は、今後とも変化していくため、防災施設の数や配置は、継続的に見直す必要があります。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 老朽化が進んでいますが、人が常駐している施設ではないため、施設の整備手法を「維持管理の効率化」とします。
- ・ 長寿命化工事など、施設の機能を向上させるような施工は基本的に実施せず、消防ポンプ庫としての機能を維持できる程度の修繕をその都度実施することで、施設の再配置を行いやすい状態を保ちます。

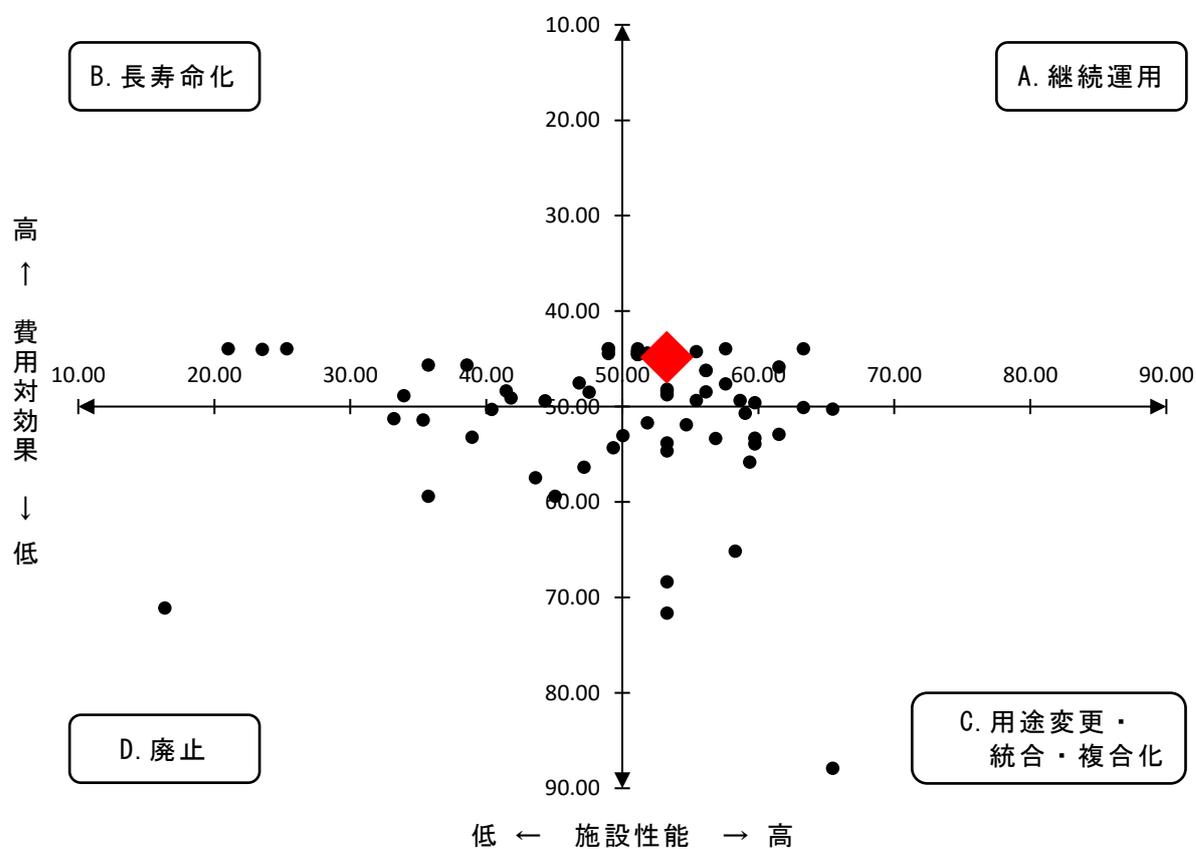
## 45 山辺町消防団第6分団第1部／消防ポンプ庫

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字山辺字東町 1315-2		
所管課・係	防災対策課防災減災推進係		
主要用途	防災施設		
施設類型	防災施設	階数	地上2階
建設年度	昭和59(1984)年度	耐用年数	31年
床面積	132.48 m <sup>2</sup>	構造	鉄骨鉄筋コンクリート造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
362円	852円	44.85	54.0	27.0	2.0	53.29



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>維持管理の効率化</li> <li>財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>長寿命化</li> <li>改築</li> <li>一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>集約化</li> <li>複合化</li> <li>用途転用</li> <li>除却</li> </ul>
D. 廃止	低		

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・ 建築から 36 年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・ 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（平成 25 年法律第 110 号）」が施行され、消防団が「将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在」と位置づけられたことに伴い、装備の充実を進めるとともに、消防ポンプ庫等の活動拠点施設の整備推進が求められています。
- ・ 世帯数や居住区域、建物の構造等は、今後とも変化していくため、防災施設の数や配置は、継続的に見直す必要があります。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 老朽化が進んでいますが、人が常駐している施設ではないため、施設の整備手法を「維持管理の効率化」とします。
- ・ 長寿命化工事など、施設の機能を向上させるような施工は基本的に実施せず、消防ポンプ庫としての機能を維持できる程度の修繕をその都度実施することで、施設の再配置を行いやすい状態を保ちます。

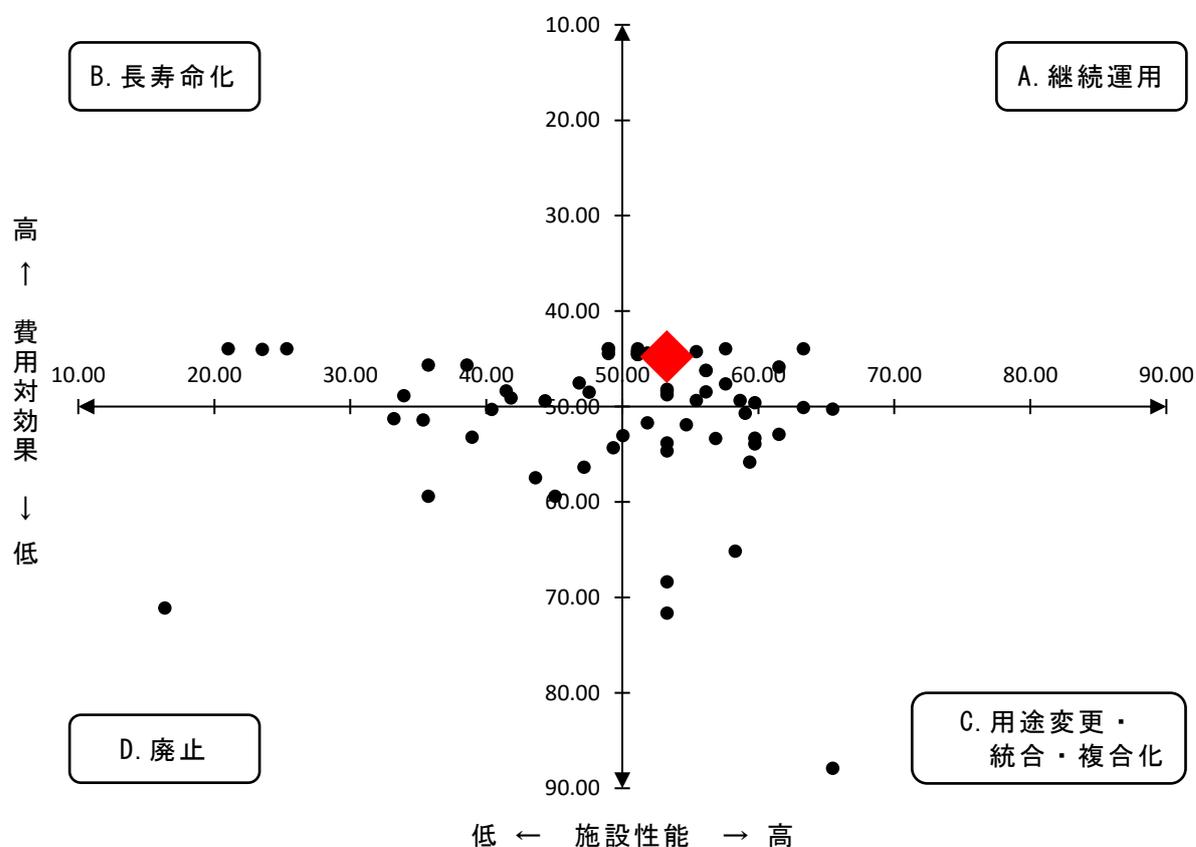
## 46 山辺町消防団第6分団第2部／消防ポンプ庫

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字山辺字佐竹段 3036-5		
所管課・係	防災対策課防災減災推進係		
主要用途	防災施設		
施設類型	防災施設	階数	地上2階
建設年度	昭和63(1988)年度	耐用年数	17年
床面積	59.00 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
299円	1,460円	44.80	54.0	27.0	2.0	53.29



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>維持管理の効率化</li> <li>財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>長寿命化</li> <li>改築</li> <li>一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>集約化</li> <li>複合化</li> <li>用途転用</li> <li>除却</li> </ul>
D. 廃止	低		

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・ 建築から 32 年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・ 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（平成 25 年法律第 110 号）」が施行され、消防団が「将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在」と位置づけられたことに伴い、装備の充実を進めるとともに、消防ポンプ庫等の活動拠点施設の整備推進が求められています。
- ・ 世帯数や居住区域、建物の構造等は、今後とも変化していくため、防災施設の数や配置は、継続的に見直す必要があります。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 老朽化が進んでいますが、人が常駐している施設ではないため、施設の整備手法を「維持管理の効率化」とします。
- ・ 長寿命化工事など、施設の機能を向上させるような施工は基本的に実施せず、消防ポンプ庫としての機能を維持できる程度の修繕をその都度実施することで、施設の再配置を行いやすい状態を保ちます。

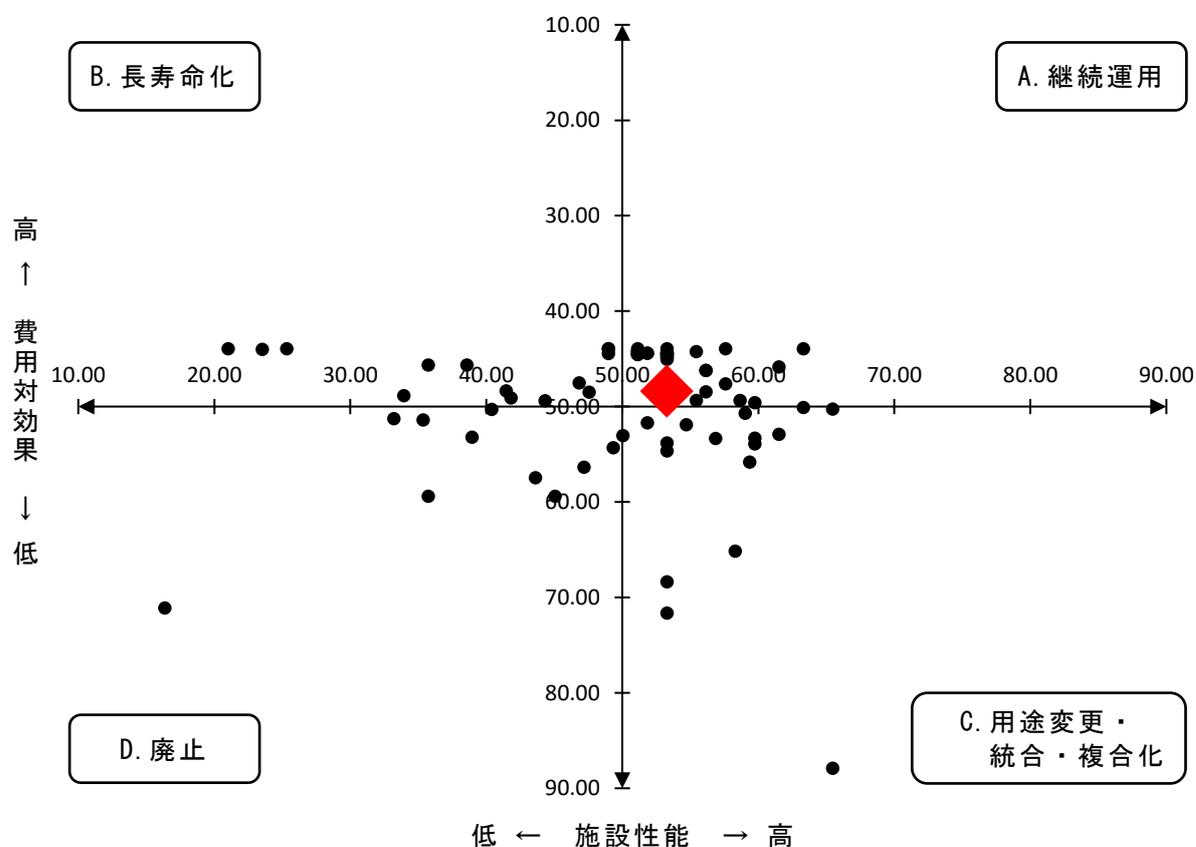
## 47 山辺町消防団第6分団第3部／消防ポンプ庫

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字山辺字蒲沖 2834-2		
所管課・係	防災対策課防災減災推進係		
主要用途	防災施設		
施設類型	防災施設	階数	地上2階
建設年度	平成13(2001)年度	耐用年数	17年
床面積	56.44 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
1,370円	9,321円	48.40	54.0	27.0	2.0	53.29



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・用途転用</li> </ul>
D. 廃止	低		<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合化</li> <li>・除却</li> </ul>

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（平成 25 年法律第 110 号）」が施行され、消防団が「将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在」と位置づけられたことに伴い、装備の充実を進めるとともに、消防ポンプ庫等の活動拠点施設の整備推進が求められています。
- ・世帯数や居住区域、建物の構造等は、今後も変化していくため、防災施設の数や配置は、継続的に見直す必要があります。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・人が常駐している施設ではないため、施設の整備手法を「維持管理の効率化」とします。
- ・長寿命化工事など、施設の機能を向上させるような施工は基本的に実施せず、消防ポンプ庫としての機能を維持できる程度の修繕をその都度実施することで、施設の再配置を行いやすい状態を保ちます。

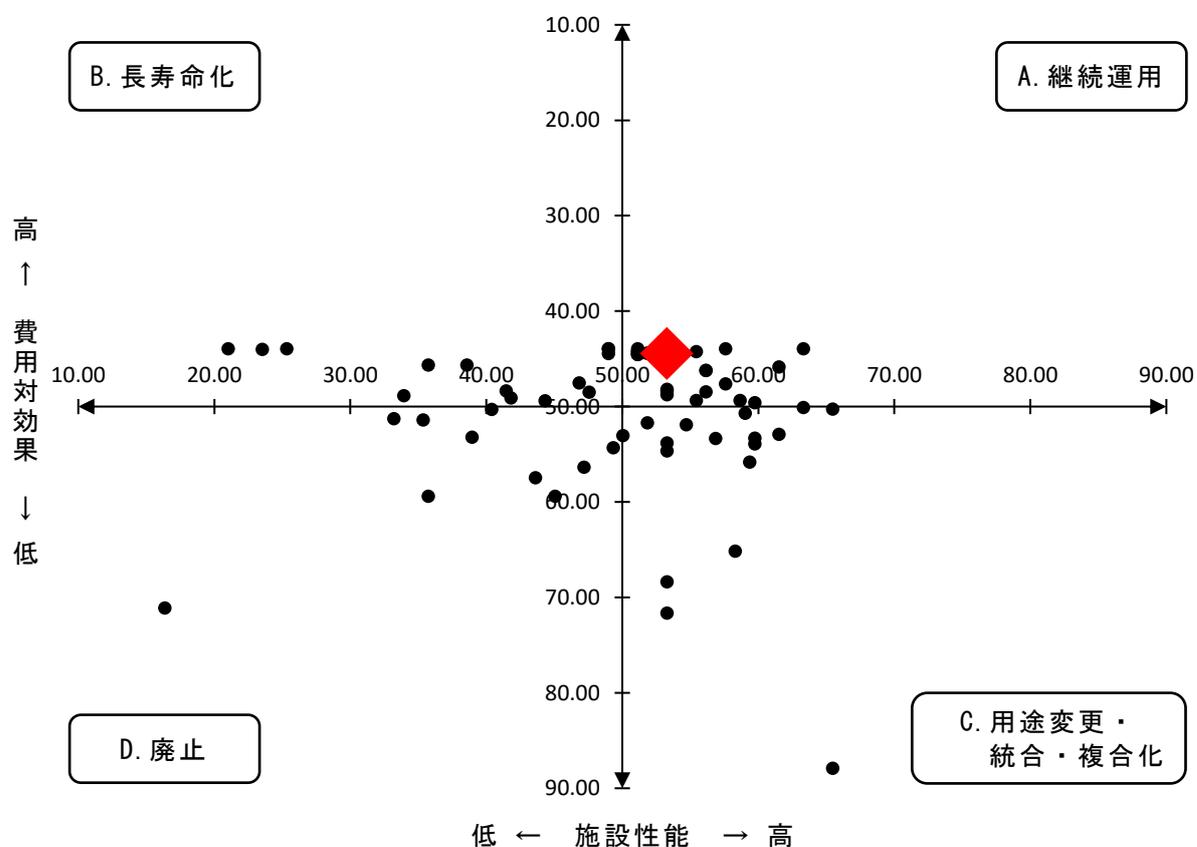
## 48 山辺町消防団第6分団第4部／消防ポンプ庫

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字山辺字東町 1266-6		
所管課・係	防災対策課防災減災推進係		
主要用途	防災施設		
施設類型	防災施設	階数	地上2階
建設年度	昭和59(1984)年度	耐用年数	17年
床面積	55.08 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
162円	990円	44.45	54.0	27.0	2.0	53.29



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>維持管理の効率化</li> <li>財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>長寿命化</li> <li>改築</li> <li>一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>集約化</li> <li>複合化</li> <li>用途転用</li> <li>除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・当該施設は、建築から35年が経過し老朽化が進んでいます。令和2（2020）年3月に策定した「山辺町消防団再編計画」において、再編実施後は余剰の消防施設と位置付けていることから、基本方針を「施設総量適正化」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・建築から36年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・世帯数や居住区域、建物の構造等は、今後も変化していくため、防災施設の数や配置は、継続的に見直す必要があります。

### ⑤今後10年間の管理に関する基本方針

- ・余剰の消防施設と位置付けられ、政策優先度も低いことから、施設の対策手法を「除却」とし、早期除却に向けた検討を進めていきます。

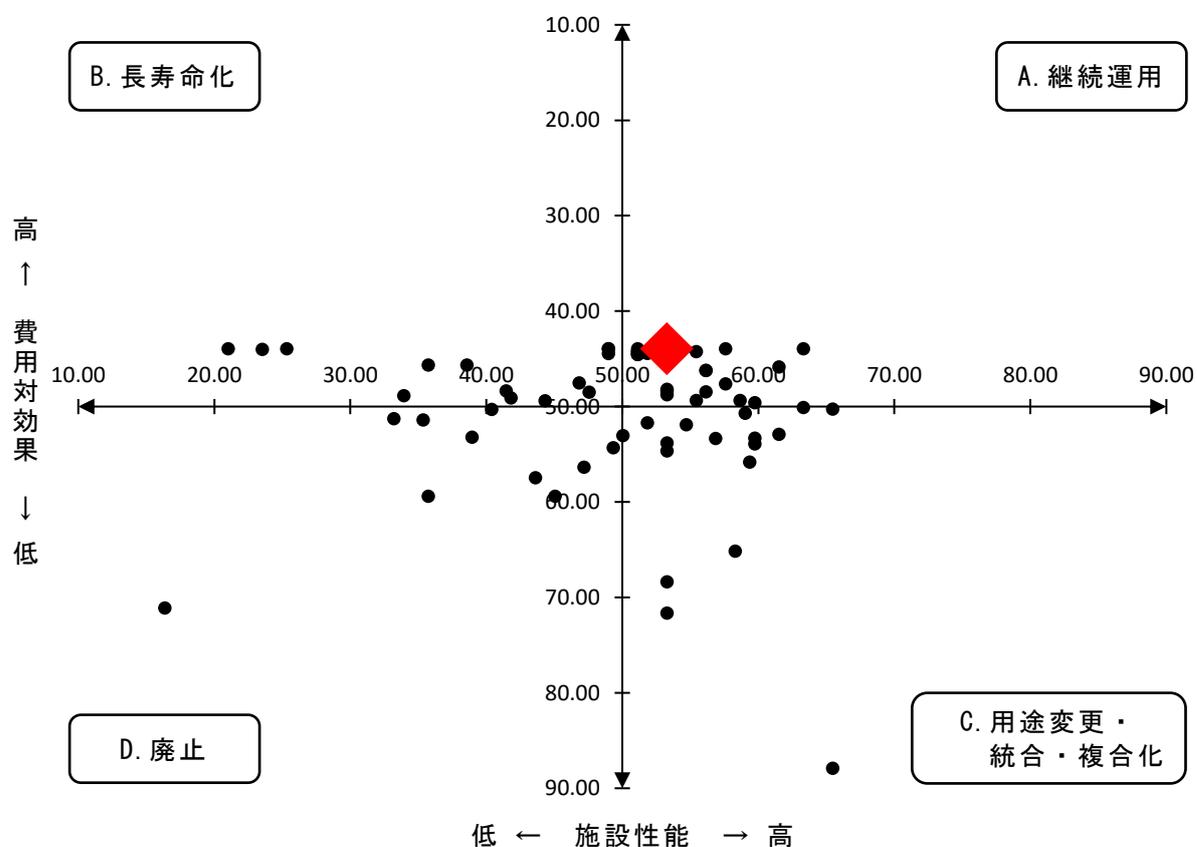
## 49 大蕨除雪車格納庫

### ①施設基本概要

所在地	大蕨字中丸 1173-2		
所管課・係	建設課管理用地係		
主要用途	格納庫		
施設類型	公営住宅等	階数	地上1階
建設年度	昭和60(1985)年度	耐用年数	17年
床面積	278.24 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
0円	0円	43.95	54.0	27.0	2.0	53.29



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>維持管理の効率化</li> <li>財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>長寿命化</li> <li>改築</li> <li>一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>集約化</li> <li>複合化</li> <li>用途転用</li> <li>除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・当該施設は、旧大蕨小学校校舎をそのまま移設した木造建築物で、除雪車の格納や、資材の保管に使用しているため、不特定多数の町民が使用することはないため、耐震診断などは実施していません。
- ・現在6台を格納していますが、外に置かざるを得ない台数が10台となっています。

### ⑤今後10年間の管理に関する基本方針

- ・代替え施設が決まるまでは、冬季間の除雪などの維持管理を行います。
- ・また、他の廃校した学校施設を活用できないか検討が必要です。

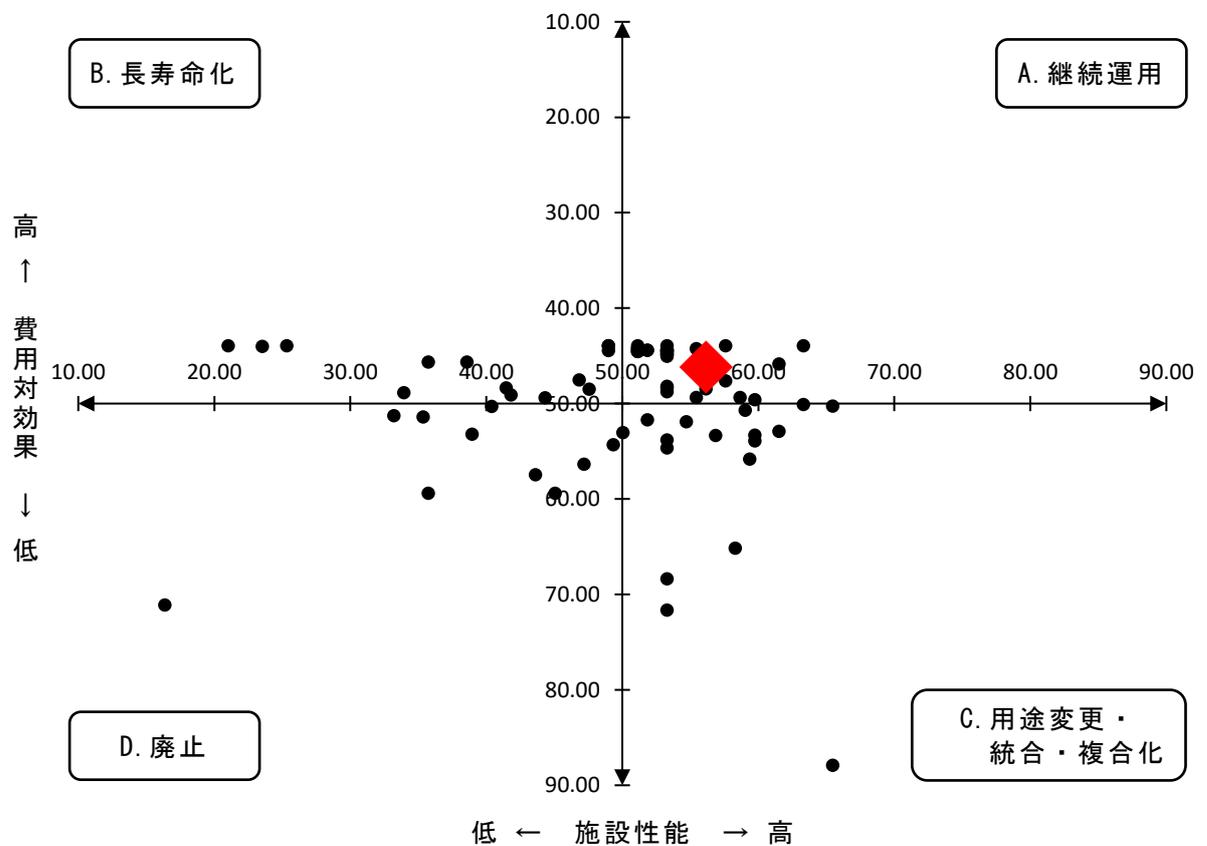
## 50 道路美化資材倉庫

### ①施設基本概要

所在地	山辺町近江 5-117		
所管課・係	建設課道路河川係		
主要用途	資材倉庫（プレハブ）		
施設類型	公営住宅等	階数	地上1階
建設年度	平成23（2011）年度	耐用年数	31年
床面積	16.20 m <sup>2</sup>	構造	鉄骨造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
962円	2,138円	46.20	60.0	27.0	0.0	56.16



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・一次評価は「A. 継続運用」に分類されていますが、この度地元自治会で物置を町補助で購入したことから、そちらを活用することで除却が可能と思われるため、基本方針を「施設総量適正化」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・地元有志の会で緑地帯を管理する道具（草刈機等）を保管したいとの要望に応じて設置した施設です。
- ・プレハブ倉庫のため維持費は掛かっていません。地元有志の会に合鍵を渡し自由に使用している状況です。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・地元自治会及び有志の会と必要性について協議します。
- ・地元自治会等で必要であれば払い下げも含め検討します。

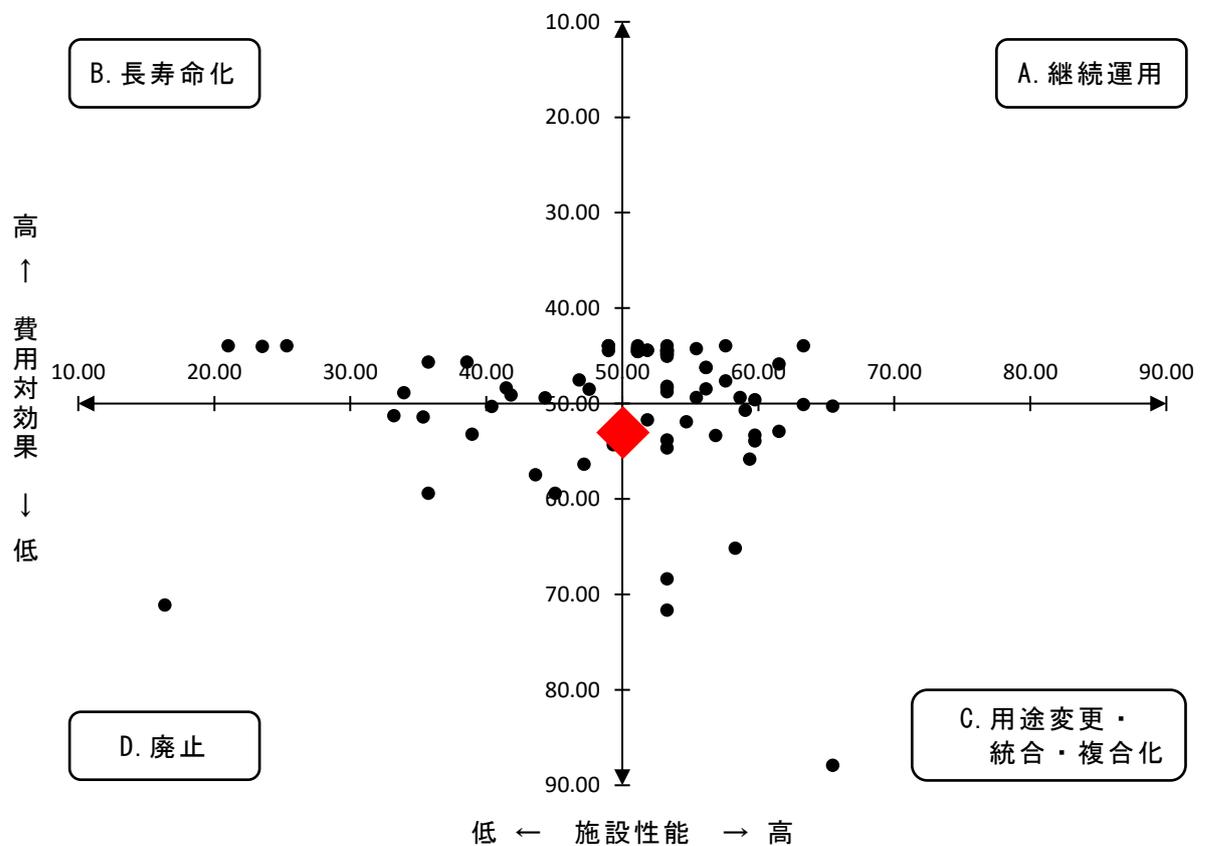
## 51 山辺温泉保養センター

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字大塚 801		
所管課・係	町民生活課生活環境係		
主要用途	温泉施設		
施設類型	産業施設	階数	地上 1 階
建設年度	平成 16 (2004) 年度	耐用年数	47 年
床面積	1,792.00 m <sup>2</sup>	構造	鉄筋コンクリート造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
266 円	44,358 円	53.05	48.0	27.0	3.5	50.06



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>維持管理の効率化</li> <li>財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>長寿命化</li> <li>改築</li> <li>一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>集約化</li> <li>用途転用</li> <li>複合化</li> <li>除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・利用者が多く住民の健康と福祉に寄与する施設です。利用料金及び入湯税は施設運営費に充てられます。指定管理者制度を採用しての施設運営方法や施設機能の向上により利用状況の増加が見込まれるため、基本方針を「建替（更新）・大規模修繕」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・旧棟（休憩棟）は、旧耐震基準下で建築されたため、耐震補強や建て替え、一部改築などの検討が必要です。
- ・施設の老朽化により改修・修繕を必要とする箇所が多くありますが緊急な箇所を優先して実施している状況です。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・施設機能（安全性・機能性・環境面）の偏差値が 50.06 と低くなっておりませんが、住民の健康と福祉に寄与していることと、県内 35 市町村にすべて温泉施設があるという状況下で町の観光面からも存続は必要であると考えます。よって当面は施設の整備手法を「長寿命化」とします。ただし、令和 6（2024）年度以降には大規模改修が必要になってくることを鑑み、PPP・PFI の活用による施設のリニューアル、あるいは、民間譲渡などの対応を視野に入れての存続を検討する必要があります。

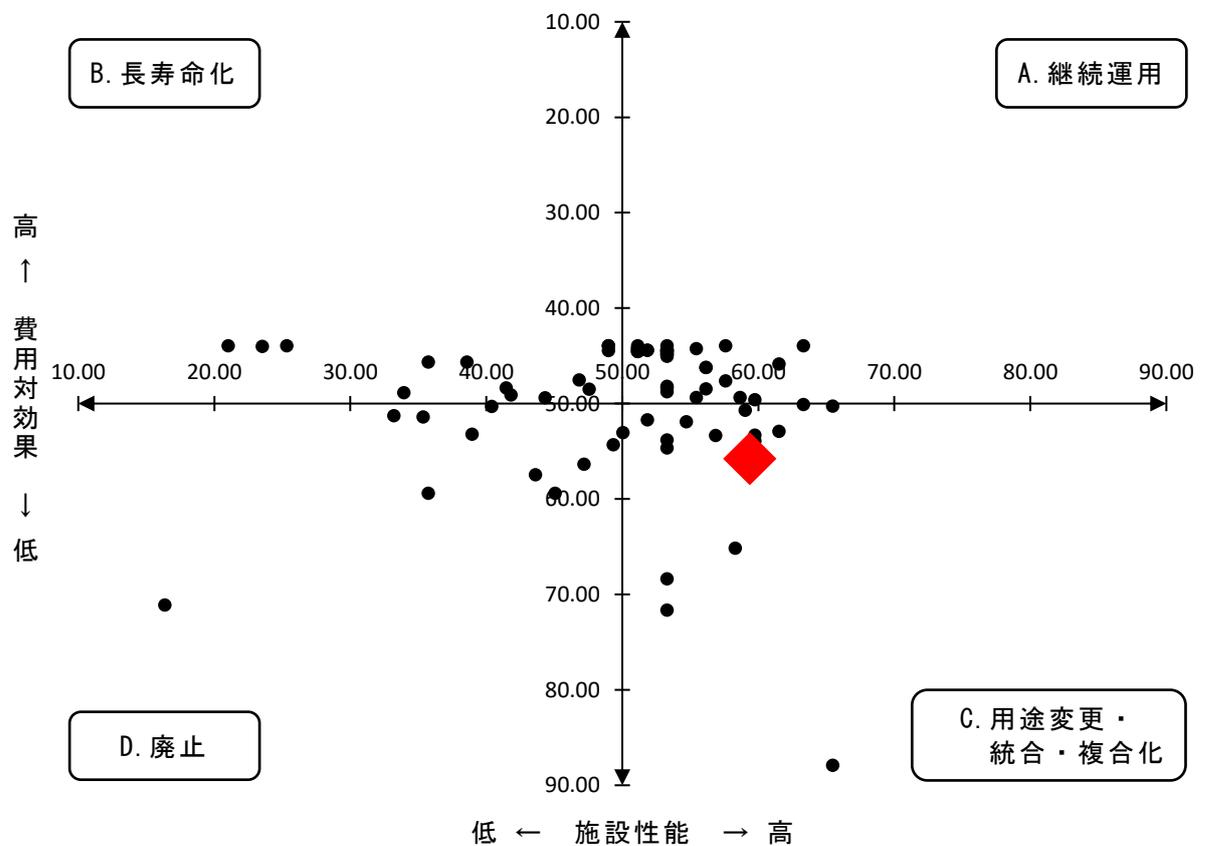
## 52 源長寺沼ふれあい農園／トイレ

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字根際 577		
所管課・係	産業課農村整備係		
主要用途	屋外トイレ		
施設類型	産業施設	階数	地上1階
建設年度	平成18(2006)年度	耐用年数	15年
床面積	13.80 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
171円	59,746円	55.80	60.0	30.0	1.5	59.38



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・整備目的が明確で、目的に合致した利用が継続的に行われています。
- ・広く一般に開放され利用者も多いことから、基本方針を「予防保全的管理」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・建築から14年経過していますが、適切に管理し、施設性能を維持しています。

### ⑤今後10年間の管理に関する基本方針

- ・日常の保全及び定期点検や診断などにより、安全性確保や施設機能の維持に努めます。

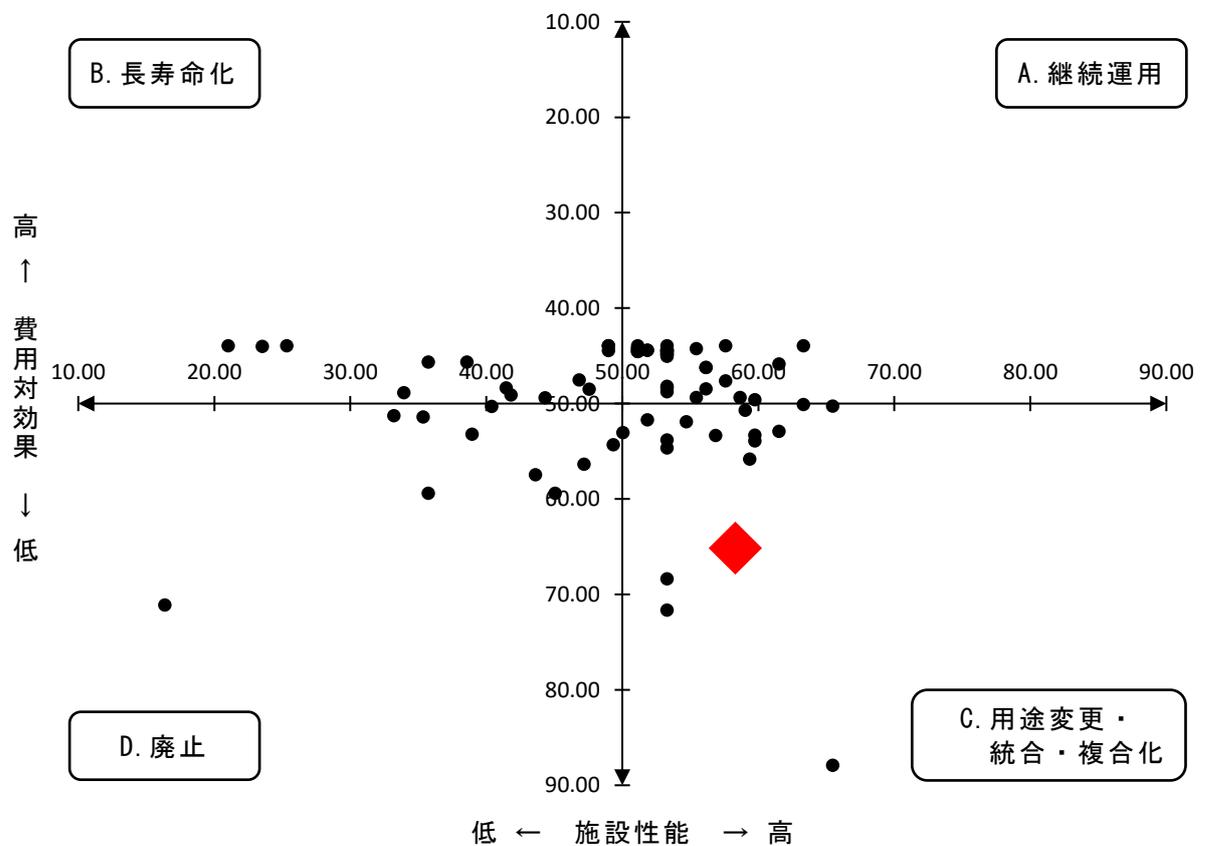
## 53 山辺駅前駐輪場

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字山辺字町浦 1258-9		
所管課・係	町民生活課生活環境係		
主要用途	駐輪場		
施設類型	産業施設	階数	地上1階
建設年度	平成23(2011)年度	耐用年数	31年
床面積	270.00 m <sup>2</sup>	構造	鉄骨鉄筋コンクリート造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
10,165円	7,529円	65.15	60.0	30.0	0.0	58.31



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・羽前山辺駅までの自転車利用者は学生が大半を占めており、町外の高校への通学者は今後も継続して存在することが想定されるため、基本方針を「予防保全的管理」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・施設が設置してから9年が経過していますが、大きな破損箇所は特段認められません。

### ⑤今後10年間の管理に関する基本方針

- ・人が常駐している施設でないため、施設の整備手法を「維持管理の効率化」とします。
- ・年間1台当たり1,000円の利用料を徴収しており、毎年8割強の利用率であることから、継続して「財源の確保」に努めます。

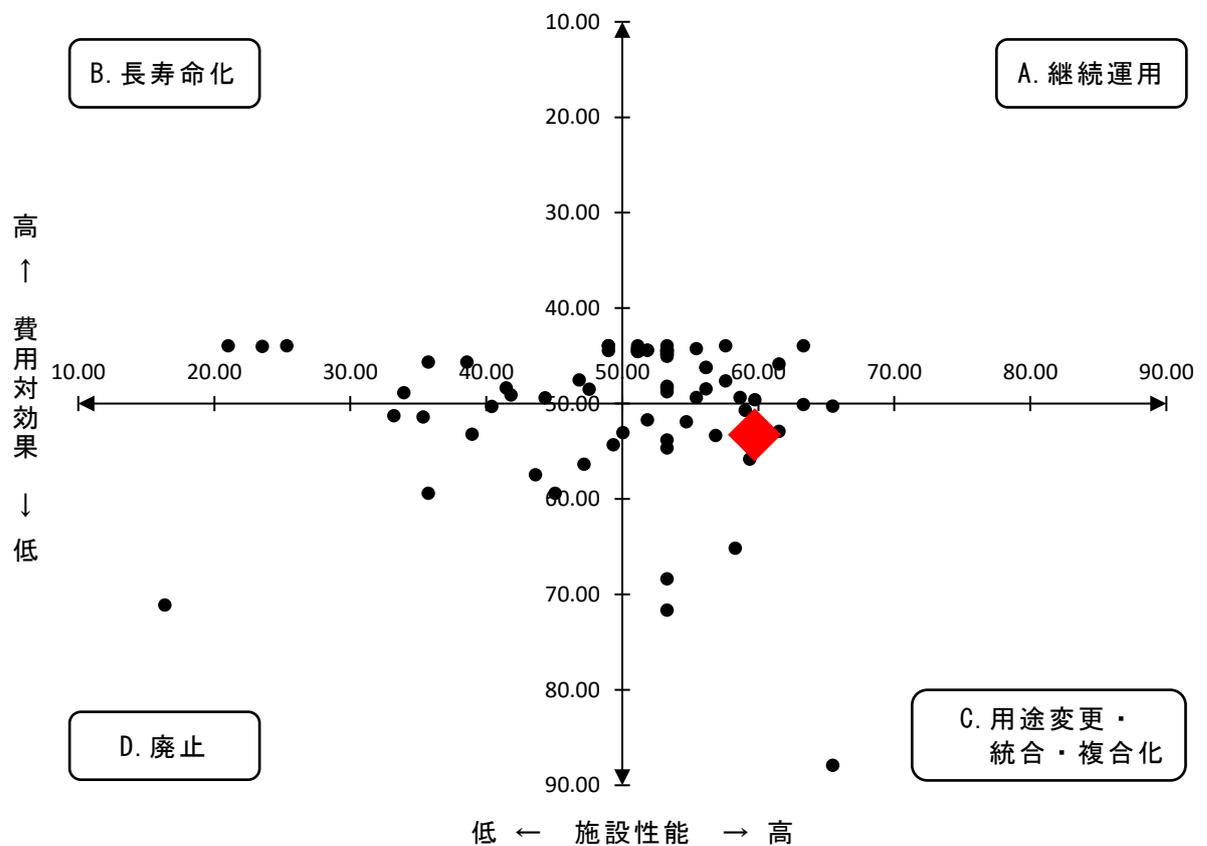
## 54 大蕨地区公衆トイレ

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字大蕨 1164-1		
所管課・係	産業課農村整備係		
主要用途	屋外トイレ		
施設類型	産業施設	階数	地上1階
建設年度	平成26(2014)年度	耐用年数	24年
床面積	11.03 m <sup>2</sup>	構造	軽量鉄骨造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
338円	44,866円	53.30	60.0	30.0	2.0	59.74



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・整備目的が明確で、目的に合致した利用が継続的に行われています。
- ・広く一般に開放され利用者も多いことから、基本方針を「予防保全的管理」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・建築から6年経過していますが、適切に管理し、施設性能を維持しています。

### ⑤今後10年間の管理に関する基本方針

- ・日常の保全及び定期点検や診断などにより、安全性確保や施設機能の維持に努めます。

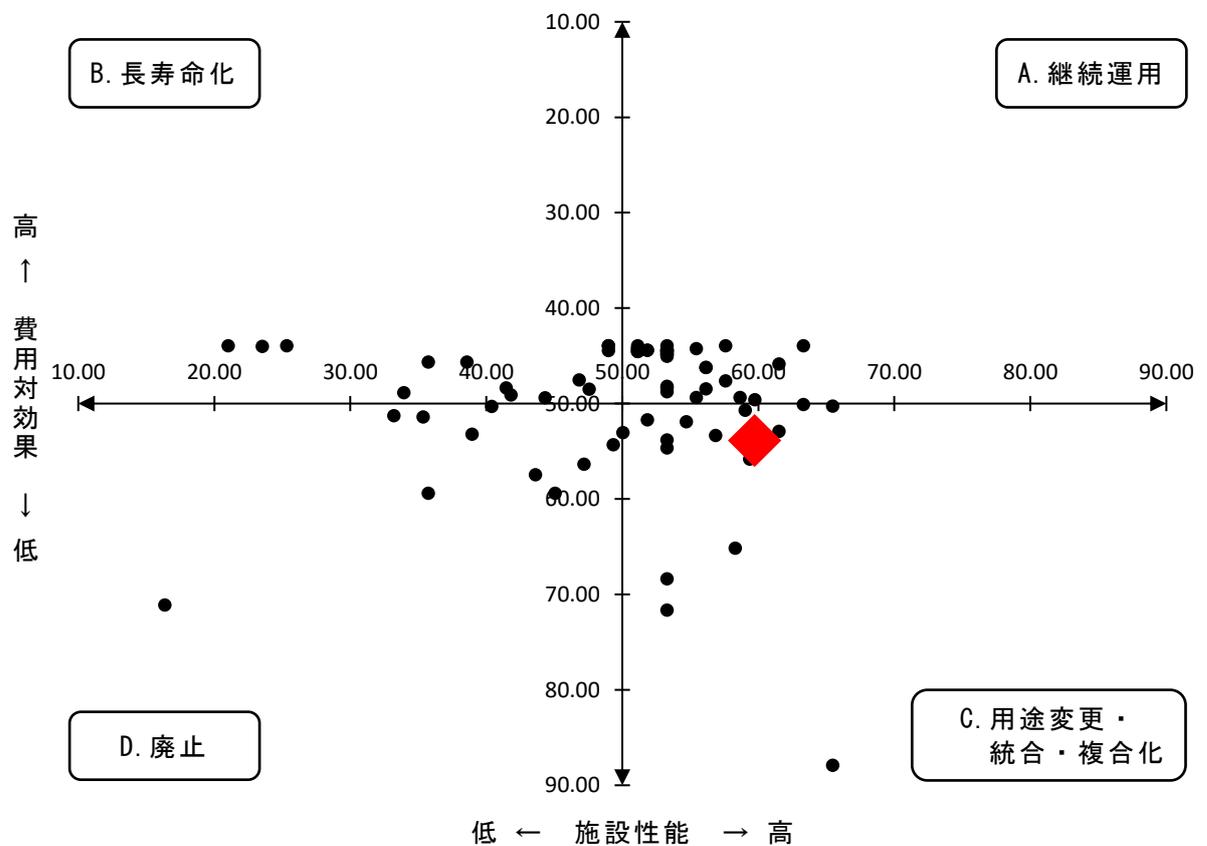
## 55 畑谷地区公衆トイレ

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字畑谷 420-1		
所管課・係	産業課農村整備係		
主要用途	屋外トイレ		
施設類型	産業施設	階数	地上1階
建設年度	平成21(2009)年度	耐用年数	24年
床面積	11.03 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
470円	46,697円	53.90	60.0	30.0	2.0	59.74



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・用途転用</li> <li>・複合化</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・整備目的が明確で、目的に合致した利用が継続的に行われています。
- ・広く一般に開放され利用者も多いことから、基本方針を「予防保全的管理」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・建築から11年経過していますが、適切に管理し、施設性能を維持しています。

### ⑤今後10年間の管理に関する基本方針

- ・日常の保全及び定期点検や診断などにより、安全性確保や施設機能の維持に努めます。

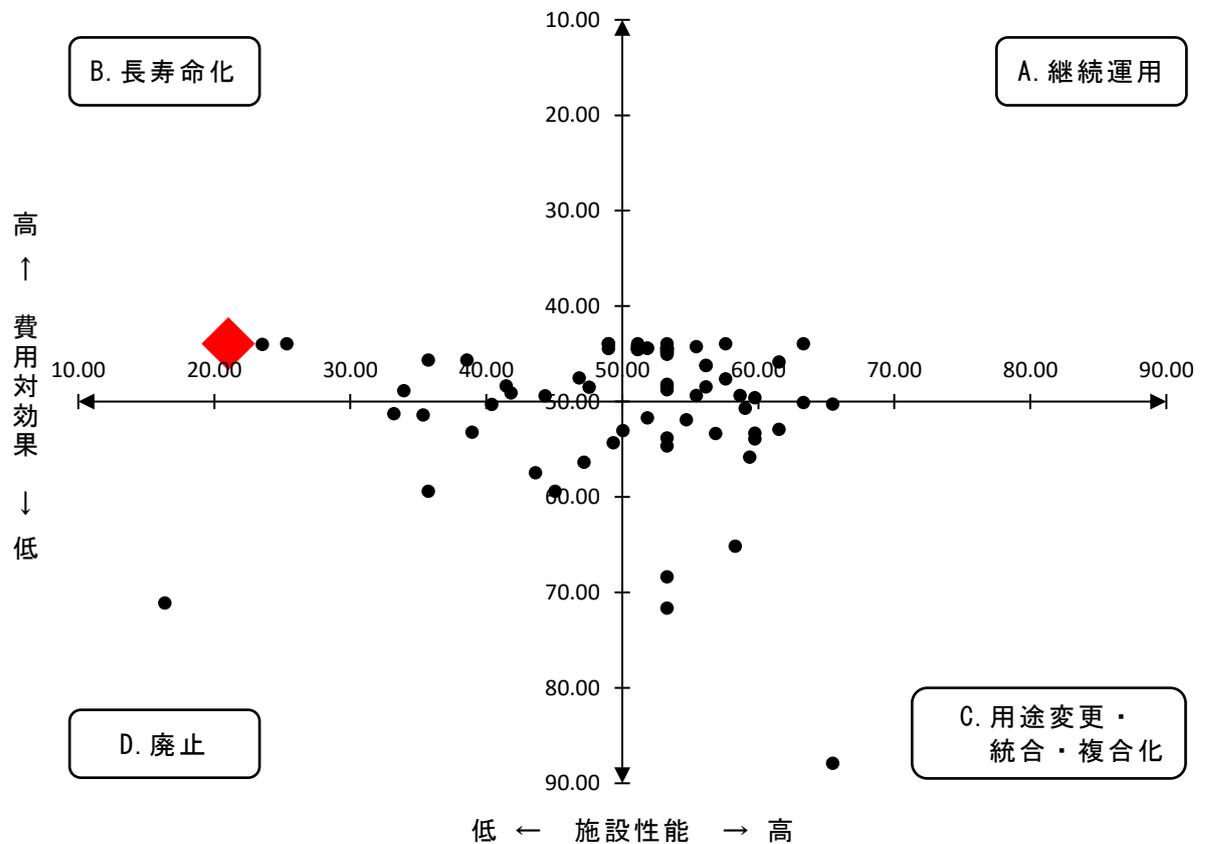
## 56 旧畑谷ファミリーランド

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字畑谷 2069		
所管課・係	総務課財産管理係		
主要用途	行政施設		
施設類型	行政施設	階数	地上2階
建設年度	昭和62(1987)年度	耐用年数	24年
床面積	307.72 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
0円	0円	43.95	24.0	12.0	2.0	21.03



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・維持管理経費が掛からないため、費用対効果が高く長寿命化と一次評価されていますが、行政財産としての用途が見込めないことから、基本方針を「施設総量適正化」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・昭和 62（1987）年度の建築から 33 年が経過しており施設の老朽化が進んでいます。
- ・施設の老朽化により改修・修繕を必要とする箇所が多くありますが、未使用の状態が続いているため、対応しておりません。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・施設性能の偏差値が低く、耐震性能を満たしていないこと、また今後も行政財産としての用途が見込めないことから除却を検討します。

## 57 野営場林間休養施設／トイレ

### 施設基本概要

所在地	山辺町大字大蔵 3197-17		
所管課・係	産業課商工観光係		
主要用途	屋外トイレ		
施設類型	産業施設	階数	地上1階
建設年度	平成7(1995)年度	耐用年数	38年
床面積	13.00 m <sup>2</sup>	構造	鉄筋コンクリート造

※ 本施設は、平成30(2018)年度に閉鎖しています。

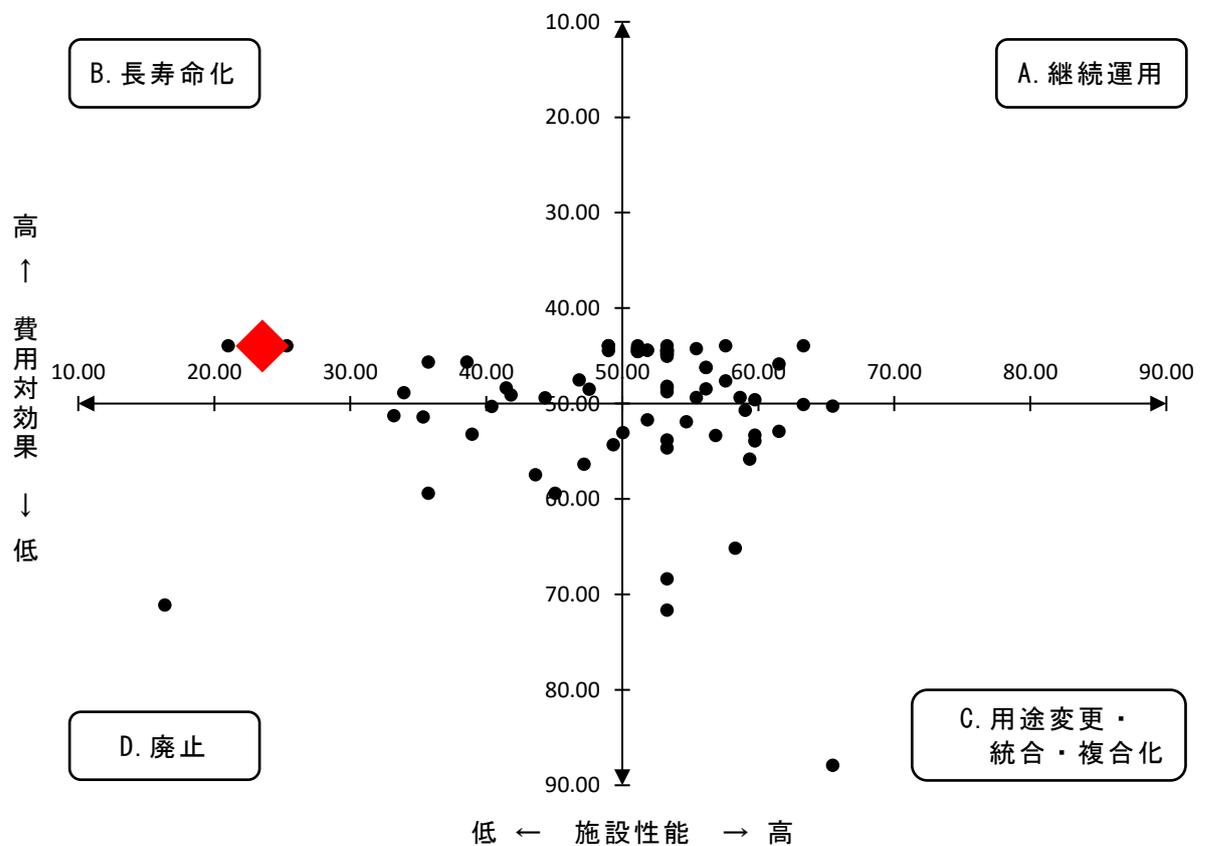
## 58 旧庁舎／車庫等

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字山辺 30 番地		
所管課・係	総務課財産管理係		
主要用途	車庫・トイレ・倉庫		
施設類型	行政施設	階数	地上 1 階
建設年度	昭和 30 (1955) 年度	耐用年数	17 年
床面積	66.00 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
11 円	328 円	44.00	24.0	16.5	1.0	23.54



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・維持管理経費が掛からないため、費用対効果が高く長寿命化と一次評価されていますが、必要最低限の維持管理を行うことにより施設性能は長期間維持されると考えられますので、基本方針を「予防保全的管理」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・昭和 32（1957）年度の建築から 62 年が経過しており施設の老朽化が進んでいます。
- ・平成 12（2000）年度に旧役場庁舎は解体しましたが、付属施設である車庫・トイレ・倉庫については継続利用しており、現在に至っています。
- ・旧役場跡地としては、平成 13（2001）年度に跡地利用検討委員会より「歴史公園」としての利用が答申されていますが、財政状況を鑑みて先送りされています。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・老朽化が進んでいますが、人が常駐している施設ではないため、施設の整備手法を「維持管理の効率化」とします。

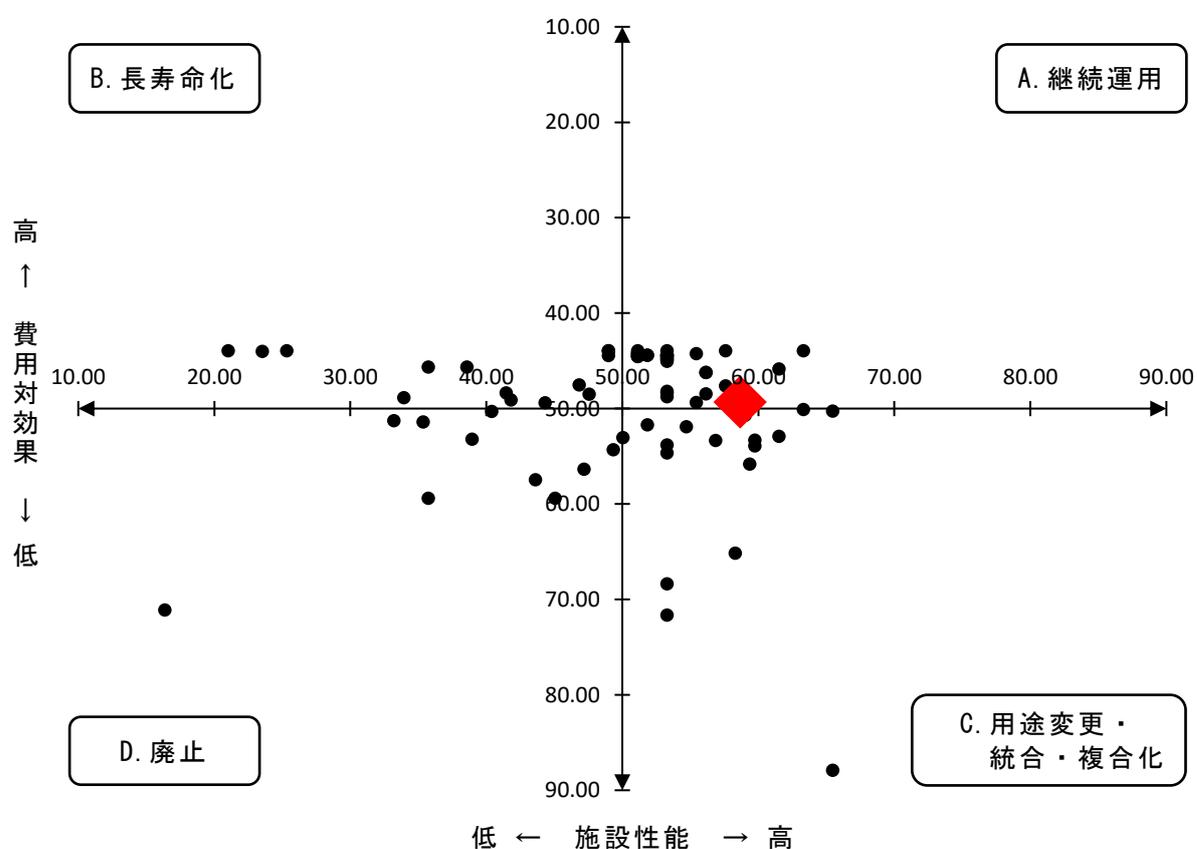
## 59 山辺町役場庁舎

### ①施設基本概要

所在地	山辺町緑ヶ丘 5		
所管課・係	総務課財産管理係		
主要用途	役場事務所		
施設類型	行政施設	階数	地上 3 階
建設年度	平成 11 (1999) 年度	耐用年数	50 年
床面積	5,508.29 m <sup>2</sup>	構造	鉄筋コンクリート造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
1,488 円	12,974 円	49.35	57.0	25.5	8.0	58.67



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・平成 11（1999）年度の建築から 20 年が経過しており施設の老朽化が進んでいます。
- ・毎年実施している機械設備や電気設備等の定期点検において機器の破損や劣化が指摘された場合においては、適宜修繕を行っています。
- ・令和元（2019）年度に、本会議場を除いた庁舎照明をリース方式による LED へ更新しました。
- ・修繕や更新に伴い、当該施設の維持管理に係るコストは年々増加しています。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・日常の保全や定期点検、及び劣化損傷状況の調査などにより、庁舎の安全性確保や施設機能の長期的な維持に努めます。
- ・施設の損傷が軽微である早期段階から機能・性能の保持・回復を図るための修繕等を行うことにより、事故の発生を未然に防ぐとともに、ライフサイクルコストの低減を図ります。

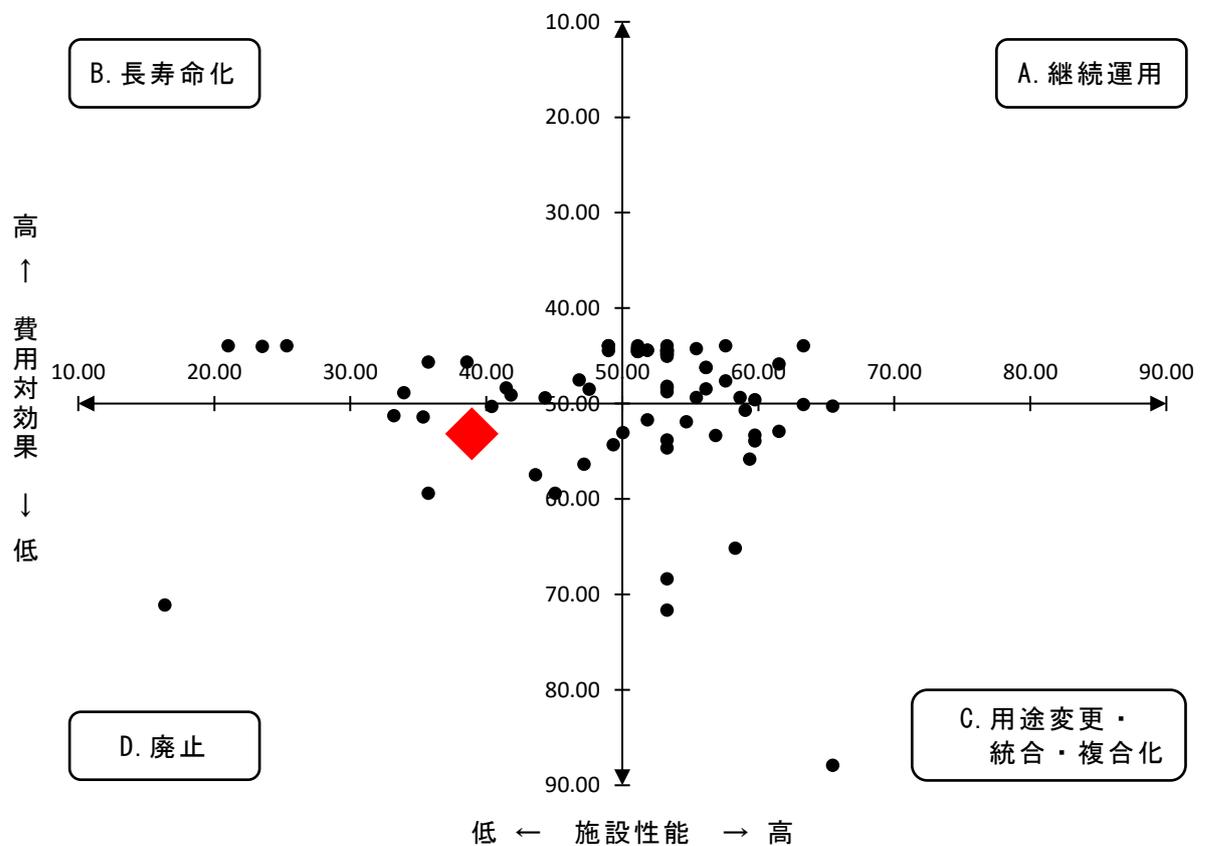
## 60 中支所 中地区農村集落共同利用施設

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字大蔵 1164-1		
所管課・係	総務課中支所		
主要用途	行政施設		
施設類型	行政施設	階数	地上2階
建設年度	昭和61(1986)年度	耐用年数	47年
床面積	715.41 m <sup>2</sup>	構造	鉄筋コンクリート造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
3,274円	15,033円	53.20	42.0	19.5	1.5	38.95



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>維持管理の効率化</li> <li>財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>長寿命化</li> <li>改築</li> <li>一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>集約化</li> <li>用途転用</li> <li>複合化</li> <li>除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- 支所機能及び地域行事の拠点としての機能が期待される施設であり、周辺に類似機能を期待できる施設がないうえ、災害時の避難施設に指定されていることから、基本方針を「予防保全的管理」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- 昭和 61（1986）年度に建築されており、施設の老朽化が見られ、内壁及び外壁のひび割れ、ホールの扉の腐食、排煙窓の故障、屋根の錆びなどが見受けられます。なお、令和 2（2020）年度において暖房用ボイラーの修繕工事を行っております。
- 地域住民の人口減少により、年々利用件数・利用者数も減ってきており、平成 30（2018）年度は 176 件 3,285 人の利用者数、令和元（2019）年度は 92 件 2,098 人の利用者数です。
- 地域の中核的な避難場所として指定され、太陽光発電・蓄電システムが整備されています。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- 現時点では、建て替えや大規模修繕の予定はなく、今後は予防保全的な修繕等により、施設の長期的な運用を図っていきます。給排水設備、電気設備等については、今後計画的に改修を行い、日常の保全及び定期点検等により、安全性確保や施設機能の維持に努めます。
- 今後の人口減少に伴う効率的かつ効果的な施設運用、施設利用の潜在的需要や利用実績、利用率等の調査等を行いながら、次回の大規模修繕の時期なども考慮し、支所機能のあり方を検討します。

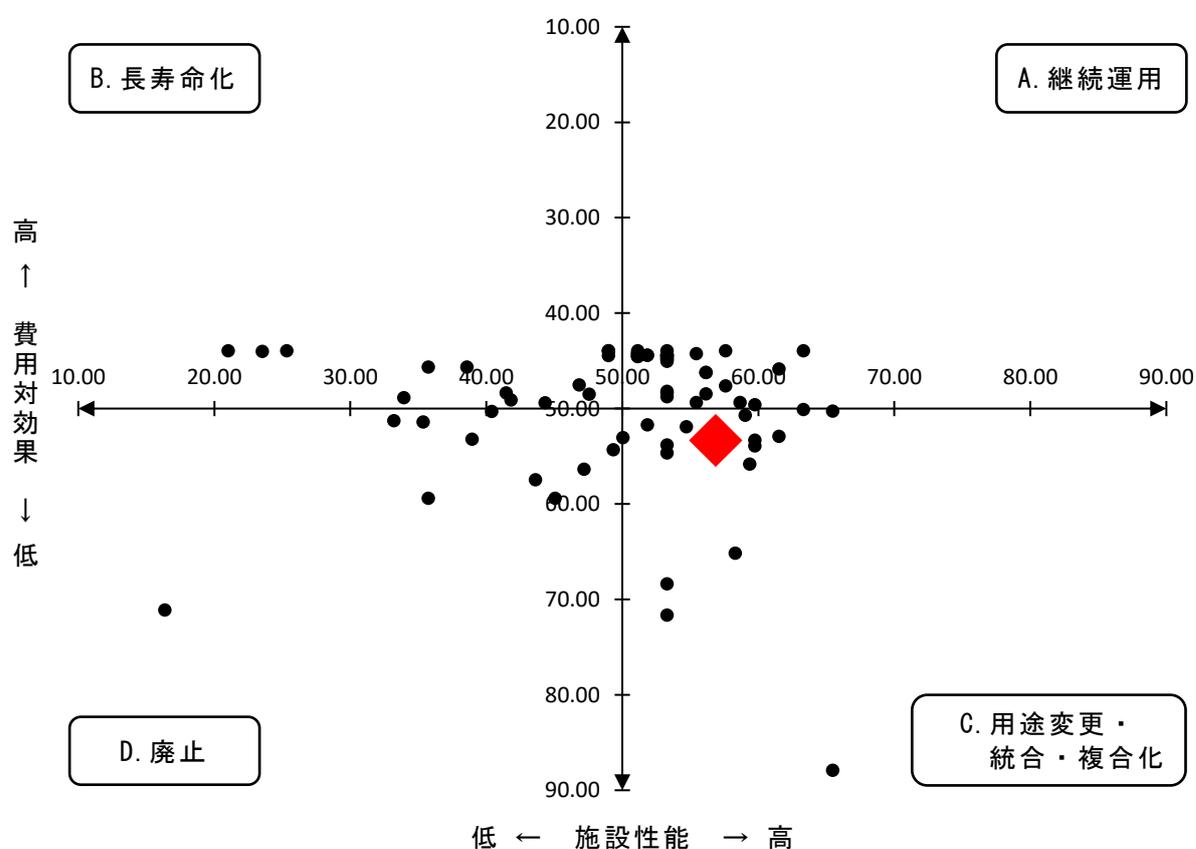
## 61 作谷沢支所 作谷沢活性化施設

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字築沢 3102-1		
所管課・係	総務課作谷沢支所		
主要用途	支所兼公民館施設		
施設類型	行政施設	階数	地上2階
建設年度	平成7(1995)年度	耐用年数	47年
床面積	696.55 m <sup>2</sup>	構造	鉄筋コンクリート造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
2,830円	20,127円	53.35	57.0	30.0	1.0	56.87



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・支所機能及び地域行事の拠点としての機能が期待される施設であり、周辺に類似機能を期待できる施設がないうえ、災害時の避難施設に指定されていることから、基本方針を「予防保全的管理」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・平成6（1994）年度建設から25年以上経過し、外壁にはひび割れの見える箇所があります。また屋根や外構の劣化も見られます。照明器具については水銀灯など設計当時のままであり、維持管理にかかるコスト、部品交換の際の在庫の問題及び交換を請け負う業者のノウハウ等、懸念が残ります。
- ・当該施設は適切な管理の下に適宜修繕を行っているものの、毎年実施している点検において消防設備用リレーの不具合や避難誘導器具の劣化が指摘されています。また、浄化槽内ポンプの交換の必要が認められます。
- ・当該施設は災害時の指定避難場所に指定されております。
- ・高齢化の進展等により、トイレの洋式化が求められます。

### ⑤今後10年間の管理に関する基本方針

- ・現時点では更新または大規模改修の予定はなく、予防的な修繕等により長期的な運用を図っていきます。また、日常の保全及び定期点検等により、安全性確保や施設機能の維持に努めます。
- ・今後の人口減少に伴う効率的かつ効果的な施設運用、施設利用の潜在的需要や利用実績、利用率等の調査等を行いながら、次回の大規模修繕の時期なども考慮し、支所機能のあり方を検討します。

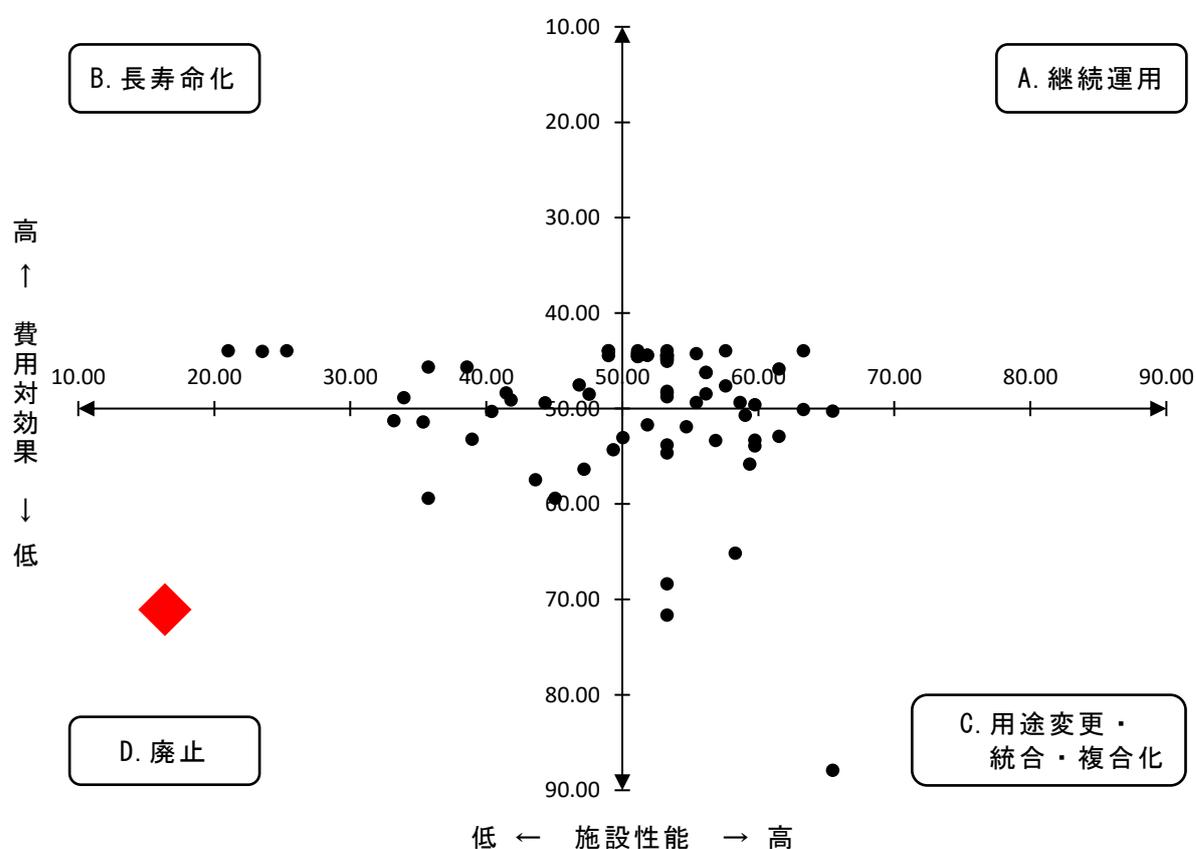
## 62 行政資料・文化財保管庫

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字山辺 2834-2		
所管課・係	総務課財産管理係		
主要用途	倉庫		
施設類型	行政施設	階数	地上2階
建設年度	昭和55(1980)年度	耐用年数	38年
床面積	478.18 m <sup>2</sup>	構造	鉄筋コンクリート造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
13,956円	233円	71.10	27.0	4.5	0.0	16.37



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・用途転用</li> </ul>
D. 廃止			<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合化</li> <li>・除却</li> </ul>

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・「費用対効果」、「施設性能」ともに偏差値が低くなっていますが、行政資料や文化財の保管について、他施設において保存容量が無く代替性を持たないことから、基本方針を「予防保全的管理」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・昭和 55（1980）年度の建築から 40 年が経過しており施設の老朽化が進んでいます。
- ・平成 19（2007）年度に行政資料の保管機能を追加するため、スチールシャッター設置等の危機管理対応工事を実施しています。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・老朽化が進んでいますが、人が常駐している施設ではないため、施設の整備手法を「維持管理の効率化」とします。

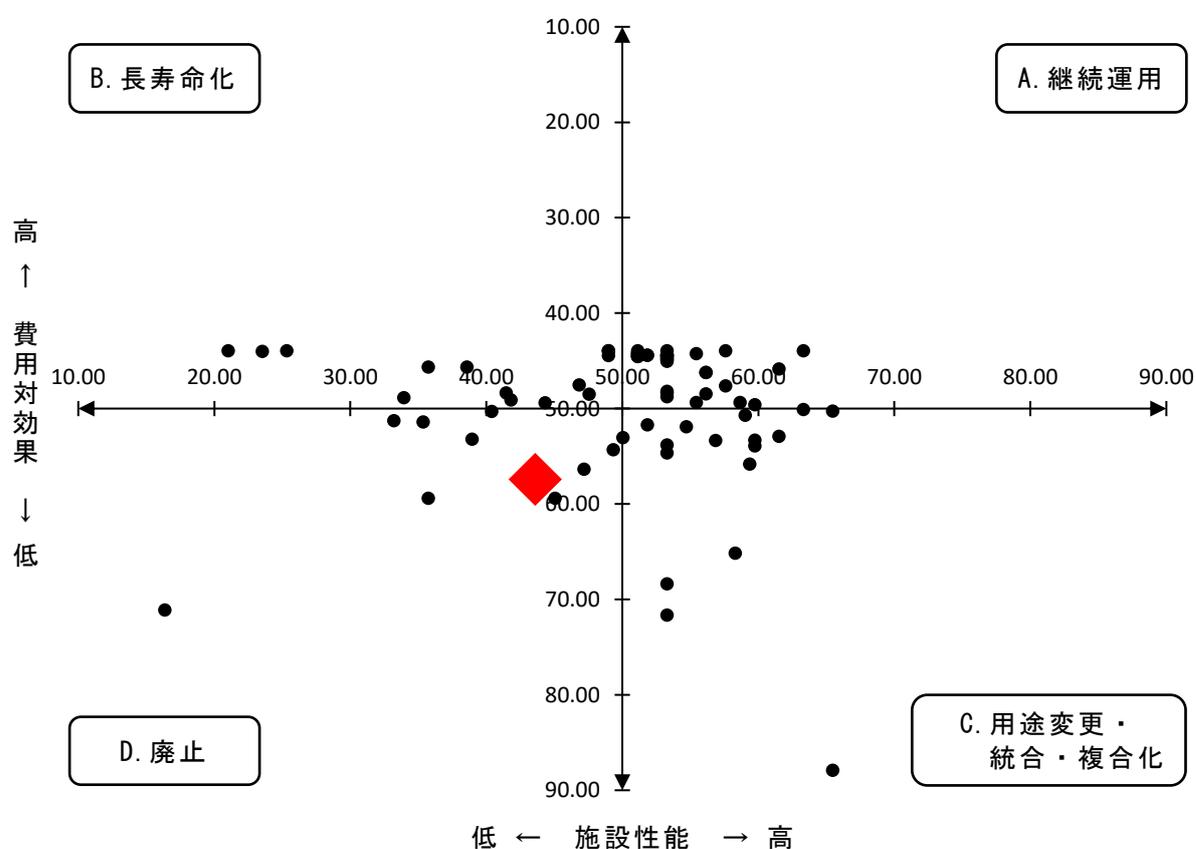
## 63 旧大寺小学校

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字大寺 1150		
所管課・係	総務課財産管理係		
主要用途	行政施設		
施設類型	行政施設	階数	地上3階
建設年度	平成6(1994)年度	耐用年数	47年
床面積	3,655.00 m <sup>2</sup>	構造	鉄筋コンクリート造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
6,298円	6,289円	57.45	45.0	18.0	6.5	43.61



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・平成6（1994）年度の建築から26年が経過しており施設の老朽化が進んでいます。
- ・令和元（2019）年度に学校統廃合により閉校し、学校施設としての用途を廃止したことを受け、普通財産として管理を行っています。
- ・当該施設は災害時の指定避難所に指定されています。
- ・体育館はスポーツ少年団等において頻繁に使用しており、施設利用の需要が高いと考えられます。
- ・施設の老朽化により改修・修繕を必要とする箇所が多くありますが、必要最低限の修繕を行っている状況です。
- ・屋根材を押さえる部材の剥がれや、外壁のひび割れが見られる箇所があり、一部の空調室外機の取り付け部には変形・腐食が認められます。

### ⑤今後10年間の管理に関する基本方針

- ・「施設性能」、「費用対効果」とともに偏差値が低くなっているものの、築年数は26年で耐用年数（47年）を経過しておらず、財産価値は高いと言えます。しかしながら、行政財産としての用途が見込めないため、地域住民や各種団体の意向を取り入れつつ、官民間の対話や提案を積極的に実施することを念頭に置きながら、貸与や譲渡、または除却等の処分方法を検討します。

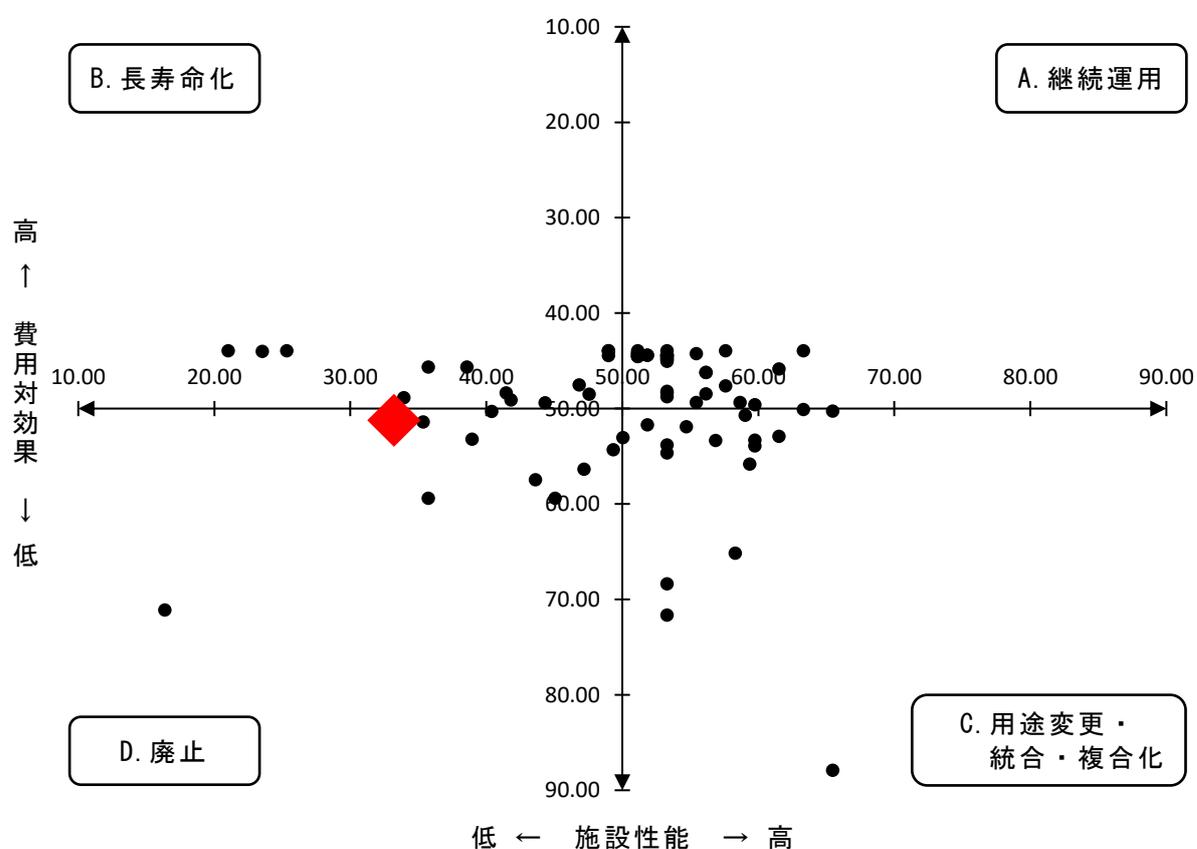
## 64 作谷沢小中学校

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字築沢 636		
所管課・係	教育課総務係		
主要用途	小中学校		
施設類型	学校施設	階数	地上3階
建設年度	昭和62(1987)年度	耐用年数	47年
床面積	4,718.00 m <sup>2</sup>	構造	鉄筋コンクリート造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
3,164円	5,902円	51.25	33.0	21.0	1.0	33.22



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・令和3（2021）年4月1日より教育財産から普通財産に変更となるため、物品等の処分整理を早急に行う必要があります。
- ・建築より34年が経過していることから、経年劣化による破損等が見られ修繕等が年々多くなっています。

### ⑤今後10年間の管理に関する基本方針

- ・閉校後の施設の利活用について、地域住民を含めた形で協議・検討を行ない方向性を確認・決定後に、適正な維持管理等を行っていく。

## 65 防災放送システム

### ①施設基本概要

所在地	—		
所管課・係	防災対策課危機管理係		
主要用途			
施設類型	防災施設	階数	—
建設年度	平成 22 (2010) 年度	耐用年数	30 年
床面積	— m <sup>2</sup>	構造	—

※ 従来より、継続運用を前提として外部専門業者による定期的な点検・診断などにより状況把握を行いながら既に予防保全的な管理を行っています。

### ②施設の現状と課題

- ・施設整備から 10 年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・居住区域、住宅の構造等により建物内での防災放送の聞き取りについては、今後も変化していくため、施設の更新や追加配置のほか、全国的に主流となっている無線配信への切り替えや、家屋内での情報受信を可能とする個別受信機の導入なども含め、見直しを検討する必要があります。

### ③今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・防災放送システム全体の見直しを検討しつつ、施設の機能を維持できるように設備更新などを計画的に実施することで、長寿命化と機能維持を図ります。

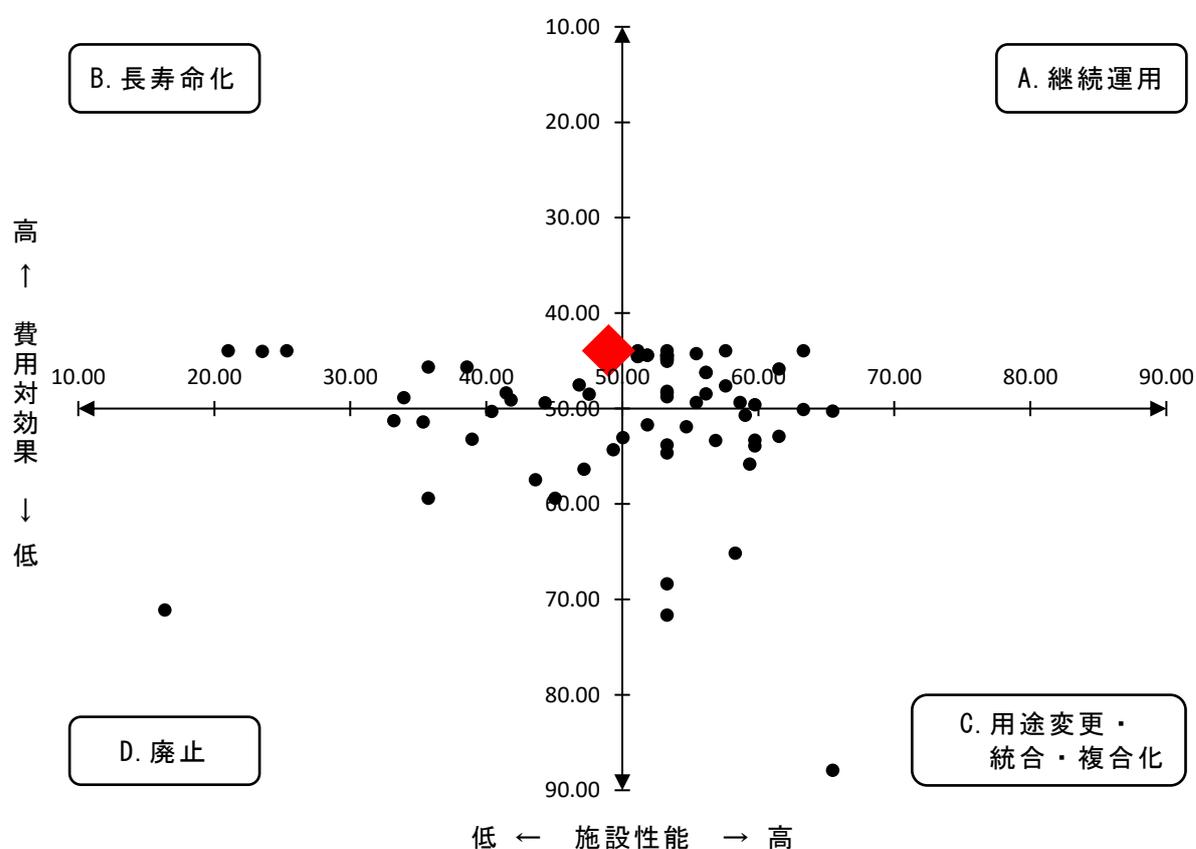
## 66 愛宕山森林公園／展望台

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字山辺字愛宕山		
所管課・係	産業課農政係		
主要用途	公園		
施設類型	公園	階数	地上1階
建設年度	平成8(1996)年度	耐用年数	15年
床面積	9.00 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
0円	0円	43.95	48.0	27.0	2.0	48.99



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・整備目的が明確で、目的に合致した利用が継続的に行われているため、基本方針を「予防保全的管理」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・建築から24年経過していますが、適切に管理し、施設性能を維持しています。

### ⑤今後10年間の管理に関する基本方針

- ・日常の保全及び定期点検や診断などにより、安全性確保や施設機能の維持に努めます。
- ・老朽化の進行状況により、大規模な修繕が必要な場合は「除却」を検討します。

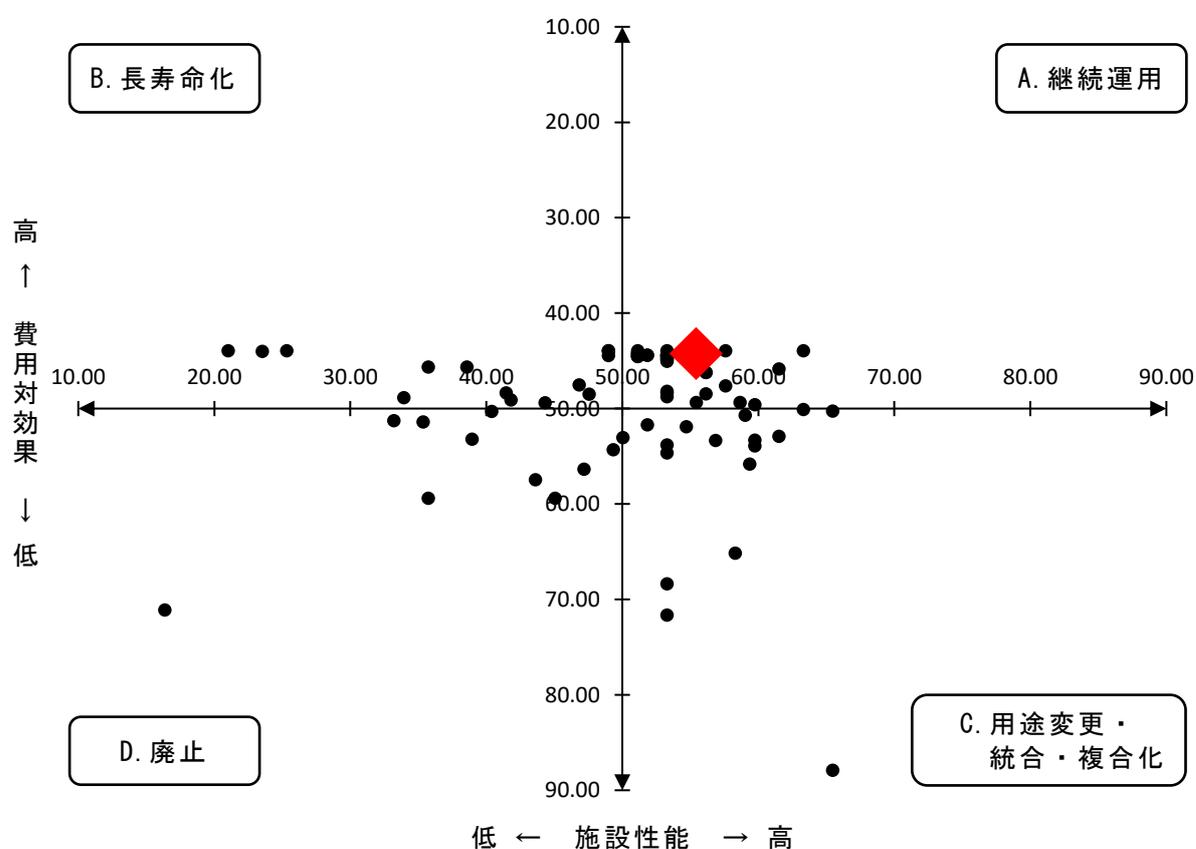
## 67 玉虫森林公園／四阿

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字大蔵 3197-19		
所管課・係	産業課農政係		
主要用途	公園		
施設類型	公園	階数	地上1階
建設年度	平成6(1994)年度	耐用年数	15年
床面積	9.00 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
75円	666円	44.25	57.0	27.0	2.0	55.44



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・ 建築から 26 年経過していますが、適切に管理し、施設性能を維持しています。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 日常の保全及び定期点検や診断などにより、安全性確保や施設機能の維持に努めます。
- ・ 老朽化の進行状況により、大規模な修繕が必要な場合は「除却」を検討します。

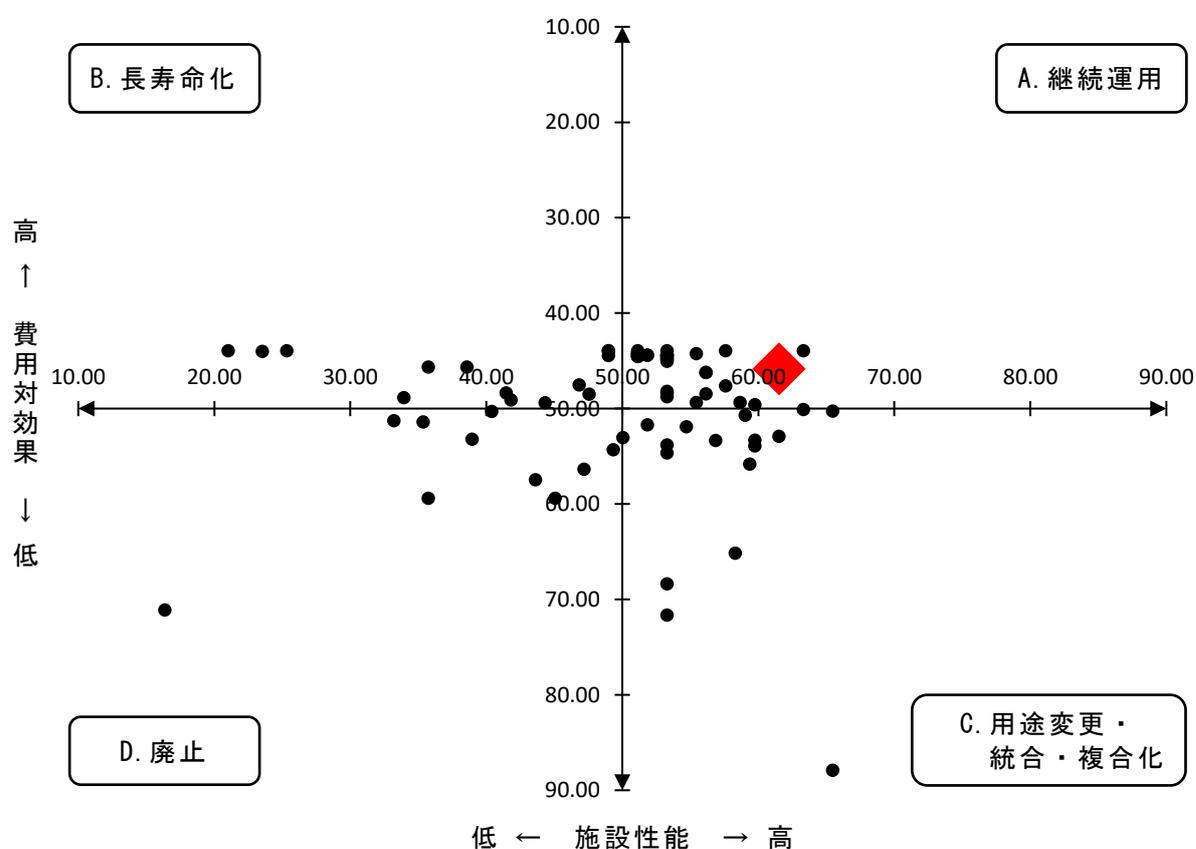
## 68 緑ヶ丘農村公園／便所等

### ①施設基本概要

所在地	山辺町緑ヶ丘 5		
所管課・係	総務課財産管理係		
主要用途	公園		
施設類型	公園	階数	地上 1 階
建設年度	平成 12 (2000) 年度	耐用年数	15 年
床面積	54.00 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
125 円	8,478 円	45.85	60.0	28.5	6.0	61.53



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>維持管理の効率化</li> <li>財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修</li> <li>長寿命化</li> <li>改築</li> <li>一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>集約化</li> <li>複合化</li> <li>用途転用</li> <li>除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・平成 12（2000）年度の建築から 20 年が経過しており施設の老朽化が進んでいます。
- ・毎年 12 月から 3 月までの冬期間はトイレを閉鎖しています。
- ・噴水の稼働は、光熱水費の削減のため平成 16（2004）年度から稼働期間を縮小し、平成 28（2016）年度から全面的に稼働停止しています。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・日常の保全及び定期点検等により、施設の安全性確保や施設機能の長期的な維持に努めます。
- ・施設の損傷が軽微である早期段階から機能・性能の保持・回復を図るための修繕等を行うことにより、事故の発生を未然に防ぐとともに、ライフサイクルコストの低減を図ります。

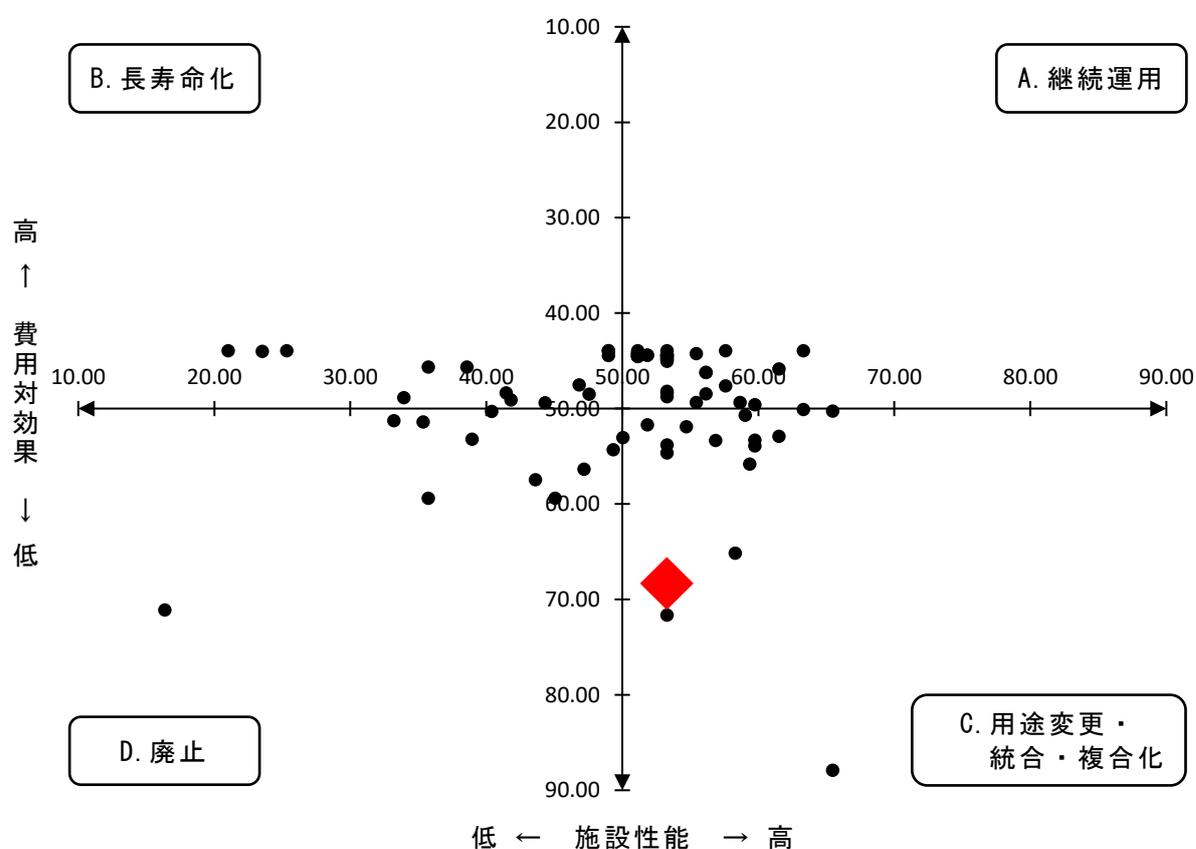
## 69 玉虫沼農村公園／管理棟等

### ①施設基本概要

所在地	山形市大字滝平字八森 1266-2		
所管課・係	産業課農村整備係		
主要用途			
施設類型	公園	階数	地上2階
建設年度	平成10(1996)年度	耐用年数	24年
床面積	183.78 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
1,279円	113,400円	68.35	57.0	24.0	2.0	53.29



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・整備目的が明確で、目的に合致した利用が継続的に行われています。
- ・町内に類似施設が無く、希少性が高いため、基本方針を「予防保全的管理」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・建築から 22 年経過していますが、雪によるデッキの損傷等は適宜修繕し、施設性能を維持しています。
- ・ペンキ塗り直し等、適宜長寿命化対策を行っています。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・日常の保全及び定期点検や診断などにより、安全性確保や施設機能の維持に努めます。
- ・ラベンダーの生育には厳しい状況にあることから、令和 3 年度は休園し、ラベンダーに替わる植物や植栽地の再整備等の情報収集に努め、今後の方向性を検討します。
- ・土地改良財産管理譲与契約により、用途指定期間中（令和 6 年 3 月 31 日まで）は財産の管理を県から委託されていますが、費用対効果の低さを踏まえ、その後は民間譲渡などの対応を視野に入れます。

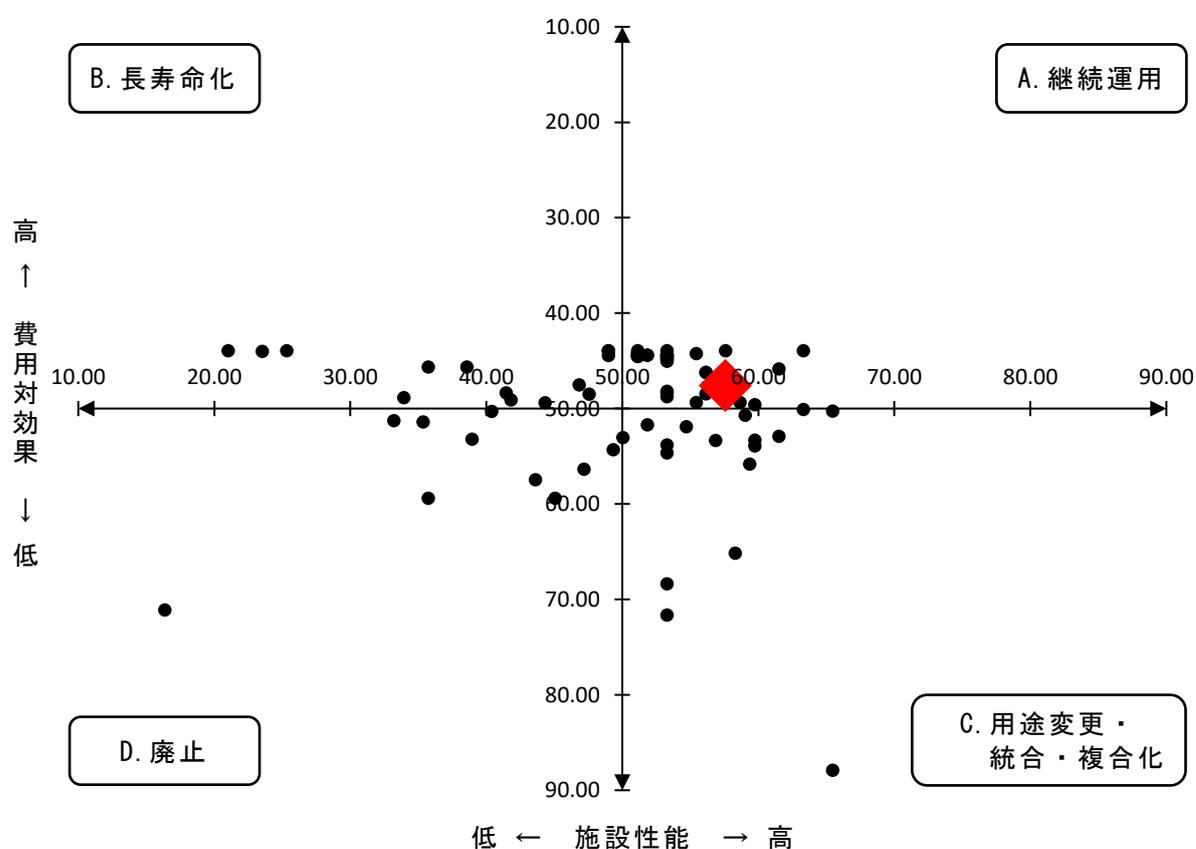
## 70 玉虫沼湖畔公園／トイレ等

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字大蔵 1862		
所管課・係	産業課農村整備係		
主要用途			
施設類型	公園	階数	地上1階
建設年度	平成15(2003)年度	耐用年数	15年
床面積	67.91 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
233円	16,491円	47.60	57.0	30.0	2.0	57.59



③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

④施設の現状と課題

- ・ 建築から 17 年経過していますが、適切に管理し、施設性能を維持しています。

⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 日常の保全及び定期点検や診断などにより、安全性確保や施設機能の維持に努めます。

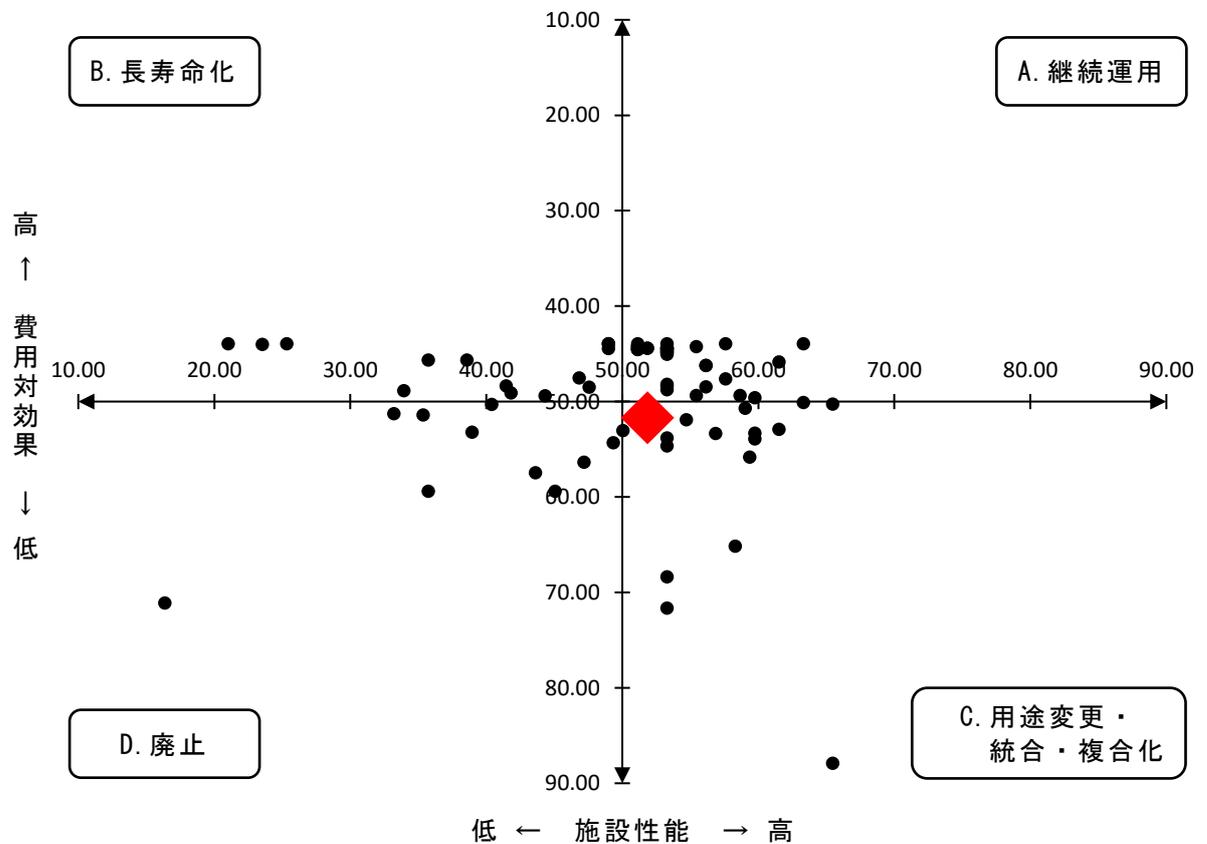
## 71 大塚天神古墳公園／便所等

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字大寺 575		
所管課・係	産業課農村整備係		
主要用途			
施設類型	公園	階数	地上1階
建設年度	平成15(2003)年度	耐用年数	31年
床面積	4.67 m <sup>2</sup>	構造	鉄骨造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
240円	37,614円	51.70	57.0	24.0	0.0	51.86



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・整備目的が明確で、目的に合致した利用が継続的に行われています。
- ・広く一般に開放され利用者も多いことから、基本方針を「予防保全的管理」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・建築から17年経過していますが、適切に管理し、施設性能を維持しています。

### ⑤今後10年間の管理に関する基本方針

- ・日常の保全及び定期点検や診断などにより、安全性確保や施設機能の維持に努めます。

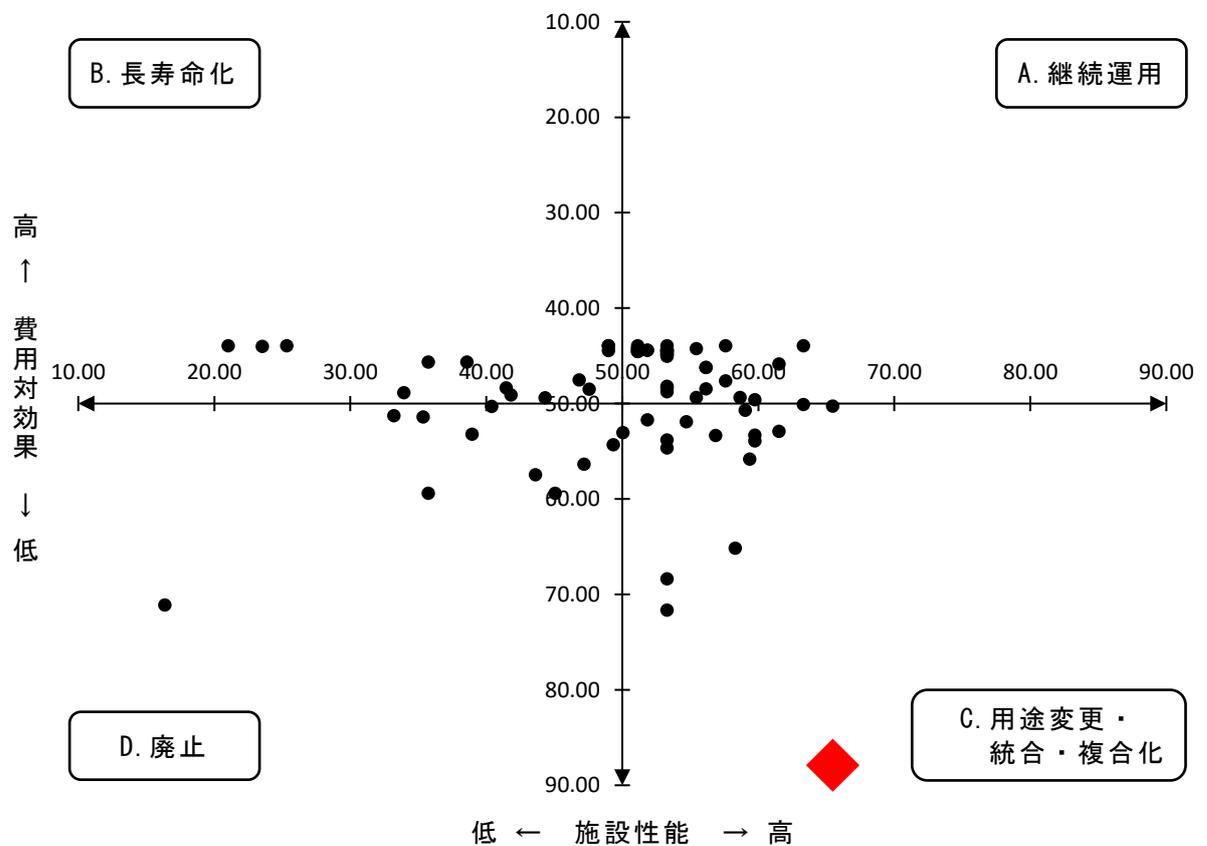
## 72 小島海農村公園／展望台

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字大蔵 3128-1		
所管課・係	産業課農村整備係		
主要用途			
施設類型	公園	階数	地上1階
建設年度	平成10(1996)年度	耐用年数	15年
床面積	22.83 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
7,310円	153,696円	87.90	60.0	30.0	10.0	65.48



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・整備目的が明確で、目的に合致した利用が継続的に行われている。
- ・広く一般に開放され利用者も多いことから、基本方針を「予防保全的管理」に変更します

### ④施設の現状と課題

- ・平成 29（2017）年度に長寿命化対策工事を行いました。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・日常の保全及び定期点検や診断などにより、安全性確保や施設機能の維持に努めます。

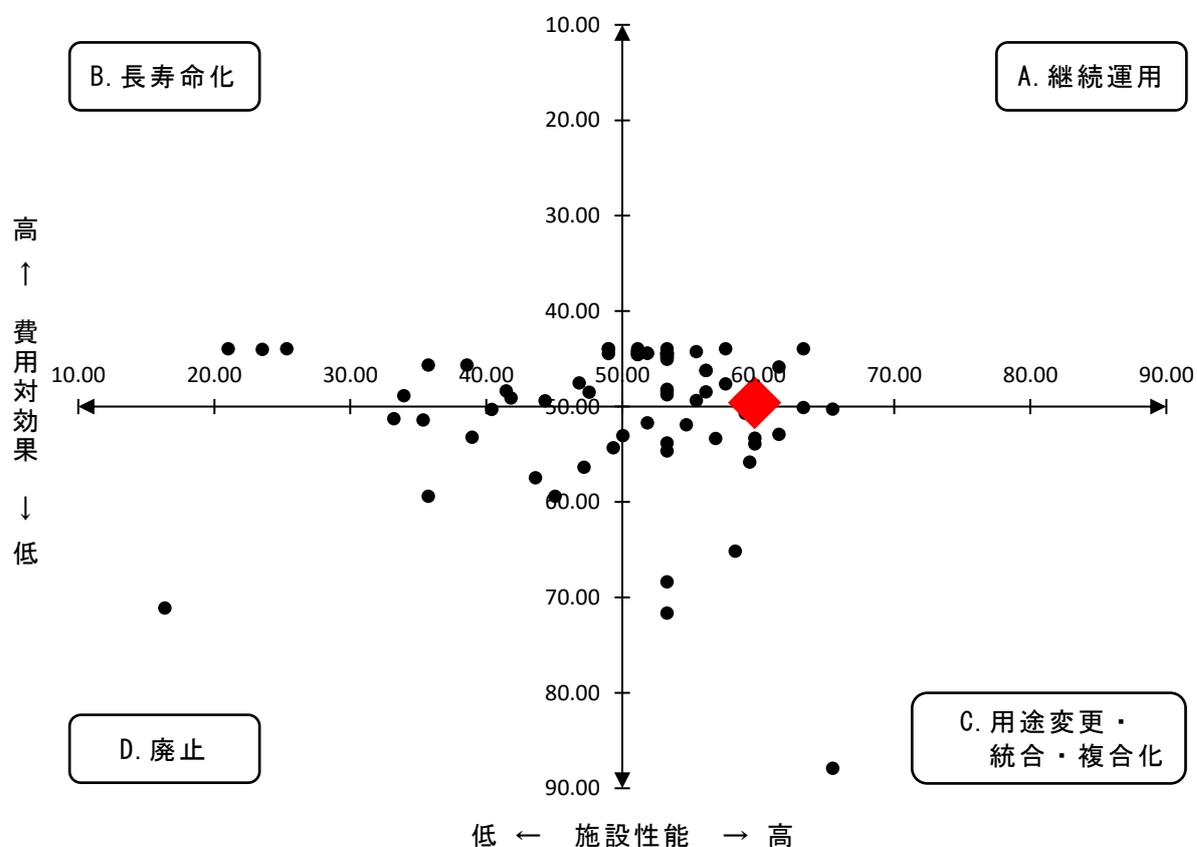
## 73 大寺ふれあい公園／トイレ等

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字大寺 575		
所管課・係	産業課農村整備係		
主要用途			
施設類型	公園	階数	地上1階
建設年度	平成16(2004)年度	耐用年数	15年
床面積	29.98 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
171円	27,522円	49.60	60.0	30.0	2.0	59.74



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

### ④施設の現状と課題

- ・ 建築から 16 年経過していますが、適切に管理し、施設性能を維持しています。

### ⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 日常の保全及び定期点検や診断などにより、安全性確保や施設機能の維持に努めます。

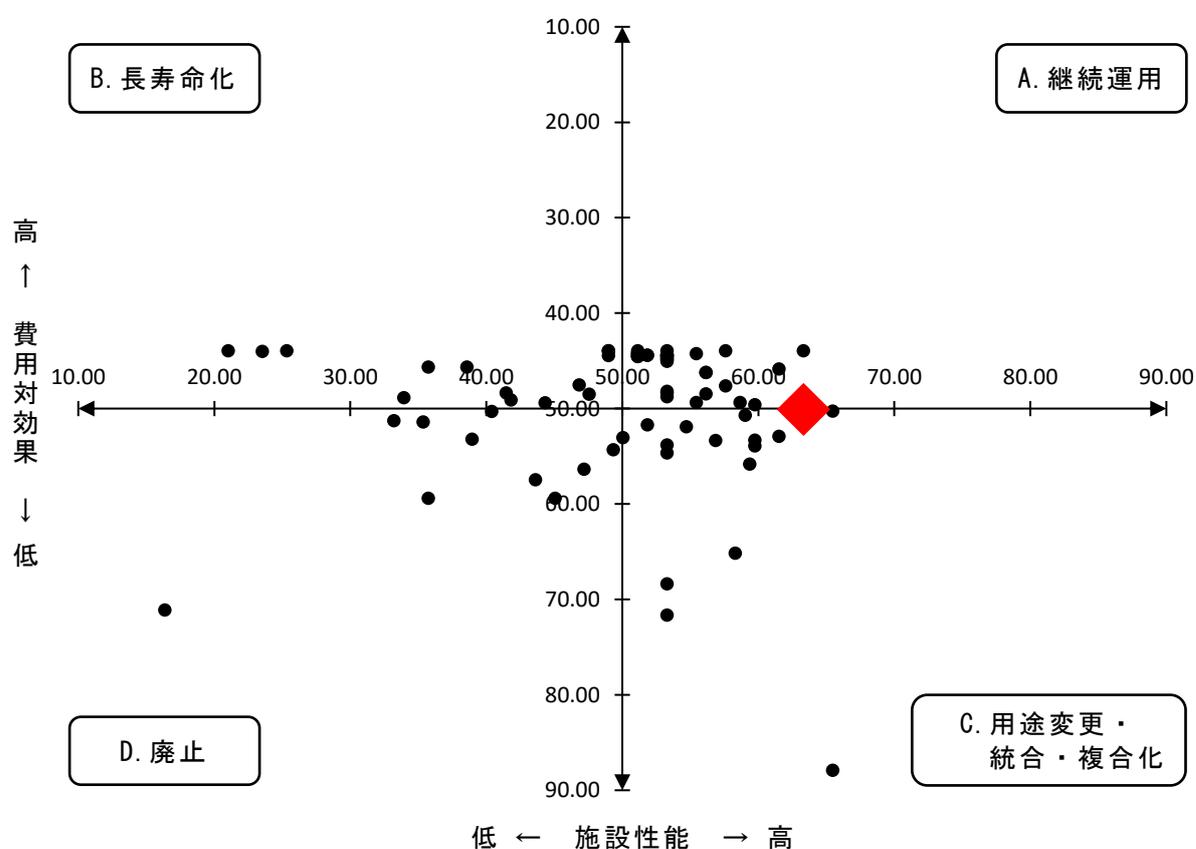
## 74 源長寺沼ふれあい公園／あずまや

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字根際 587 他		
所管課・係	産業課農村整備係		
主要用途			
施設類型	公園	階数	地上 1 階
建設年度	平成 17 (2005) 年度	耐用年数	15 年
床面積	7.00 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
90 円	31,045 円	50.10	57.0	30.0	10.0	63.33



### ③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・維持管理の効率化</li> <li>・財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修</li> <li>・長寿命化</li> <li>・改築</li> <li>・一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化</li> <li>・複合化</li> <li>・用途転用</li> <li>・除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等：

- ・整備目的が明確で、目的に合致した利用が継続的に行われています。
- ・広く一般に開放され利用者も多いことから、基本方針を「予防保全的管理」に変更します。

### ④施設の現状と課題

- ・建築から15年経過していますが、適切に管理し、施設性能を維持しています。

### ⑤今後10年間の管理に関する基本方針

- ・日常の保全及び定期点検や診断などにより、安全性確保や施設機能の維持に努めます。

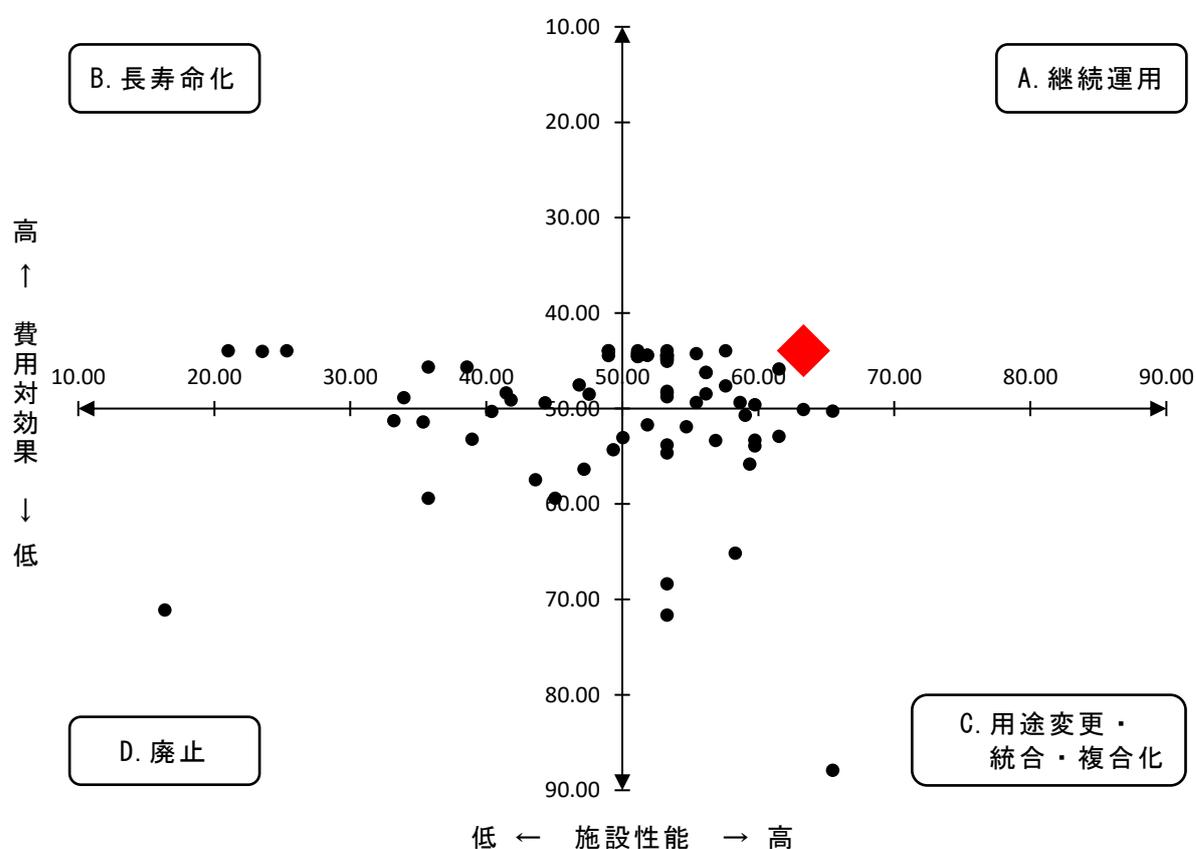
## 75 はつたらモア広場／東屋

### ①施設基本概要

所在地	山辺町大字畑谷 3951-1		
所管課・係	産業課農村整備係		
主要用途			
施設類型	公園	階数	地上1階
建設年度	平成13(2001)年度	耐用年数	15年
床面積	25.00 m <sup>2</sup>	構造	木造

### ②一次評価結果

費用対効果			施設性能			
利用者一人あたり費用	床面積あたり費用	偏差値	安全性	機能性	環境面	偏差値
0円	0円	43.95	60.0	27.0	10.0	63.33



③評価結果・基本方針・対策手法

一次評価	二次評価	基本方針	対策手法
A. 継続運用	政策優先度 高	予防保全的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耐震改修</li> <li>・ 維持管理の効率化</li> <li>・ 財源の確保</li> </ul>
B. 長寿命化		建替（更新） ・ 大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耐震改修</li> <li>・ 長寿命化</li> <li>・ 改築</li> <li>・ 一部改築</li> </ul>
C. 用途変更 ・ 統合・複合化	政策優先度 低	施設総量適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集約化</li> <li>・ 複合化</li> <li>・ 用途転用</li> <li>・ 除却</li> </ul>
D. 廃止			

※ 一次評価での取組方針を二次評価で変更する場合の理由等： なし

④施設の現状と課題

- ・ 建築から 19 年経過していますが、適切に管理し、施設性能を維持しています。

⑤今後 10 年間の管理に関する基本方針

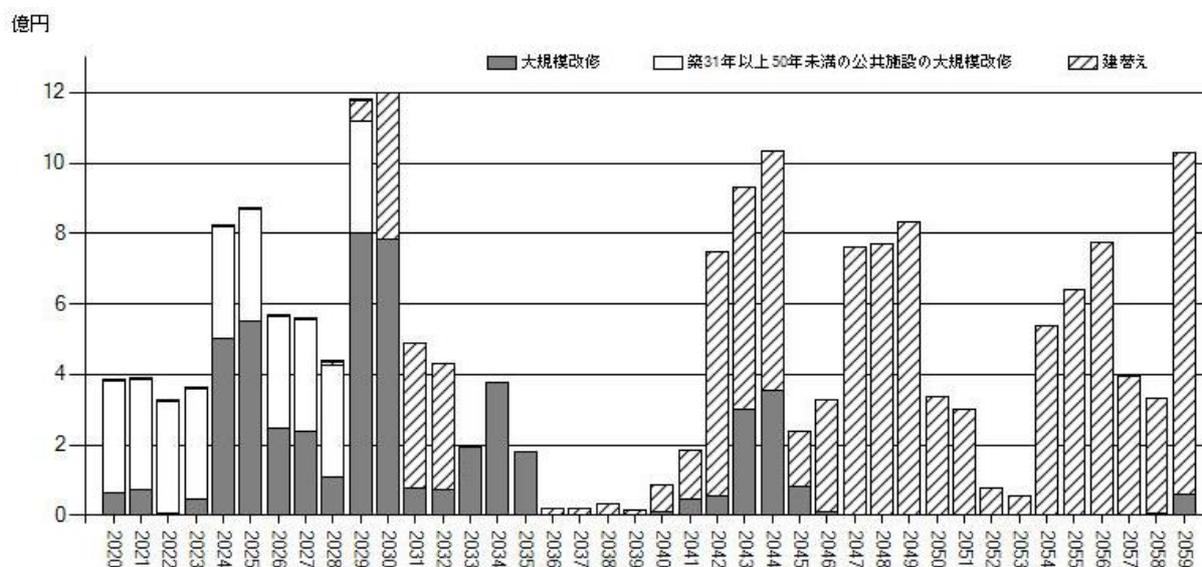
- ・ 日常の保全及び定期点検や診断などにより、安全性確保や施設機能の維持に努めます。

## 第4章 公共施設マネジメントに向けた取り組み

### 1. 財政側面からのマネジメント

#### 1) 更新費用の算定

「今後新たな建設は行わない」「現状の施設（建物）を保有し続ける」ことを仮定し、総務省がホームページで公開している一般財団法人地域総合整備財団の提供する「公共施設更新費用試算ソフト Ver. 2.10」を活用して本計画期間内に必要とされる更新費用を試算した場合、約67億円と見込まれます。



(試算条件)

- ・大規模改修： 実施年数 30年 修繕期間 2年
- ・建替え： 更新年数 60年 建替え期間 3年
- ・現時点で積残している大規模改修・建替えの処理を割当てる年数： 10年

(単価表)

施設類型	大規模改修	建替え
市民文化系施設、社会教育系施設、産業系施設、行政系施設	25 万円/㎡	40 万円/㎡
スポーツ・レクリエーション系施設、保健・福祉施設、その他	20 万円/㎡	36 万円/㎡
学校教育系施設、子育て支援施設、公園	17 万円/㎡	33 万円/㎡
公営住宅	17 万円/㎡	28 万円/㎡

(補足)

- ・施設類型は「公共施設等更新費用試算ソフト仕様書（平成 28 年版）」の用途分類例に基づいて分類しています。
- ・次の施設は更新費用の算定から除外しています。
  - 10 旧作谷沢支所（母子健康センター）／倉庫 : 建築年度が不明のため
  - 16 安達峰一郎生家 : 文化財であり大規模改修・建替えを想定しないため
  - 18 旧山野辺陣屋玄関 : 文化財であり大規模改修・建替えを想定しないため
  - 57 野営場林間休養施設 : 平成 30（2018）年度に閉鎖しているため
  - 65 防災放送システム : 試算ソフトによる算定が適していないため

## 2) 対策費用の低減、平準化に向けた取り組み

中長期的な公共施設の維持管理・更新等に係るトータルコストを縮減し、予算を平準化していくためには、施設の長寿命化を図り、大規模な修繕や更新をできるだけ回避することが重要であると考えられています。

このため、町が保有する施設の特性を考慮の上、安全性や経済性を踏まえつつ、損傷が軽微である早期段階に予防的な修繕等を実施することで機能の保持・回復を図る「予防保全型維持管理」の導入を推進していきます。

## 2. 取り組み・実施体制

### 1) 全庁的な推進・取組体制

#### ①社会構造の変化や新たなニーズへの対応

今後、急激に人口減少、少子高齢化等が進展する中で、公共施設に求められる役割や機能も変化していくものと考えられます。このため、老朽化対策の検討にあたっては、その時点で各施設が果たしている役割や機能を再確認した上で、その施設の必要性自体を再検討することとします。

その結果、必要性が認められる施設については、更新等の機会を捉えて社会経済情勢の変化に応じた質的向上や機能転換、用途変更や複合化・集約化を図る一方、必要性が認められない施設については、廃止・撤去を進めるなど、戦略的な取組みを推進していきます。

#### ②取組体制

各施設所管課において、所管する施設の「今後 10 年間の管理に関する基本方針」に従った公共施設等の管理を行います。

新たに「公共施設等マネジメント推進部門（仮称）」を設けるなどし、各施設所管課の取り組み及び進捗ないし達成状況を客観的に評価するとともに、各施設所管課間で横断的に検討すべき事項等の調整を行うことを検討します。

## 2) フォローアップの実施方針

計画の進捗状況や社会情勢の変化なども踏まえ、計画期間内であっても必要に応じて計画を更新し、計画的な点検・診断、修繕・更新等の取り組みを実施していきます。

## 3) 施設利用者や住民との情報共有・合意形成

施設の再配置などの検討にあたっては、議会や町民に対し随時情報提供を行い、町全体で共有化を図ります。

山辺町公共施設等総合管理計画 個別施設計画

令和 3 (2021) 年 3 月 発行

山辺町総務課

住所： 〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘 5 番地

電話： 023-667-1111 (代表) FAX： 023-667-1112

URL： <https://www.town.yamanobe.yamagata.jp>